

県内経済の動向  
—平成24年9月—

資料編

福岡県

企画・地域振興部調査統計課

# 目 次

◎ 県内経済の動向の変遷 .....	1 ～ 2
--------------------	-------

## 企業部門

### ◎ 生 産

1 鉱工業生産指数（総合） .....	3
2 鉱工業出荷指数（総合） .....	4
3 鉱工業在庫指数（総合） .....	5
4 鉄鋼業 .....	6
5 一般機械工業 .....	7
6 電気機械工業 .....	8
7 電子部品・デバイス工業 .....	9
8 輸送機械工業 .....	10
9 化学工業 .....	11
10 食料品・たばこ工業 .....	12
11 大口電力使用量 .....	13
12 所定外労働時間（製造業） .....	14

### ◎ 貿 易

1 輸出通関実績額 .....	15
2 輸出通関実績額の内訳（各港別） .....	16
3 輸出通関実績額の内訳（主要品目別） .....	17
4 地域別輸出状況 .....	18
5 アジア主要各国への輸出状況 .....	19
6 輸入通関実績額 .....	20
7 輸入通関実績額の内訳（各港別） .....	21
8 輸入通関実績額の内訳（主要品目別） .....	22
9 地域別の輸入状況 .....	23
10 アジア主要各国からの輸入状況 .....	24

◎	設備投資	
1	『地場企業の経営動向調査』（福岡商工会議所調査結果）	2 5
2	『法人企業景気予測調査』（財務省福岡財務支局）	
	北部九州の企業における設備投資見込み	2 6
3	建築着工	2 7
4	全国の設備投資（工作機械受注額）	2 8
5	『企業短期経済観測調査』（日本銀行福岡支店調査結果）	2 9
6	『九州地域設備投資動向』（日本政策投資銀行調査結果）	3 0
◎	企業景況	
1	『法人企業景気予測調査』（財務省福岡財務支局調査結果）	3 1
2	『中小企業景況調査』（中小企業基盤整備機構調査結果）	3 2
3	『福岡県中小企業動向調査（小企業編）』（日本政策金融公庫福岡支店調査結果）	3 3
4	『九州の経営動向調査』（西日本シティ銀行調査結果）	3 4
5	『地場企業の経営動向調査』（福岡商工会議所調査結果）	3 5
6	『企業短期経済観測調査』（日本銀行福岡支店調査結果）	3 6
◎	企業収益	
1	『企業短期経済観測調査』（日本銀行福岡支店調査結果）	3 7
◎	企業倒産	
1	倒産件数	3 8
2	不況型倒産件数	3 9
3	倒産負債額	4 0
4	不況型倒産負債額	4 1

## 家計部門

◎	消費	
1	二人以上世帯消費支出（除く自動車等購入等）（九州）	4 2
2	二人以上世帯サービス支出額（九州）	4 3
3	小売業販売額（全国）	4 4
4	百貨店販売額（全店ベース）	4 5
5	百貨店販売額（既存店ベース）	4 6
6	スーパー販売額	4 7
7	コンビニエンス・ストア販売額（九州）	4 8
8	新車登録台数	4 9
9	新車登録台数の内訳	5 0
1 0	旅行業取扱額（九州）	5 1
1 1	消費者態度指数	5 2
1 2	インターネットを利用した支出状況（九州・沖縄）	5 3

## ◎ 雇 用

1 求人・求職状況 .....	5 4
2 きまって支給する給与 .....	5 5
3 就業状態 .....	5 6
4 雇用保険被保険者数 .....	5 7

## その他関係指標

## ◎ 住宅投資

1 新設住宅着工戸数 .....	5 8
2 新設住宅着工戸数の内訳（利用関係別） .....	5 9

## ◎ 公共投資

1 公共工事請負額 .....	6 0
2 公共工事請負額の内訳 .....	6 1

## ◎ 物 価

1 消費者物価指数 .....	6 2
2 企業物価指数 .....	6 3
3 原油価格とガソリン価格 .....	6 4

## ◎ 金 融

1 預金残高（国内銀行） .....	6 5
2 貸付金残高（国内銀行） .....	6 6
3 金利（九州・沖縄地銀20行貸出約定平均金利） .....	6 7
4 株価の変動 .....	6 8
5 日本及びアジア主要国の通貨の変動 .....	6 9
6 長期国債利回りの変動 .....	7 0

## ◎ 景気動向指数

1 福岡県の景気動向指数 .....	7 1
2 福岡県の累積動向指数 .....	7 2

## ◎ 福岡県

1 雇用関連参考資料 .....	7 3～7 4
------------------	---------

## ◎ 九州経済

1	生産	7 5
2	投資	
3	貿易	
4	個人消費	7 6
5	貸出約定平均金利	7 7
6	物価	
7	雇用・労働	
8	倒産	
9	企業収益	
○	地域経済動向の変遷	7 8

## ◎ 日本経済

○	『月例経済報告』（内閣府）	7 9
○	四半期別GDP速報	8 0
○	政府経済見通し（主要経済指標）	8 1
○	民間調査機関の経済見通し	8 2
○	日銀の経済見通し	
○	内閣府（経済財政諮問会議）の経済見通し	
1	経済成長率	8 3
2	個人消費	
3	民間設備投資	8 4
4	雇用情勢	8 5
5	金融	8 6

## ◎ 海外経済

1	海外主要国の経済成長率の見通し	8 7
2	海外主要国の実質GDPの比較	8 8
3	国際金融・国際商品	
4	海外主要国の鉱工業生産指数	8 9
5	海外主要国の失業率	9 0
6	アジア主要国の外貨準備高	9 1

【県内経済の動向の変遷】

		平成24年(2012年)	
		6月	7月
基 調 判 断		—	—
企 業 部 門	生 産	生産は、持ち直しの動きがみられる。	生産は、持ち直しの動きがみられる。
	貿 易	輸出は、持ち直しの動きがみられる。 輸入は、緩やかに増加している。	輸出は、持ち直しの動きがみられる。 輸入は、緩やかに増加している。
	設 備 投 資	24年度の設備投資は、製造業、非製造業ともに前年度を上回る計画となっている。	24年度の設備投資は、製造業、非製造業ともに前年度を上回る計画となっている。
	企 業 景 況	企業の景況感は、横ばいとなっており、先行きは、やや改善する見通しとなっている。 中小企業の景況感は、厳しい状況が続いている。	企業の景況感は、やや改善したものの、先行きは慎重な見通しとなっている。 中小企業の景況感は、厳しい状況が続いている。
	企 業 倒 産	倒産件数は、緩やかに増加する傾向がみられるものの、緊急経済対策資金等の効果から低水準で推移している。	倒産件数は、緩やかに増加する傾向がみられるものの、緊急経済対策資金等の効果から低水準で推移している。
家 計 部 門	消 費	消費は、緩やかに持ち直している。  小売業販売額* 4月 前年同月比 5.7% スーパー販売額 4月 同 ▲0.9% 新車登録台数 5月 同 71.0% 旅行業取扱額 4月 同 13.8%  *は全国値	消費は、緩やかに持ち直している。  小売業販売額* 5月 前年同月比 3.6% スーパー販売額 5月 同 1.4% 新車登録台数 6月 同 52.3% 旅行業取扱額 5月 同 9.1%  *は全国値
	雇 用	雇用情勢は、持ち直しの動きがみられるものの、依然として厳しい状況が続いている。 有効求人倍率は、緩やかに改善している。	雇用情勢は、依然として厳しい状況が続いているものの、緩やかに持ち直している。
そ の 他 関 係 指 標	住 宅 投 資	新設住宅着工は、緩やかに持ち直している。	新設住宅着工は、緩やかに持ち直している。
	公 共 投 資	公共工事請負額（年度累計）は、前年度を上回っている。	公共工事請負額（年度累計）は、前年度を上回っている。
	物 価	消費者物価（生鮮食品を除く総合）は、このところ横ばいとなっている。企業物価は、このところ上昇テンポが鈍化している。	消費者物価（生鮮食品を除く総合）は、このところ横ばいとなっている。企業物価は、このところ緩やかに下落している。
	金 融	4月の金融機関の貸付金残高は、前年を上回った。	5月の金融機関の貸付金残高は、前年を上回った。
( 参 考 )		株式相場（日経平均株価）は、このところ8,500～8,800円台で推移している。 対米ドル円相場は、このところ79～80円台で推移している。 長期金利は、このところ0.8～0.9%台で推移している。	株式相場（日経平均株価）は、このところ8,300～8,800円台で推移している。 対米ドル円相場は、このところ78～79円台で推移している。 長期金利は、このところ0.7～0.8%台で推移している。

		平成24年(2012年)	
		8月	9月
基調判断		<p>福岡県の景気は、全体としては緩やかに回復しつつある。また、雇用は厳しい状況にあるものの、緩やかに持ち直している。</p> <p>県内経済の先行きについては、全体としては緩やかな回復の動きが続くと見込まれる。なお、海外経済のさらなる減速や、円高の長期化、電力供給の制約など、景気の下振れリスクに留意する必要がある。</p>	—
企業部門	生産	生産は、持ち直しの動きがみられる。	生産は、持ち直しの動きがみられる。
	貿易	輸出は、持ち直しの動きが緩やかになっている。 輸入は、緩やかに増加している。	輸出は、持ち直しの動きが緩やかになっている。 輸入は、緩やかに増加している。
	設備投資	24年度の設備投資は、製造業、非製造業ともに前年度を上回る計画となっている。	24年度の設備投資は、製造業、非製造業ともに前年度を上回る計画となっている。
	企業景況	企業の景況感は、やや改善したものの、先行きは慎重な見通しとなっている。 中小企業の景況感は、厳しい状況が続いている。	企業の景況感は、横ばいとなっており、先行きはやや改善する見通しとなっている。中小企業の景況感は、厳しい状況が続いている。
	企業倒産	倒産件数は、緩やかに増加する傾向がみられるものの、緊急経済対策資金等の効果から低水準で推移している。	倒産件数は、緊急経済対策資金等の効果から低水準で推移している。
家計部門	消費	消費は、緩やかに持ち直している。	消費は、緩やかに持ち直している。
	雇用	雇用情勢は、依然として厳しい状況が続いているものの、緩やかに持ち直している。	雇用情勢は、依然として厳しい状況が続いているものの、緩やかに持ち直している。
その他関係指標	住宅投資	新設住宅着工は、緩やかに持ち直している。	新設住宅着工は、緩やかに持ち直している。
	公共投資	公共工事請負額（年度累計）は、前年度を上回っている。	公共工事請負額（年度累計）は、前年度を上回っている。
	物価	消費者物価（生鮮食品を除く総合）は、このところ横ばいとなっている。企業物価は、このところ緩やかに下落している。	消費者物価（生鮮食品を除く総合）は、このところ横ばいとなっている。企業物価は、このところ下落テンポが鈍化している。
	金融	7月の金融機関の貸付金残高は、前年を上回った。	7月の金融機関の貸付金残高は、前年を上回った。
(参考)		<p>株式相場（日経平均株価）は、このところ8,800～9,000円台で推移している。</p> <p>対米ドル円相場は、このところ78～79円台で推移している。</p> <p>長期金利は、このところ0.7～0.8%台で推移している。</p>	<p>株式相場（日経平均株価）は、このところ8,600～9,200円台で推移している。</p> <p>対米ドル円相場は、このところ77～79円台で推移している。</p> <p>長期金利は、このところ0.7～0.8%台で推移している。</p>

# 生 産

## 1 鉱工業生産指数（総合）（2012年7月）

（1）前月比：2か月ぶりのプラス

（2）業種別の前月比（寄与度順）

プラス：輸送機械工業、一般機械工業、電子部品・デバイス工業

マイナス：鉄鋼業、食料品・たばこ工業、電気機械工業 等

（平成17年=100）

		指数	前月比
平成23年 (2011)	7月	94.5	1.7
	8月	95.1	0.6
	9月	91.9	▲ 3.4
	10月	92.9	1.1
	11月	94.4	1.6
	12月	96.3	2.0
平成24年 (2012)	1月	97.3	1.0
	2月	98.8	1.5
	3月	97.5	▲ 1.3
	4月	93.1	▲ 4.5
	5月	95.0	2.0
	6月	93.0	▲ 2.1
	7月	97.6	4.9

（平成17年=100）

		指数	前期比
平成22年 (2010)	7～9月	95.6	1.8
	10～12月	90.7	▲ 5.1
平成23年 (2011)	1～3月	94.1	3.7
	4～6月	89.3	▲ 5.1
	7～9月	93.8	5.0
	10～12月	94.5	0.7
平成24年 (2012)	1～3月	97.9	3.6
	4～6月	93.7	▲ 4.3

（平成17年=100）

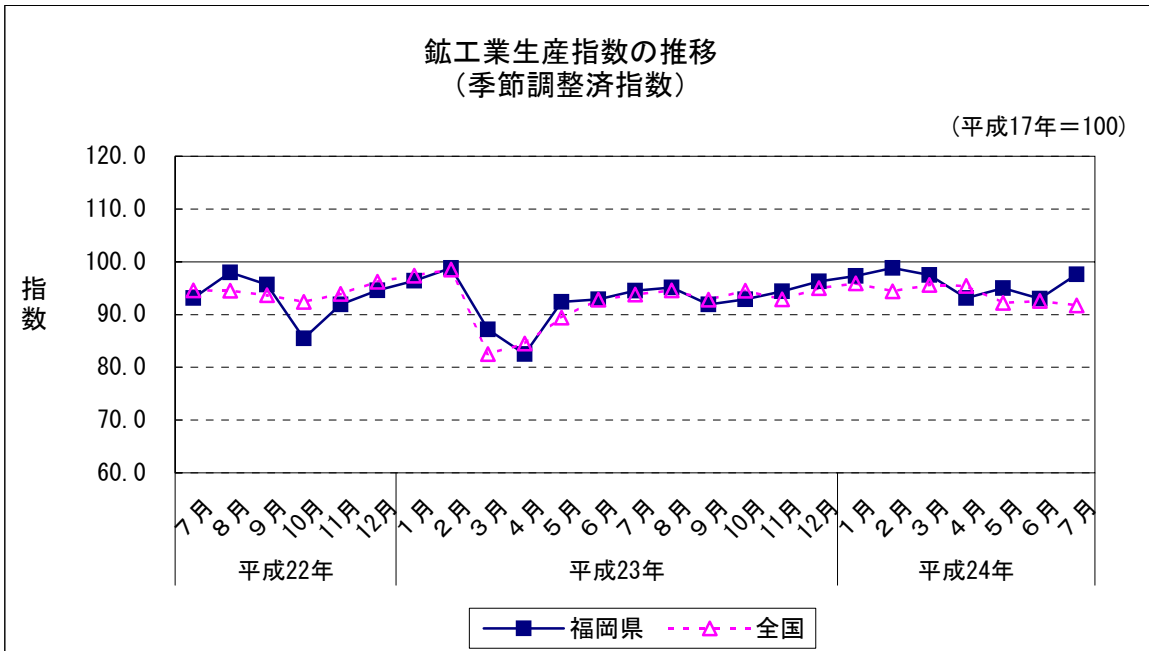
	指数	前年比
平成21年(2009)	79.6	▲ 22.5
平成22年(2010)	93.4	17.3
平成23年(2011)	92.9	▲ 0.5

資料出所：福岡県調査統計課「鉱工業指数」

※月及び四半期は季節調整済指数，年は原指数による。前月比，前期比及び前年比は増減率（％）。

※平成24年の指数は年間補正前の数値である。

（以下出荷、在庫及び業種別についても同様。）





# 生産

## 2 鋳工業出荷指数（総合）（2012年7月）

(1) 前月比：4か月ぶりのプラス

(2) 業種別の前月比（寄与度順）

プラス：輸送機械工業、化学工業、電子部品・デバイス工業 等

マイナス：鉄鋼業、電気機械工業、一般機械工業

(平成17年=100)

		指数	前月比
平成23年 (2011)	7月	94.2	▲ 0.1
	8月	95.3	1.2
	9月	92.4	▲ 3.0
	10月	93.4	1.1
	11月	95.8	2.6
	12月	98.4	2.7
平成24年 (2012)	1月	97.6	▲ 0.8
	2月	100.5	3.0
	3月	100.7	0.2
	4月	96.6	▲ 4.1
	5月	96.6	0.0
	6月	91.5	▲ 5.3
	7月	98.4	7.5

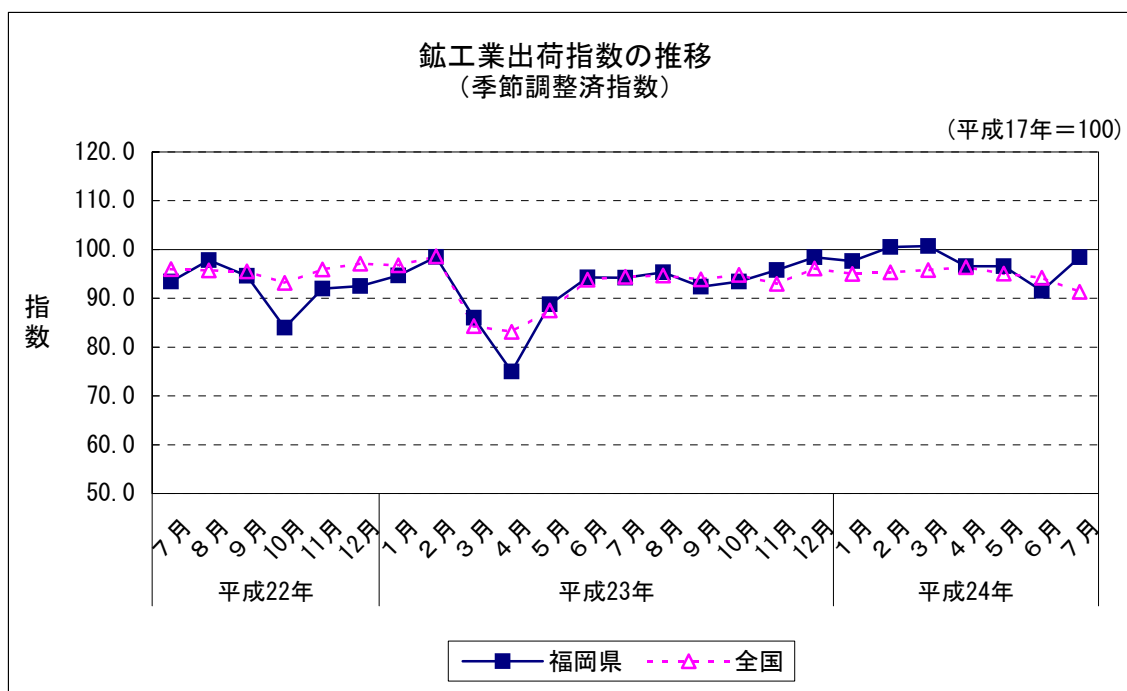
(平成17年=100)

		指数	前期比
平成22年 (2010)	7～9月	95.3	2.6
	10～12月	89.5	▲ 6.1
平成23年 (2011)	1～3月	93.1	4.0
	4～6月	86.0	▲ 7.6
	7～9月	94.0	9.3
	10～12月	95.9	2.0
平成24年 (2012)	1～3月	99.6	3.9
	4～6月	94.9	▲ 4.7

(平成17年=100)

	指数	前年比
平成21年(2009)	78.4	▲ 22.8
平成22年(2010)	92.8	18.4
平成23年(2011)	92.3	▲ 0.5

資料出所：福岡県調査統計課「鋳工業指数」



# 生産

## 3 鉱工業在庫指数（総合）（2012年7月）

(1) 前月比：2か月ぶりのマイナス

(2) 業種別の前月比（寄与度順）

プラス：化学工業、電子部品・デバイス工業、一般機械工業

マイナス：輸送機械工業、鉄鋼業、食料品・たばこ工業 等

(平成17年=100)

		指数	前月比
平成23年 (2011)	7月	275.0	▲ 1.0
	8月	300.6	9.3
	9月	316.9	5.4
	10月	298.1	▲ 5.9
	11月	299.4	0.4
	12月	299.0	▲ 0.1
平成24年 (2012)	1月	291.1	▲ 2.6
	2月	295.6	1.5
	3月	318.3	7.7
	4月	312.9	▲ 1.7
	5月	281.7	▲ 10.0
	6月	299.2	6.2
	7月	276.3	▲ 7.7

(平成17年=100)

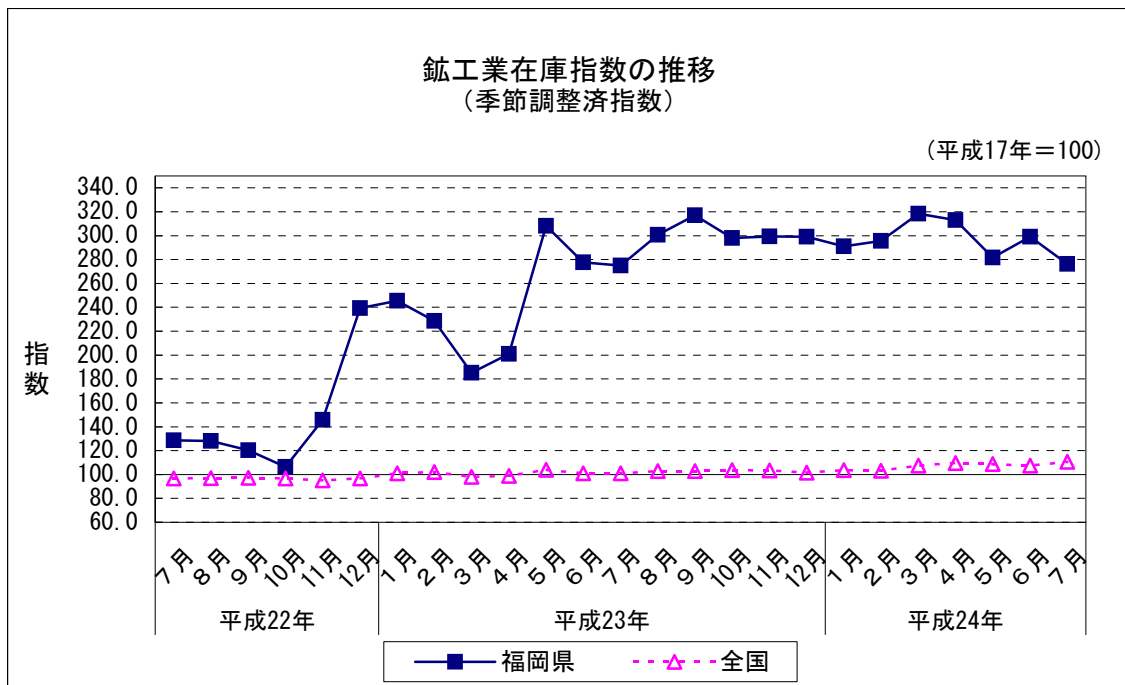
		指数	前期比
平成22年 (2010)	7～9月	120.4	▲ 23.9
	10～12月	239.4	98.8
平成23年 (2011)	1～3月	185.3	▲ 22.6
	4～6月	277.7	49.9
	7～9月	316.9	14.1
	10～12月	299.0	▲ 5.6
平成24年 (2012)	1～3月	318.3	6.5
	4～6月	299.2	▲ 6.0

(平成17年=100)

	指数	前年比
平成21年(2009)	92.8	▲ 22.5
平成22年(2010)	227.6	145.3
平成23年(2011)	285.2	25.3

資料出所：福岡県調査統計課「鉱工業指数」

※四半期・年の数値は期末値。



# 生産

## 4 鉄鋼業（2012年7月）

(1) 前月比：2か月連続のマイナス

マイナスに寄与した主な品目：粗鋼、鋼半製品、鋼帯等

(平成17年=100)

		指数	前月比
平成23年 (2011)	7月	97.1	7.9
	8月	97.6	0.5
	9月	90.5	▲ 7.3
	10月	94.4	4.3
	11月	87.4	▲ 7.4
	12月	86.1	▲ 1.5
平成24年 (2012)	1月	98.1	13.9
	2月	98.1	0.0
	3月	101.5	3.5
	4月	93.6	▲ 7.8
	5月	99.8	6.6
	6月	95.7	▲ 4.1
	7月	90.2	▲ 5.7

(平成17年=100)

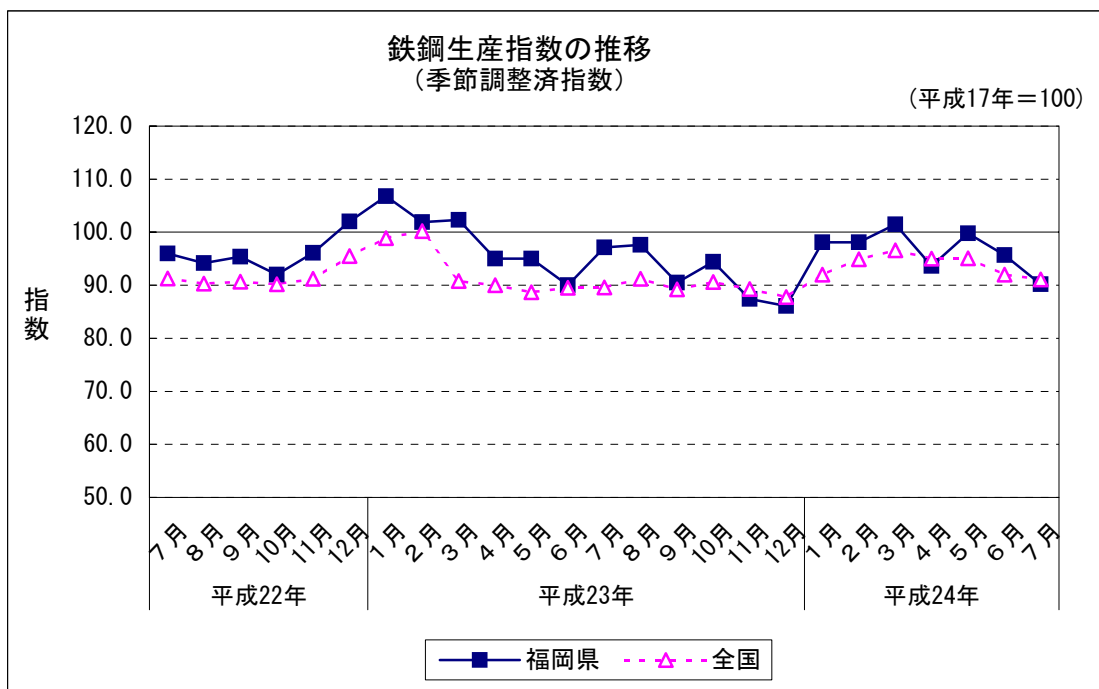
		指数	前期比
平成22年 (2010)	7～9月	95.2	▲ 5.1
	10～12月	96.7	1.6
平成23年 (2011)	1～3月	103.7	7.2
	4～6月	93.3	▲ 10.0
	7～9月	95.1	1.9
	10～12月	89.3	▲ 6.1
平成24年 (2012)	1～3月	99.2	11.1
	4～6月	96.4	▲ 2.8

(平成17年=100)

	指数	前年比
平成21年(2009)	76.0	▲ 24.6
平成22年(2010)	98.4	29.5
平成23年(2011)	95.3	▲ 3.2

資料出所：福岡県調査統計課「鉄工業指数」



# 生産

## 5 一般機械工業 (2012年7月)

(1) 前月比：2か月連続のプラス

プラスに寄与した主な品目：フラットパネルディスプレイ製造装置、  
鉄鋼用ロール、ポンプ 等

(平成17年=100)

		指数	前月比
平成23年 (2011)	7月	95.9	▲ 13.5
	8月	100.0	4.3
	9月	98.8	▲ 1.2
	10月	98.2	▲ 0.6
	11月	100.1	1.9
	12月	99.1	▲ 1.0
平成24年 (2012)	1月	101.7	2.6
	2月	88.5	▲ 13.0
	3月	83.6	▲ 5.5
	4月	91.7	9.7
	5月	87.7	▲ 4.4
	6月	94.0	7.2
	7月	97.0	3.2

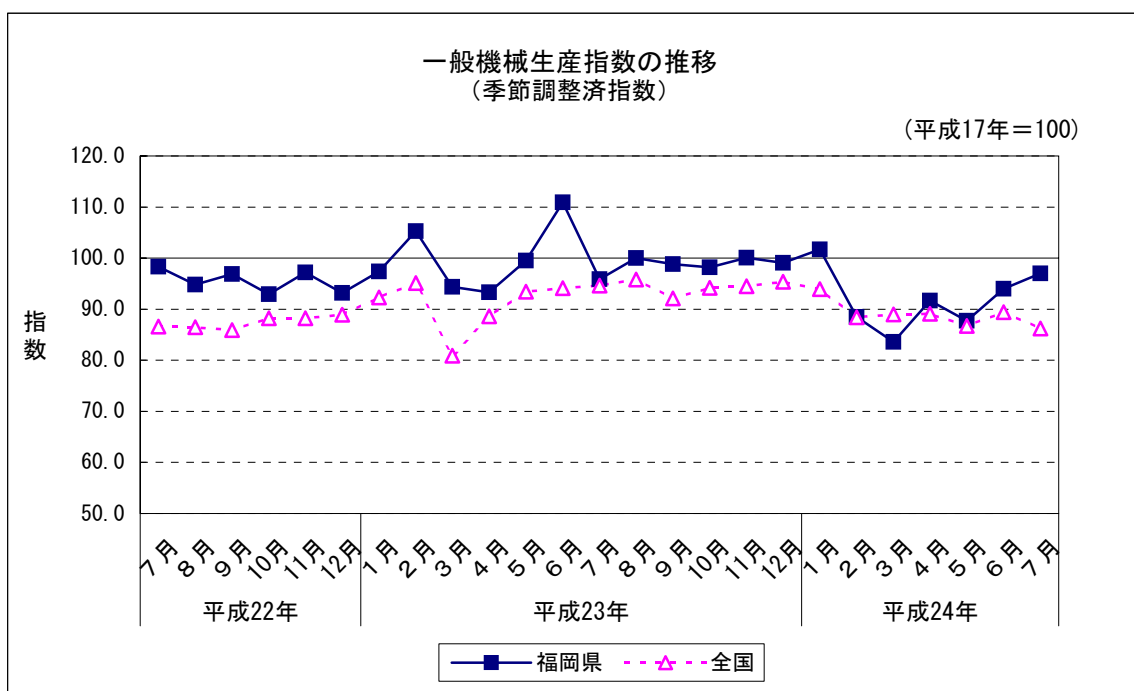
(平成17年=100)

		指数	前期比
平成22年 (2010)	7～9月	96.7	7.8
	10～12月	94.4	▲ 2.4
平成23年 (2011)	1～3月	99.0	4.9
	4～6月	101.2	2.2
	7～9月	98.2	▲ 3.0
	10～12月	99.1	0.9
平成24年 (2012)	1～3月	91.3	▲ 7.9
	4～6月	91.1	▲ 0.2

(平成17年=100)

	指数	前年比
平成21年(2009)	72.7	▲ 36.1
平成22年(2010)	91.5	25.9
平成23年(2011)	99.3	8.5

資料出所：福岡県調査統計課「鉱工業指数」



# 生産

## 6 電気機械工業（2012年7月）

（1）前月比：2ヶ月ぶりのマイナス

マイナスに寄与した品目：電気ホイスト、電力変換装置、サーボモータ 等

（平成17年=100）

		指数	前月比
平成23年 (2011)	7月	109.2	0.6
	8月	107.6	▲ 1.5
	9月	103.3	▲ 4.0
	10月	103.6	0.3
	11月	83.2	▲ 19.7
	12月	91.4	9.9
平成24年 (2012)	1月	93.5	2.3
	2月	92.3	▲ 1.3
	3月	89.3	▲ 3.3
	4月	97.4	9.1
	5月	92.6	▲ 4.9
	6月	94.7	2.3
	7月	92.9	▲ 1.9

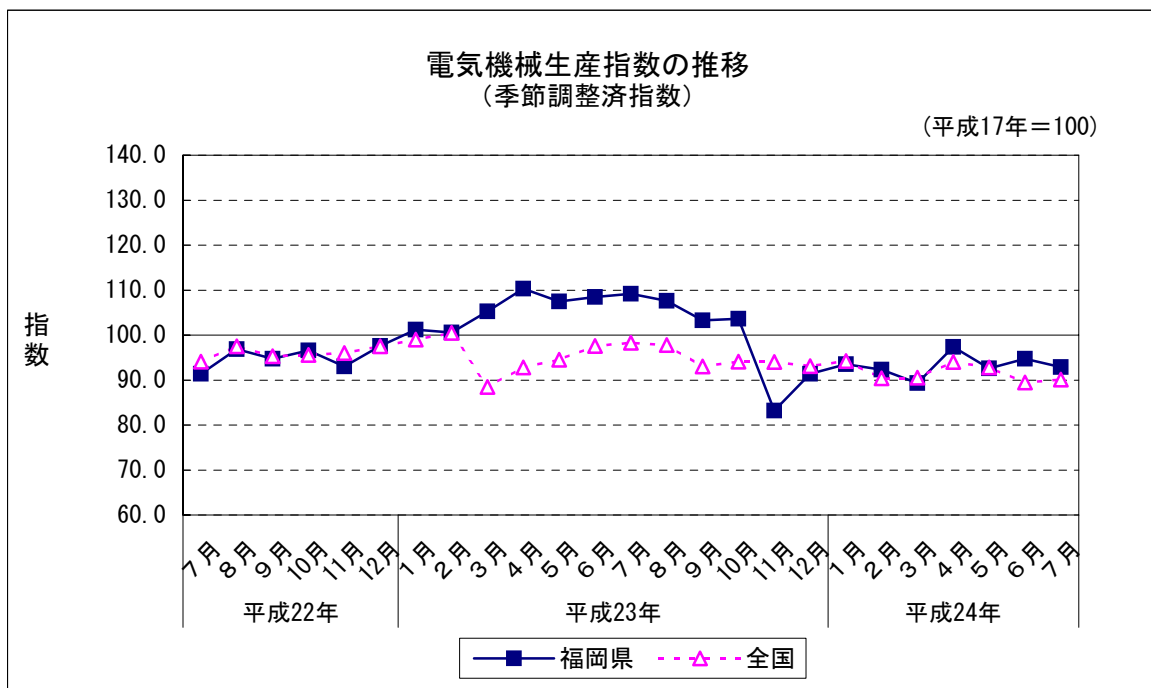
（平成17年=100）

		指数	前期比
平成22年 (2010)	7～9月	94.3	2.3
	10～12月	95.7	1.5
平成23年 (2011)	1～3月	102.4	7.0
	4～6月	108.8	6.3
	7～9月	106.7	▲ 1.9
	10～12月	92.7	▲ 13.1
平成24年 (2012)	1～3月	91.7	▲ 1.1
	4～6月	94.9	3.5

（平成17年=100）

	指数	前年比
平成21年(2009)	71.8	▲ 38.3
平成22年(2010)	93.0	29.5
平成23年(2011)	102.3	10.0

資料出所：福岡県調査統計課「鉦工業指数」



# 生産

## 7 電子部品・デバイス工業（2012年7月）

(1) 前月比：4か月ぶりのプラス

プラスに寄与した主な品目：混成集積回路、整流素子、計数回路 等

(平成17年=100)

		指数	前月比
平成23年 (2011)	7月	63.0	▲ 4.7
	8月	61.6	▲ 2.2
	9月	62.7	1.8
	10月	55.3	▲ 11.8
	11月	55.7	0.7
	12月	53.3	▲ 4.3
平成24年 (2012)	1月	52.6	▲ 1.3
	2月	46.8	▲ 11.0
	3月	53.9	15.2
	4月	39.4	▲ 26.9
	5月	37.7	▲ 4.3
	6月	34.4	▲ 8.8
	7月	36.7	6.7

(平成17年=100)

		指数	前期比
平成22年 (2010)	7～9月	79.6	4.7
	10～12月	73.4	▲ 7.8
平成23年 (2011)	1～3月	78.5	6.9
	4～6月	70.3	▲ 10.4
	7～9月	62.4	▲ 11.2
	10～12月	54.8	▲ 12.2
平成24年 (2012)	1～3月	51.1	▲ 6.8
	4～6月	37.2	▲ 27.2

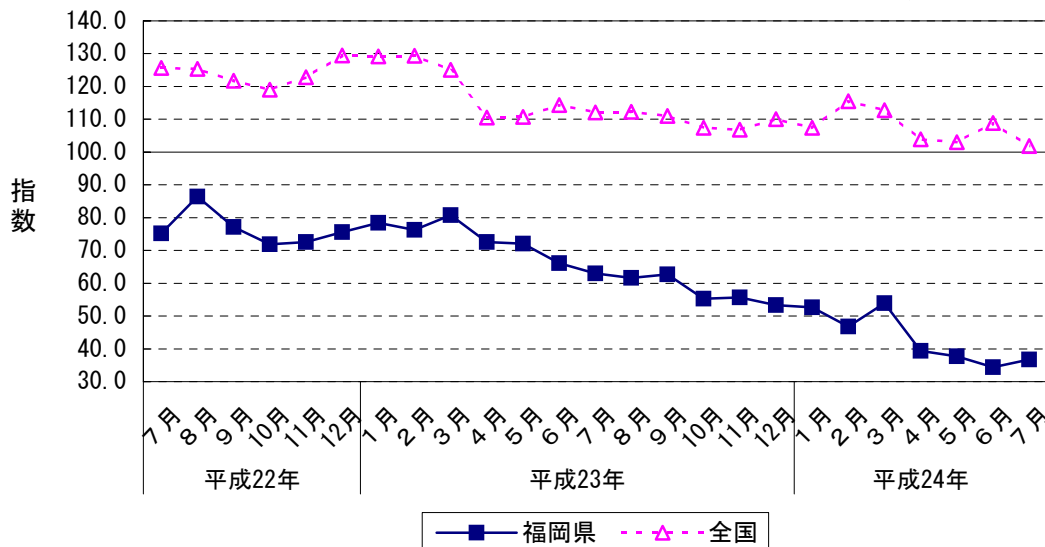
(平成17年=100)

	指数	前年比
平成21年(2009)	65.1	▲ 31.5
平成22年(2010)	76.1	16.9
平成23年(2011)	66.2	▲ 13.0

資料出所：福岡県調査統計課「鉱工業指数」

電子部品・デバイス生産指数の推移  
(季節調整済指数)

(平成17年=100)



# 生産

## 8 輸送機械工業（2012年7月）

(1) 前月比：2か月ぶりのプラス

プラスに寄与した主な品目：普通自動車、自動車部品、小型自動車 等

(平成17年=100)

		指数	前月比
平成23年 (2011)	7月	128.0	9.0
	8月	131.2	2.5
	9月	121.5	▲ 7.4
	10月	128.5	5.8
	11月	126.5	▲ 1.6
	12月	134.7	6.5
平成24年 (2012)	1月	124.9	▲ 7.3
	2月	135.5	8.5
	3月	130.1	▲ 4.0
	4月	127.7	▲ 1.8
	5月	128.7	0.8
	6月	116.2	▲ 9.7
	7月	137.9	18.7

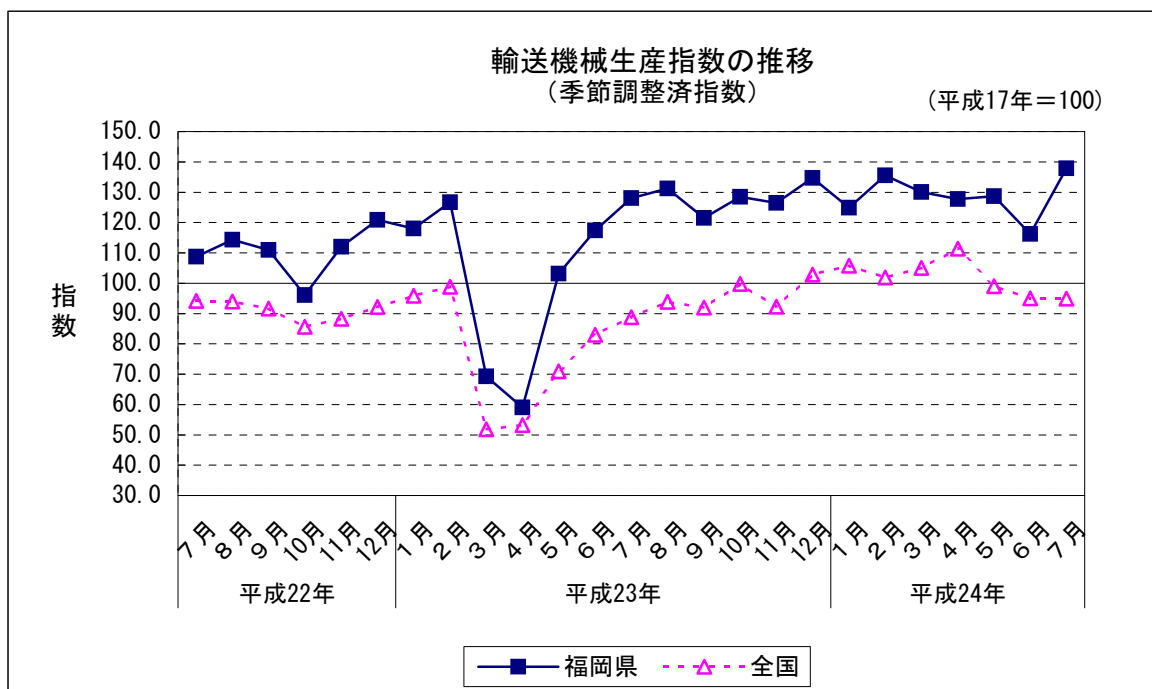
(平成17年=100)

		指数	前期比
平成22年 (2010)	7～9月	111.3	2.2
	10～12月	109.7	▲ 1.4
平成23年 (2011)	1～3月	104.7	▲ 4.6
	4～6月	93.2	▲ 11.0
	7～9月	126.9	36.2
	10～12月	129.9	2.4
平成24年 (2012)	1～3月	130.2	0.2
	4～6月	124.2	▲ 4.6

(平成17年=100)

	指数	前年比
平成21年(2009)	79.6	▲ 29.8
平成22年(2010)	109.8	37.9
平成23年(2011)	114.6	4.4

資料出所：福岡県調査統計課「鉱工業指数」



# 生 産

## 9 化学工業（2012年7月）

(1) 前月比：3か月ぶりのマイナス

マイナスに寄与した主な品目：触媒、ポリカーボネート、複合肥料 等

(平成17年=100)

		指数	前月比
平成23年 (2011)	7月	99.5	7.6
	8月	98.3	▲ 1.2
	9月	90.6	▲ 7.8
	10月	95.2	5.1
	11月	98.7	3.7
	12月	122.0	23.6
平成24年 (2012)	1月	111.1	▲ 8.9
	2月	109.7	▲ 1.3
	3月	120.2	9.6
	4月	102.3	▲ 14.9
	5月	119.3	16.6
	6月	129.0	8.1
	7月	128.7	▲ 0.2

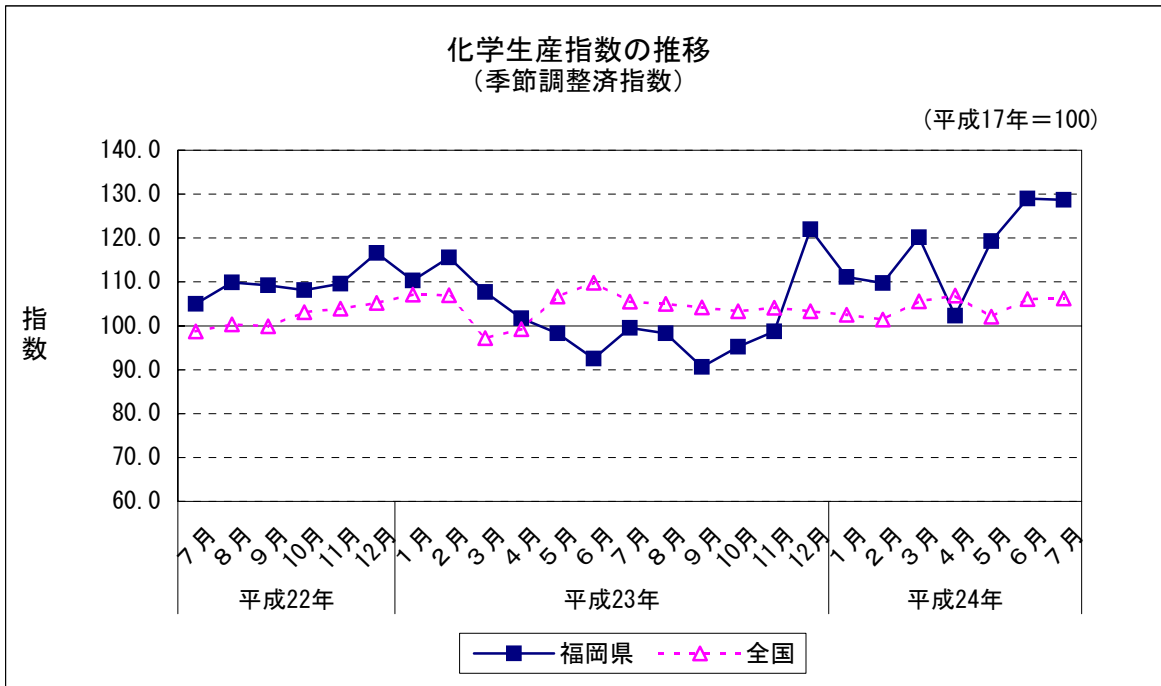
(平成17年=100)

		指数	前期比
平成22年 (2010)	7～9月	108.0	▲ 0.8
	10～12月	111.4	3.1
平成23年 (2011)	1～3月	111.2	▲ 0.2
	4～6月	97.5	▲ 12.3
	7～9月	96.1	▲ 1.4
	10～12月	105.3	9.6
平成24年 (2012)	1～3月	113.7	8.0
	4～6月	116.9	2.8

(平成17年=100)

	指数	前年比
平成21年(2009)	91.2	▲ 14.6
平成22年(2010)	109.0	19.5
平成23年(2011)	102.6	▲ 5.9

資料出所：福岡県調査統計課「鉱工業指数」





# 生産

## 10 食料品・たばこ工業（2012年7月）

(1) 前月比：2か月連続のマイナス

マイナスに寄与した主な品目：ビール、冷凍調理食品 等

(平成17年=100)

		指数	前月比
平成23年 (2011)	7月	76.0	▲ 2.9
	8月	78.0	2.6
	9月	78.7	0.9
	10月	83.7	6.4
	11月	89.4	6.8
	12月	87.7	▲ 1.9
平成24年 (2012)	1月	87.5	▲ 0.2
	2月	99.3	13.5
	3月	93.1	▲ 6.2
	4月	83.5	▲ 10.3
	5月	85.0	1.8
	6月	81.6	▲ 4.0
	7月	81.0	▲ 0.7

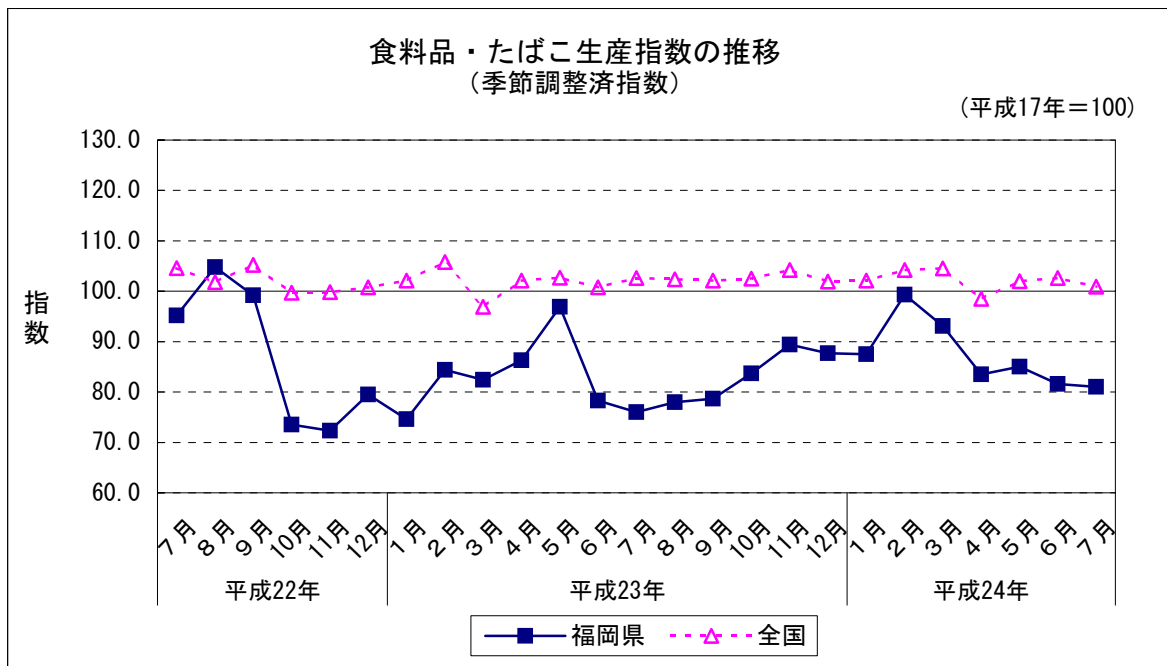
(平成17年=100)

		指数	前期比
平成22年 (2010)	7～9月	99.7	4.1
	10～12月	75.1	▲ 24.7
平成23年 (2011)	1～3月	80.5	7.2
	4～6月	87.2	8.3
	7～9月	77.6	▲ 11.0
	10～12月	86.9	12.0
平成24年 (2012)	1～3月	93.3	7.4
	4～6月	83.4	▲ 10.6

(平成17年=100)

	指数	前年比
平成21年(2009)	94.4	▲ 0.7
平成22年(2010)	91.8	▲ 2.8
平成23年(2011)	83.0	▲ 9.6

資料出所：福岡県調査統計課「鉱工業指数」



# 生産

## 1.1 大口電力使用量（2012年7月）

(1) 前年同月比：6か月ぶりのマイナス

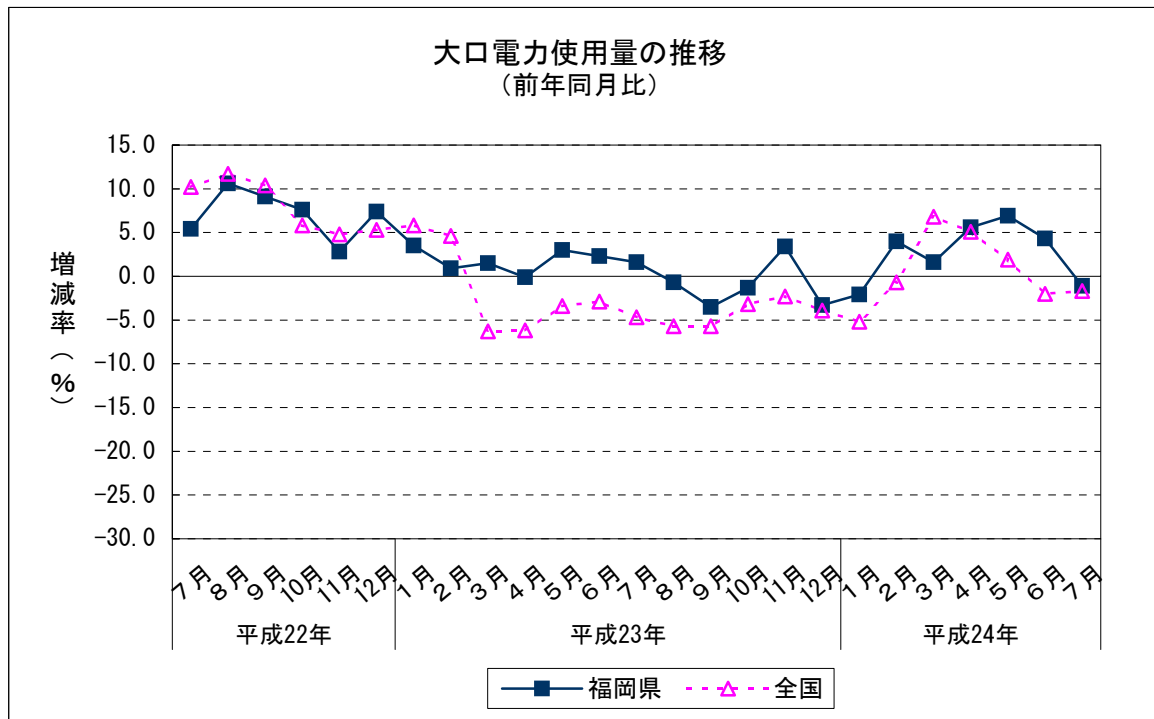
		使用量(Mwh)	前年同月比
平成23年 (2011)	7月	763,133	1.6
	8月	753,673	▲0.7
	9月	722,516	▲3.5
	10月	751,489	▲1.3
	11月	729,657	3.4
	12月	715,242	▲3.3
平成24年 (2012)	1月	700,205	▲2.1
	2月	693,099	4.0
	3月	735,302	1.6
	4月	727,097	5.6
	5月	751,890	6.9
	6月	762,519	4.3
	7月	754,494	▲1.1

		使用量(Mwh)	前年同期比
平成22年 (2010)	7～9月	2,258,609	8.3
	10～12月	2,206,558	5.9
平成23年 (2011)	1～3月	2,105,057	2.0
	4～6月	2,122,259	1.7
	7～9月	2,239,322	▲0.9
	10～12月	2,196,388	▲0.5
平成24年 (2012)	1～3月	2,128,606	1.1
	4～6月	2,241,506	5.6

	使用量(Mwh)	前年比
平成21年(2009)	7,909,263	▲16.1
平成22年(2010)	8,614,978	8.9
平成23年(2011)	8,663,026	0.6

資料出所：九州電力「需要実績」、日本電気事業協会「電力需要実績（確報）」

使用量単位：Mwh



# 生産

## 1.2 所定外労働時間（製造業）（2012年7月）

(1) 前年同月比：2ヶ月連続のマイナス

(平成22年=100)

	所定外労働時間	指数	前年同月比
平成23年 (2011)	7月	15.6	101.7 ▲ 3.9
	8月	16.1	105.1 ▲ 1.7
	9月	15.4	100.7 ▲ 4.3
	10月	15.9	104.1 ▲ 1.6
	11月	15.7	102.9 ▲ 3.3
	12月	16.6	109.0 ▲ 0.5
平成24年 (2012)	1月	14.8	92.5 ▲ 4.7
	2月	15.4	96.3 ▲ 11.0
	3月	15.4	96.3 ▲ 11.1
	4月	14.8	92.5 ▲ 3.2
	5月	14.4	90.0 ▲ 1.0
	6月	15.2	95.0 ▲ 3.5
	7月	16.0	100.0 ▲ 1.7

	所定外労働時間	前年比
平成21年(2009)	11.7	▲ 24.8
平成22年(2010)	15.6	35.0
平成23年(2011)	15.5	1.2

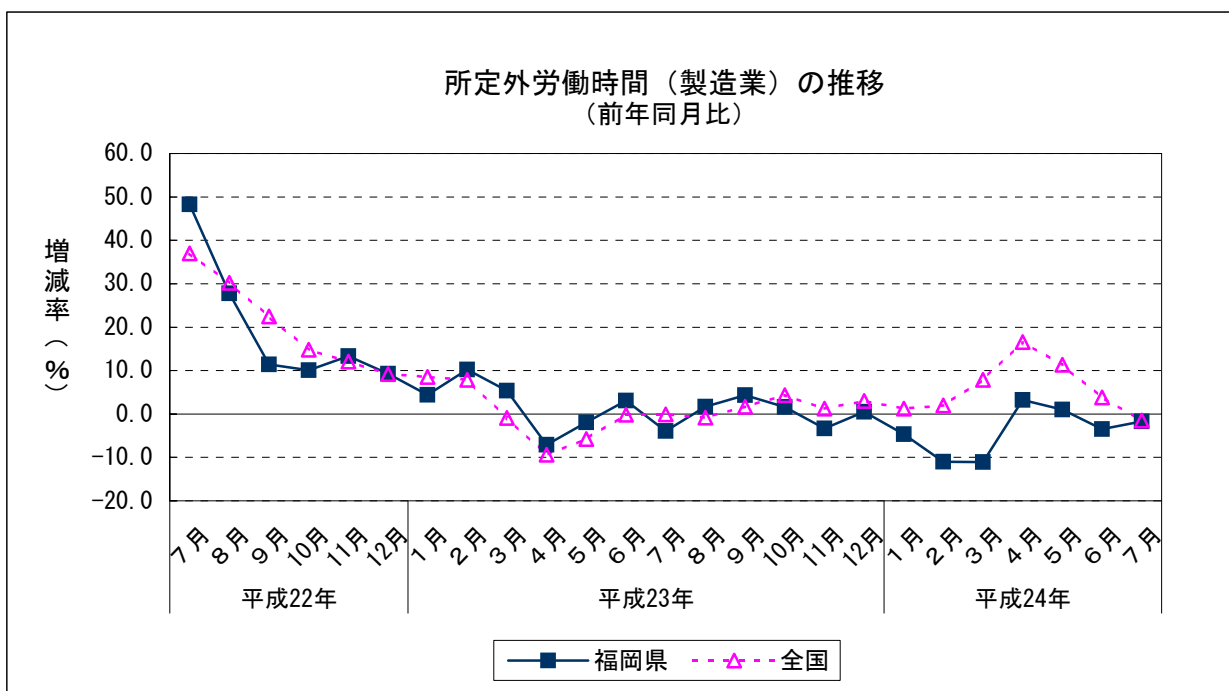
資料出所：

福岡県調査統計課「毎月勤労統計調査 地方調査」

対象：製造業、30人以上の事業所

※前年同月比、前年比はそれぞれの指数比による。

※指数は、基準年を更新し、平成22年を100としている。



# 貿易

## 1 輸出通関実績額（2012年7月） （1）前年同月比：2か月連続のマイナス

		輸出通関実績額	前年同月比
平成23年 (2011)	7月	373,089	9.0
	8月	333,963	8.8
	9月	348,277	5.1
	10月	328,867	▲ 4.5
	11月	308,619	▲ 4.8
	12月	365,623	▲ 2.2
平成24年 (2012)	1月	284,231	7.0
	2月	344,080	10.8
	3月	375,589	15.2
	4月	335,545	23.3
	5月	319,830	12.4
	6月	349,090	▲ 5.0
	7月	358,758	▲ 3.8

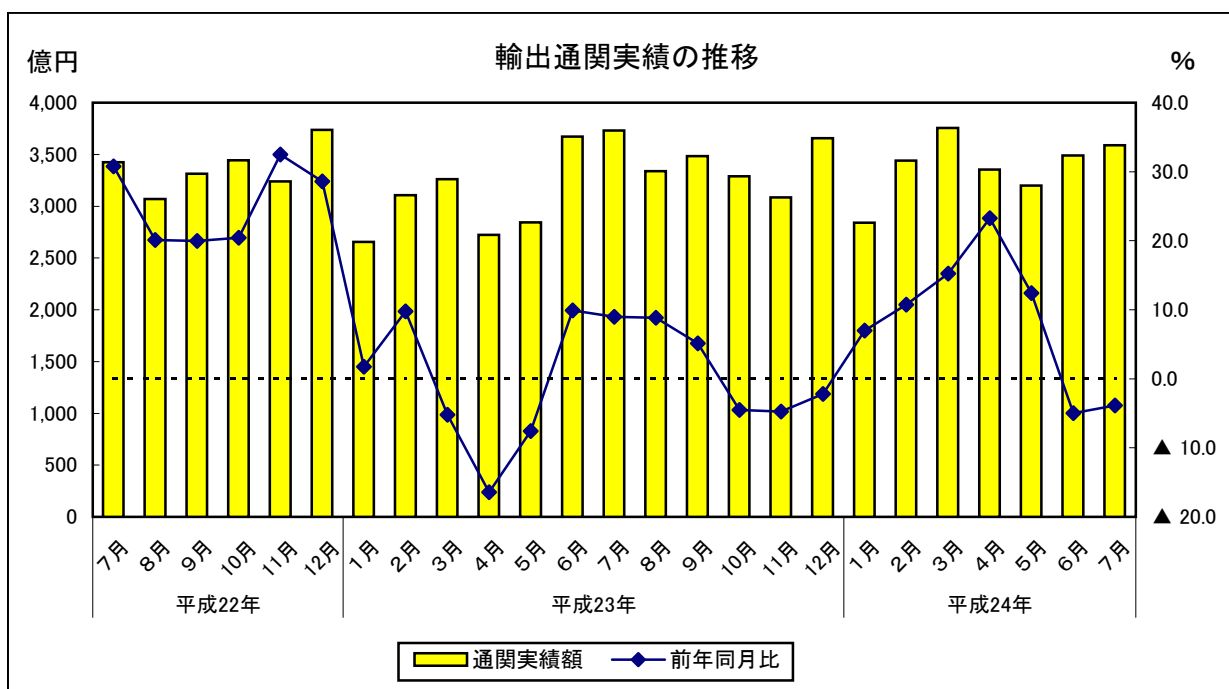
		輸出通関実績額	前年同期比
平成22年 (2010)	7～9月	980,546	23.6
	10～12月	1,042,263	26.9
平成23年 (2011)	1～3月	902,300	1.6
	4～6月	923,991	▲ 4.5
	7～9月	1,055,329	7.6
	10～12月	1,003,110	▲ 3.8
平成24年 (2012)	1～3月	1,003,900	11.3
	4～6月	1,004,465	8.7

	輸出通関実績額	前年比
平成21年(2009)	2,898,525	▲ 33.3
平成22年(2010)	3,878,660	33.8
平成23年(2011)	3,884,730	0.2

資料出所：門司税関、長崎税関「貿易統計」

輸出通関実績額単位：百万円

貿易については、使用可能な最新データを掲載しているが、遡及改訂する場合がある。



# 貿易

## 2 輸出通関実績額の内訳（2012年7月）

### (1) 各港別

前年同月比プラス：苅田港（2か月ぶり）、博多港（2か月ぶり）

前年同月比マイナス：門司港（2か月連続）、戸畑港（2か月連続）、福岡空港（5か月ぶり）、三池港（3か月ぶり）

		門司	前年同月比	苅田	前年同月比	戸畑	前年同月比	博多	前年同月比	空港	前年同月比	三池	前年同月比
平成23年 (2011)	7月	61,662	▲ 14.1	60,865	▲ 1.0	33,792	16.0	145,810	14.9	51,983	▲ 6.8	18,976	25.8
	8月	57,593	▲ 10.1	56,994	20.1	35,025	21.4	130,157	15.8	50,598	4.5	3,596	▲ 37.8
	9月	50,546	▲ 4.0	73,993	12.9	33,814	5.2	132,255	6.5	52,773	5.3	4,896	▲ 26.5
	10月	60,028	3.1	57,965	▲ 8.2	27,725	9.7	129,887	1.2	46,649	▲ 13.2	6,613	▲ 57.6
	11月	48,927	5.9	65,180	▲ 1.2	26,661	▲ 7.8	114,591	▲ 7.2	38,067	▲ 15.7	15,192	5.6
	12月	51,274	▲ 11.9	73,277	▲ 8.1	30,508	▲ 12.5	137,188	▲ 2.9	47,902	1.1	25,474	104.8
平成24年 (2012)	1月	37,002	▲ 18.0	55,563	24.8	27,486	4.8	117,351	11.0	44,201	7.3	2,628	▲ 6.1
	2月	49,150	▲ 10.7	65,423	19.6	31,901	3.2	146,691	35.7	44,528	▲ 3.3	6,385	▲ 59.9
	3月	61,261	▲ 5.6	50,349	25.2	38,612	11.1	158,849	24.7	53,654	1.3	12,866	123.3
	4月	54,311	▲ 8.2	54,896	375.5	32,307	5.0	138,530	27.1	52,783	14.7	2,719	▲ 82.8
	5月	53,664	3.9	49,299	7.6	31,360	10.8	124,277	14.2	45,734	0.4	15,495	260.2
	6月	55,540	▲ 1.2	63,763	▲ 18.3	33,539	▲ 7.1	131,401	▲ 2.4	50,971	3.3	13,875	6.9
	7月	61,096	▲ 0.9	67,603	11.1	32,425	▲ 4.0	146,070	0.2	48,021	▲ 7.6	3,542	▲ 81.3

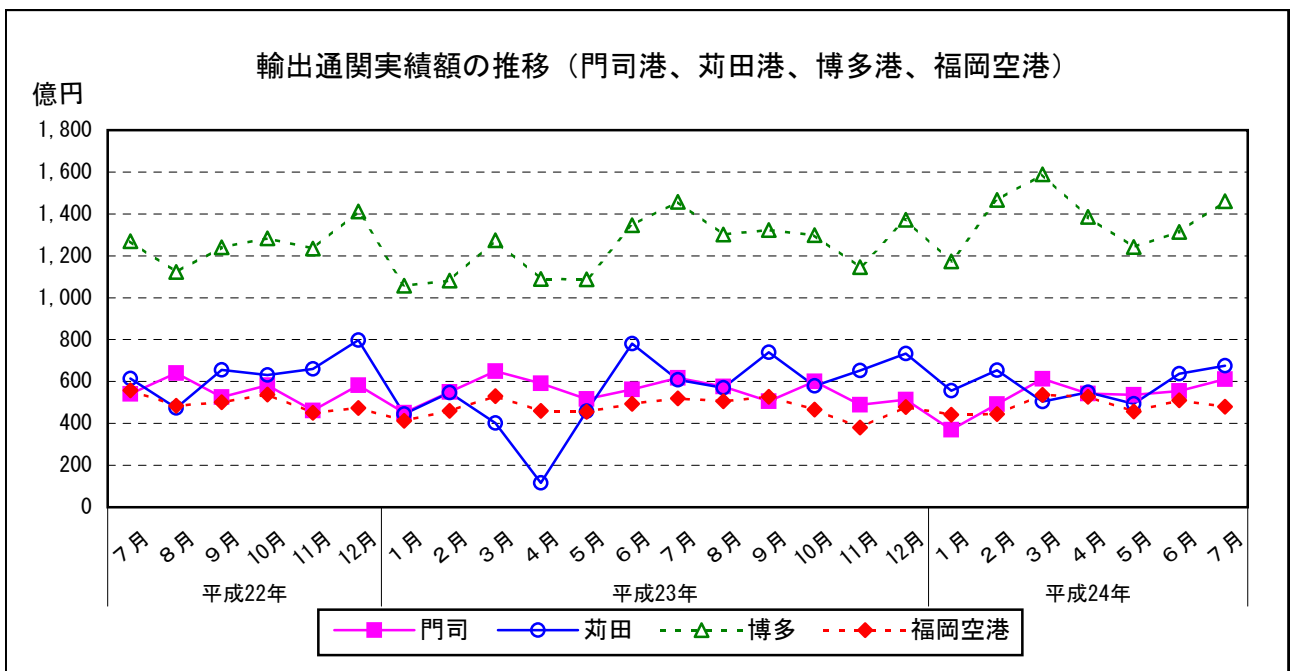
		門司	前年同期比	苅田	前年同期比	戸畑	前年同期比	博多	前年同期比	空港	前年同期比	三池	前年同期比
平成22年 (2010)	7~9月	170,683	55.7	174,439	74.6	90,123	2.4	363,455	11.3	154,311	▲ 3.3	27,535	180.3
	10~12月	162,578	17.5	208,814	87.2	89,070	7.5	393,087	20.7	146,283	▲ 1.3	42,431	187.7
平成23年 (2011)	1~3月	165,025	8.1	139,420	22.7	91,874	0.6	341,267	▲ 2.1	140,239	▲ 1.8	24,475	▲ 37.5
	4~6月	167,066	▲ 6.8	135,397	▲ 14.7	95,173	▲ 7.5	352,416	6.9	140,884	▲ 13.8	33,056	▲ 2.5
	7~9月	169,802	▲ 0.5	191,852	10.0	102,631	13.9	408,223	12.3	155,354	0.7	27,468	▲ 0.2
	10~12月	160,229	▲ 1.4	196,422	▲ 5.9	84,895	▲ 4.7	381,666	▲ 2.9	132,618	▲ 9.3	47,280	11.4
平成24年 (2012)	1~3月	147,413	▲ 10.7	171,336	22.9	97,999	6.7	422,891	23.9	142,383	1.5	21,879	▲ 10.6
	4~6月	163,515	▲ 2.1	167,958	24.0	97,207	2.1	394,208	11.9	149,488	6.1	32,089	▲ 2.9

		門司	前年比	苅田	前年比	戸畑	前年比	博多	前年比	空港	前年比	三池	前年比
平成21年(2009)		483,275	▲ 30.6	319,920	▲ 53.6	322,323	▲ 25.2	1,169,495	▲ 29.6	532,654	▲ 29.1	70,858	▲ 38.3
平成22年(2010)		665,082	37.6	655,582	104.9	373,383	15.8	1,434,674	22.7	606,924	13.9	143,015	101.8
平成23年(2011)		662,122	▲ 0.4	663,091	1.1	374,572	0.3	1,483,571	3.4	569,095	▲ 6.2	132,280	▲ 7.5

資料出所：門司税関、長崎税関「貿易統計」

輸出通関実績額単位：百万円

貿易については、使用可能な最新データを掲載しているが、遡及改訂する場合がある。



# 貿易

## 3 輸出通関実績額の内訳（2012年7月）

(1) 主要品目別前年同月比

プラス：電気機器、自動車等、タイヤチューブ、精密機械類

マイナス：半導体等電子部品、一般機械、鉄鋼、有機化合物等

(単位：百万円)

		実績額									
		総額	電気機器	半導体等 電子部品	自動車等	一般機械	タイヤ・ チューブ	鉄鋼	有機 化合物	精密 機器類	その他
平成23年 (2011)	7月	373,089	71,009	42,012	92,817	52,672	25,975	26,620	7,222	8,468	88,306
	8月	333,963	72,207	35,563	82,012	45,230	22,407	28,329	6,338	7,530	69,910
	9月	348,277	59,602	36,048	113,643	35,794	21,983	27,285	6,505	8,976	74,489
	10月	328,867	65,939	31,599	95,446	37,533	24,593	22,503	6,805	7,462	68,586
	11月	308,619	44,899	27,053	101,044	36,619	23,449	20,324	6,048	7,184	69,052
	12月	365,623	55,947	35,078	111,584	47,256	24,953	23,248	6,559	6,376	89,700
平成24年 (2012)	1月	284,231	56,039	34,469	82,835	34,275	19,986	21,210	6,625	5,242	58,021
	2月	344,080	59,496	35,995	102,996	47,148	25,650	24,326	6,860	6,340	71,264
	3月	375,589	67,162	40,686	85,319	54,688	29,723	28,299	7,686	9,297	93,416
	4月	335,545	58,741	35,709	90,142	37,535	30,076	21,692	8,375	8,393	80,592
	5月	319,830	53,089	34,707	83,254	34,711	27,541	23,019	6,274	10,400	81,542
	6月	349,090	66,354	39,549	96,776	33,803	27,328	24,558	6,013	9,345	84,913
	7月	358,758	79,699	41,941	111,197	34,034	28,308	23,210	7,161	9,023	66,127

(単位：%)

		前年同月比									
		総額	電気機器	半導体等 電子部品	自動車等	一般機械	タイヤ・ チューブ	鉄鋼	有機 化合物	精密 機器類	その他
平成23年 (2011)	7月	9.0	13.1	18.3	4.8	27.0	29.3	7.7	▲ 17.2	▲ 19.0	3.1
	8月	8.8	25.8	▲ 1.2	17.5	▲ 11.1	33.2	8.5	▲ 22.0	▲ 24.5	3.2
	9月	5.1	8.7	10.5	17.3	▲ 15.6	23.3	▲ 6.0	▲ 8.4	▲ 8.5	1.5
	10月	▲ 4.5	5.1	▲ 8.2	0.2	▲ 17.9	25.4	▲ 1.7	▲ 6.0	▲ 11.8	▲ 16.9
	11月	▲ 4.8	▲ 8.5	▲ 3.8	▲ 2.9	7.6	21.2	▲ 16.3	▲ 24.1	▲ 15.4	▲ 10.1
	12月	▲ 2.2	13.6	33.3	▲ 9.8	▲ 4.4	18.8	▲ 19.4	▲ 25.4	▲ 14.0	5.1
平成24年 (2012)	1月	7.0	37.0	52.2	12.9	▲ 5.3	15.4	▲ 11.1	▲ 3.9	0.9	▲ 6.3
	2月	10.8	23.0	62.9	18.5	13.9	25.1	▲ 10.5	▲ 5.1	13.1	▲ 3.0
	3月	15.2	22.2	34.7	31.7	▲ 1.4	22.4	▲ 0.1	▲ 11.7	14.2	14.8
	4月	23.3	29.1	24.4	261.6	▲ 19.8	17.2	▲ 23.2	1.7	▲ 0.1	▲ 4.6
	5月	12.4	13.3	19.1	37.7	▲ 15.3	7.4	▲ 8.0	▲ 11.6	34.7	15.4
	6月	▲ 5.0	20.2	23.3	▲ 9.8	▲ 30.1	4.7	▲ 18.9	▲ 1.1	8.2	▲ 0.6
	7月	▲ 3.8	12.2	▲ 0.2	19.8	▲ 35.4	9.0	▲ 12.8	▲ 0.8	6.6	▲ 25.1

(単位：百万円)

		実績額									
		総額	電気機器	半導体等 電子部品	自動車等	一般機械	タイヤ・ チューブ	鉄鋼	有機 化合物	精密 機器類	その他
平成21年(2009)		2,898,525	614,839	365,752	531,489	334,805	198,176	243,268	88,350	98,364	789,234
平成22年(2010)		3,878,660	641,585	351,664	1,011,625	521,756	229,443	314,068	100,606	108,845	950,730
平成23年(2011)		3,884,730	661,368	372,232	1,014,312	524,251	282,869	311,239	83,711	89,701	917,279

(単位：%)

		前年比									
		総額	電気機器	半導体等 電子部品	自動車等	一般機械	タイヤ・ チューブ	鉄鋼	有機 化合物	精密 機器類	その他
平成21年(2009)		▲ 33.3	▲ 37.8	▲ 42.4	▲ 45.7	▲ 39.0	▲ 29.4	▲ 25.5	▲ 21.9	▲ 7.6	▲ 21.1
平成22年(2010)		33.8	4.4	▲ 3.9	90.3	55.8	15.8	29.1	13.9	10.7	20.5
平成23年(2011)		0.2	3.1	5.8	0.3	0.5	23.3	▲ 0.9	▲ 16.8	▲ 17.6	▲ 3.5

資料出所：門司税関、長崎税関「貿易統計」

注) 自動車等は、自動車及び自動車の部分品

貿易については、使用可能な最新データを掲載しているが、遡及改訂する場合がある。

# 貿易

## 4 地域別輸出状況（2012年7月）

### (1) 前年同月比

アジア：2か月連続のマイナス

北米：2か月ぶりのプラス

西欧：2か月連続のマイナス

		アジア	前年同月比	北米	前年同月比	西欧	前年同月比
平成23年 (2011)	7月	218,769	4.6	70,044	14.8	26,254	34.5
	8月	203,083	0.9	63,776	58.9	22,531	9.6
	9月	198,769	2.1	75,255	15.3	22,991	1.2
	10月	197,668	▲ 2.6	62,318	▲ 4.2	25,071	11.2
	11月	175,549	▲ 10.1	69,163	7.2	21,457	▲ 2.9
	12月	203,801	▲ 7.3	82,597	▲ 0.2	20,886	▲ 17.4
平成24年 (2012)	1月	161,765	3.7	65,740	34.3	22,208	0.2
	2月	195,664	10.4	76,141	23.1	25,348	9.7
	3月	227,634	10.7	62,972	27.3	24,852	▲ 5.0
	4月	200,892	15.4	68,328	125.4	23,401	4.7
	5月	187,216	12.1	58,546	3.7	21,318	2.3
	6月	194,471	▲ 8.3	73,228	▲ 7.6	21,301	▲ 20.5
	7月	204,221	▲ 6.6	76,507	9.2	23,561	▲ 10.3

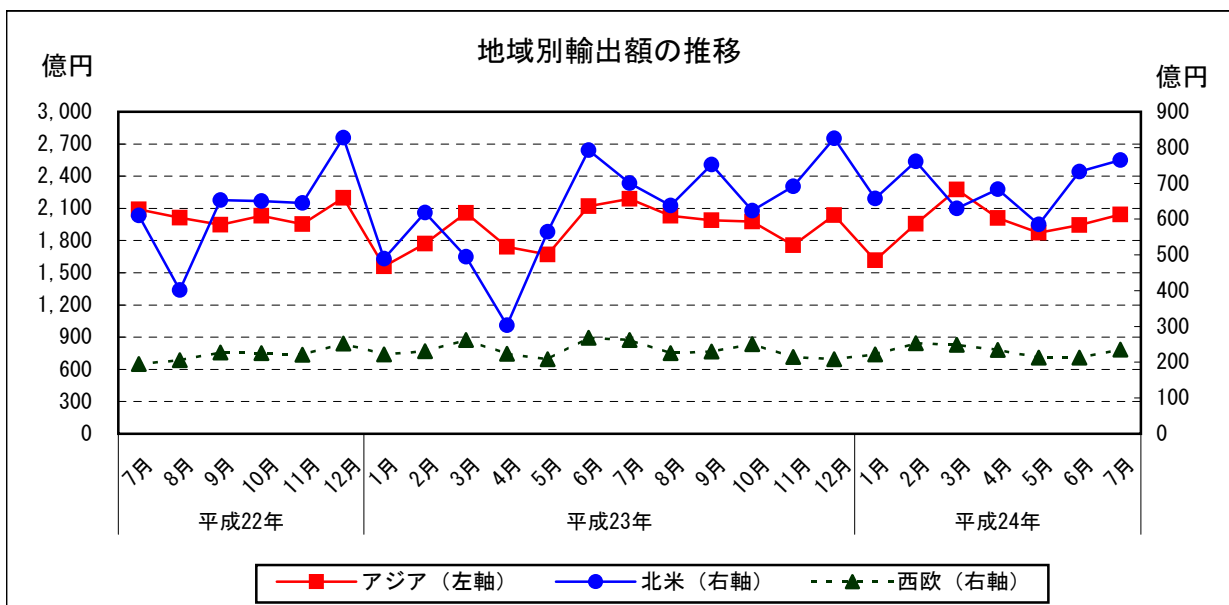
		アジア	前年同期比	北米	前年同期比	西欧	前年同期比
平成22年 (2010)	7~9月	605,122	12.6	166,435	30.9	62,795	43.0
	10~12月	617,932	18.4	212,301	59.5	69,910	32.3
平成23年 (2011)	1~3月	538,918	▲ 2.8	160,288	20.9	71,455	20.5
	4~6月	553,396	▲ 5.0	166,078	3.0	69,991	3.8
	7~9月	620,621	2.6	209,074	25.6	71,776	14.3
平成24年 (2012)	10~12月	577,019	▲ 6.6	214,078	0.8	67,414	▲ 3.6
	1~3月	585,063	8.6	204,853	27.8	72,408	1.3
平成24年 (2012)	4~6月	582,579	5.3	200,102	20.5	66,020	▲ 5.7

	アジア	前年比	北米	前年比	西欧	前年比
平成21年(2009)	1,898,468	▲ 28.8	436,671	▲ 36.9	185,825	▲ 58.4
平成22年(2010)	2,360,037	24.3	672,535	54.0	259,459	39.6
平成23年(2011)	2,289,953	▲ 3.0	749,518	11.4	280,635	8.2

資料出所：門司税関、長崎税関「貿易統計」

単位：百万円

貿易については、使用可能な最新データを掲載しているが、遡及改訂する場合がある。



# 貿易

## 5 アジア主要各国への輸出状況（2012年7月）

### （1）前年同月比

中国：7か月ぶりのマイナス

韓国：4か月連続のマイナス

台湾：2か月連続のマイナス

		中国	前年同月比	韓国	前年同月比	台湾	前年同月比	その他	前年同月比
平成23年 (2011)	7月	89,573	10.9	47,183	14.6	23,001	▲ 3.0	59,012	▲ 7.0
	8月	82,679	1.3	47,083	▲ 1.2	19,625	▲ 9.7	53,696	6.8
	9月	82,764	5.6	36,786	▲ 18.4	19,658	▲ 8.6	59,561	19.6
	10月	85,666	▲ 4.8	35,451	▲ 9.9	21,624	▲ 5.7	54,927	8.4
	11月	62,563	▲ 19.3	37,755	▲ 4.5	18,900	▲ 3.8	56,332	▲ 3.7
	12月	76,291	▲ 10.2	46,378	▲ 0.4	18,319	▲ 26.1	62,813	▲ 0.9
平成24年 (2012)	1月	57,985	3.5	41,206	7.5	13,927	▲ 18.2	48,647	9.3
	2月	79,366	12.1	44,485	21.5	18,524	▲ 9.7	53,290	8.0
	3月	84,943	16.3	59,554	21.7	21,746	▲ 7.9	61,391	2.2
	4月	72,261	35.3	43,998	▲ 5.3	21,006	▲ 0.4	63,627	19.6
	5月	74,068	33.8	37,787	▲ 12.4	21,227	8.5	54,134	10.4
	6月	78,481	1.0	37,525	▲ 23.7	21,233	▲ 8.5	57,232	▲ 7.9
	7月	89,370	▲ 0.2	36,738	▲ 22.1	21,000	▲ 8.7	57,113	▲ 3.2

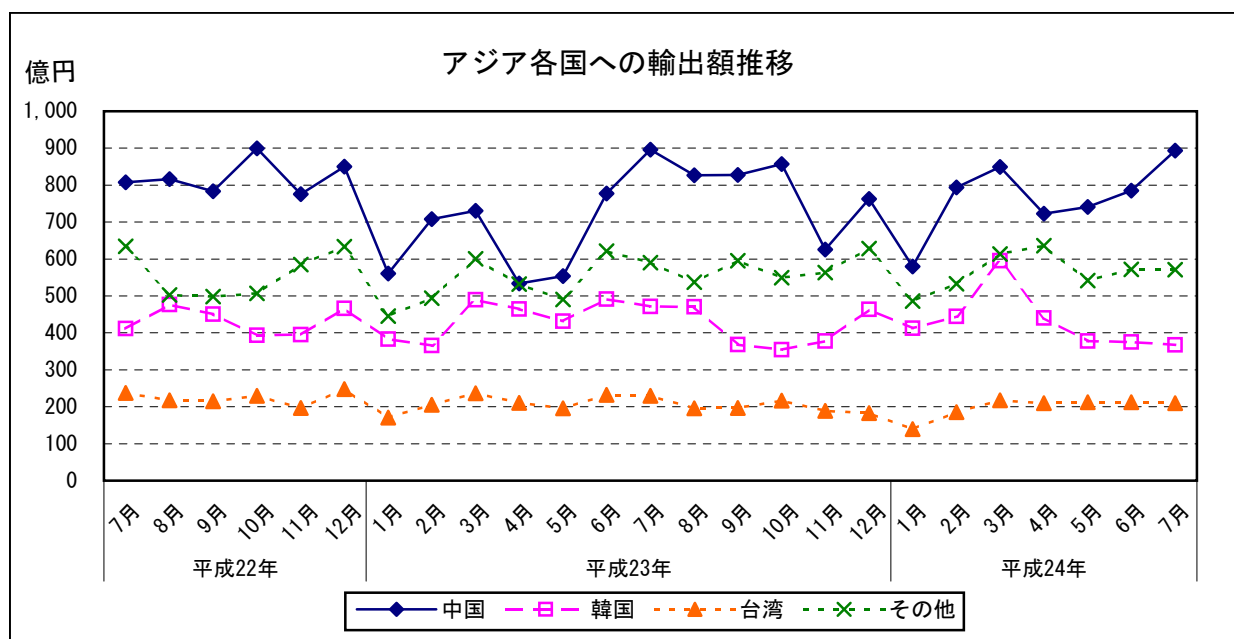
		中国	前年同期比	韓国	前年同期比	台湾	前年同期比	その他	前年同期比
平成22年 (2010)	7~9月	240,713	8.6	133,935	23.0	66,944	22.0	163,530	7.5
	10~12月	252,495	22.5	125,441	21.2	67,402	15.3	172,594	12.2
平成23年 (2011)	1~3月	199,904	▲ 0.6	123,892	▲ 0.7	61,172	▲ 11.5	153,950	▲ 3.3
	4~6月	186,459	▲ 11.6	138,769	12.7	63,835	▲ 15.6	164,333	▲ 5.1
	7~9月	255,017	5.9	131,051	▲ 2.2	62,283	▲ 7.0	172,269	5.3
平成24年 (2012)	10~12月	224,520	▲ 11.1	119,584	▲ 4.7	58,843	▲ 12.7	174,072	0.9
	1~3月	222,294	11.2	145,244	17.2	54,198	▲ 11.4	163,328	6.1
	4~6月	224,811	20.6	119,309	▲ 14.0	63,466	▲ 0.6	174,993	6.5

	中国	前年比	韓国	前年比	台湾	前年比	その他	前年比
平成21年(2009)	747,183	▲ 32.9	384,583	▲ 26.5	222,016	▲ 30.7	544,686	▲ 23.5
平成22年(2010)	905,282	21.2	507,229	31.9	279,158	25.7	668,368	22.7
平成23年(2011)	865,899	▲ 4.4	513,296	1.2	246,133	▲ 11.8	664,625	▲ 0.6

資料出所：関税課、長崎税関「貿易統計」

単位：百万円

貿易については、使用可能な最新データを掲載しているが、遡及改訂する場合がある。





# 貿易

## 6 輸入通関実績額（2012年7月） （1）前年同月比：2か月ぶりのプラス

		輸入通関実績額	前年同月比
平成23年 (2011)	7月	183,894	8.0
	8月	206,849	20.5
	9月	192,870	14.4
	10月	183,263	14.0
	11月	184,969	9.2
	12月	186,791	9.2
平成24年 (2012)	1月	205,837	14.5
	2月	171,108	11.2
	3月	192,248	2.1
	4月	203,085	14.5
	5月	214,962	14.1
	6月	192,824	▲ 4.3
	7月	221,331	20.4

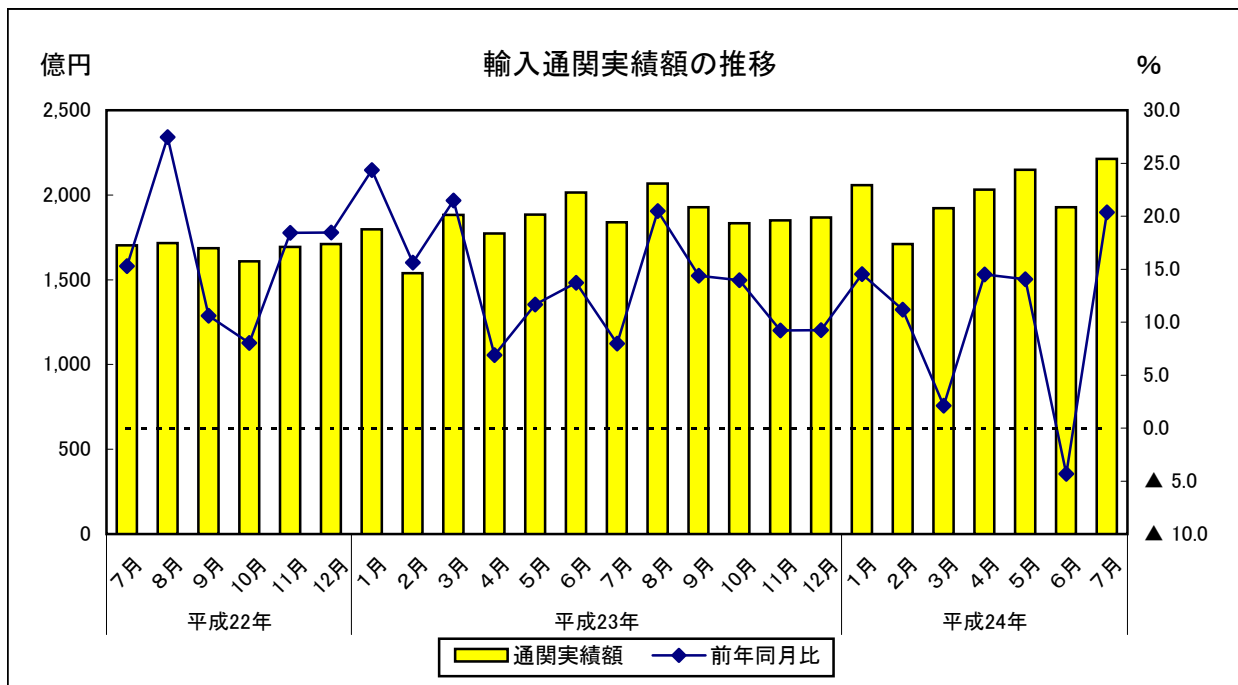
		輸入通関実績額	前年同期比
平成22年 (2010)	7～9月	510,643	17.4
	10～12月	501,171	14.9
平成23年 (2011)	1～3月	521,901	20.6
	4～6月	567,345	10.8
	7～9月	583,613	14.3
平成24年 (2012)	10～12月	555,022	10.7
	1～3月	569,193	9.1
	4～6月	610,872	7.7

	輸入通関実績額	前年比
平成21年(2009)	1,666,476	▲ 35.1
平成22年(2010)	1,956,392	17.4
平成23年(2011)	2,227,881	13.9

資料出所：門司税関、長崎税関「貿易統計」

輸入通関実績額単位：百万円

貿易については、使用可能な最新データを掲載しているが、遡及改訂する場合がある。



# 貿易

## 7 輸入通関実績額の内訳（2012年7月）

(1) 各港別

前年同月比プラス：門司港（2か月ぶり）、戸畑港（2か月ぶり）、博多港（2か月ぶり）、福岡空港（8か月連続）

前年同月比マイナス：苅田港（2か月ぶり）、三池港（5か月連続）

		門司		苅田		戸畑		博多		空港		三池	
		前年同月比	前年同月比	前年同月比	前年同月比	前年同月比	前年同月比	前年同月比	前年同月比	前年同月比	前年同月比		
平成23年 (2011)	7月	60,667	12.9	2,655	71.0	24,290	16.5	70,197	15.3	23,136	▲24.2	2,950	5.8
	8月	63,976	19.2	2,170	▲37.2	36,827	71.0	73,442	22.7	26,708	▲10.4	3,727	9.7
	9月	63,105	18.8	1,763	▲21.3	30,315	63.1	67,963	7.7	27,207	▲3.8	2,518	▲23.6
	10月	53,861	8.2	2,457	27.3	27,520	58.0	70,005	18.3	26,171	▲10.9	3,249	2.6
	11月	61,409	18.6	1,697	▲12.9	20,699	22.5	71,159	8.2	26,921	▲8.8	3,084	▲11.4
	12月	52,866	▲6.0	2,254	124.0	36,445	65.5	66,034	2.8	25,183	1.8	4,008	45.9
平成24年 (2012)	1月	61,984	9.5	2,525	▲16.8	40,928	65.1	68,909	3.2	27,645	9.9	3,846	14.8
	2月	50,000	▲2.6	1,991	35.2	31,422	54.8	57,206	4.3	27,424	15.1	3,066	45.0
	3月	56,191	▲2.8	2,691	44.8	30,560	26.4	69,734	▲2.9	29,653	3.0	3,419	▲10.8
	4月	60,447	10.3	2,008	23.8	32,205	33.9	77,366	10.9	28,614	21.3	2,445	▲30.9
	5月	66,862	17.0	1,651	▲47.9	32,535	32.8	82,527	6.9	28,407	21.8	2,979	▲6.1
	6月	58,518	▲10.5	1,283	0.7	33,501	▲8.6	70,466	▲1.6	26,129	11.2	2,928	▲4.8
	7月	67,465	11.2	2,132	▲19.7	41,851	72.3	76,475	8.9	31,060	34.3	2,349	▲20.4

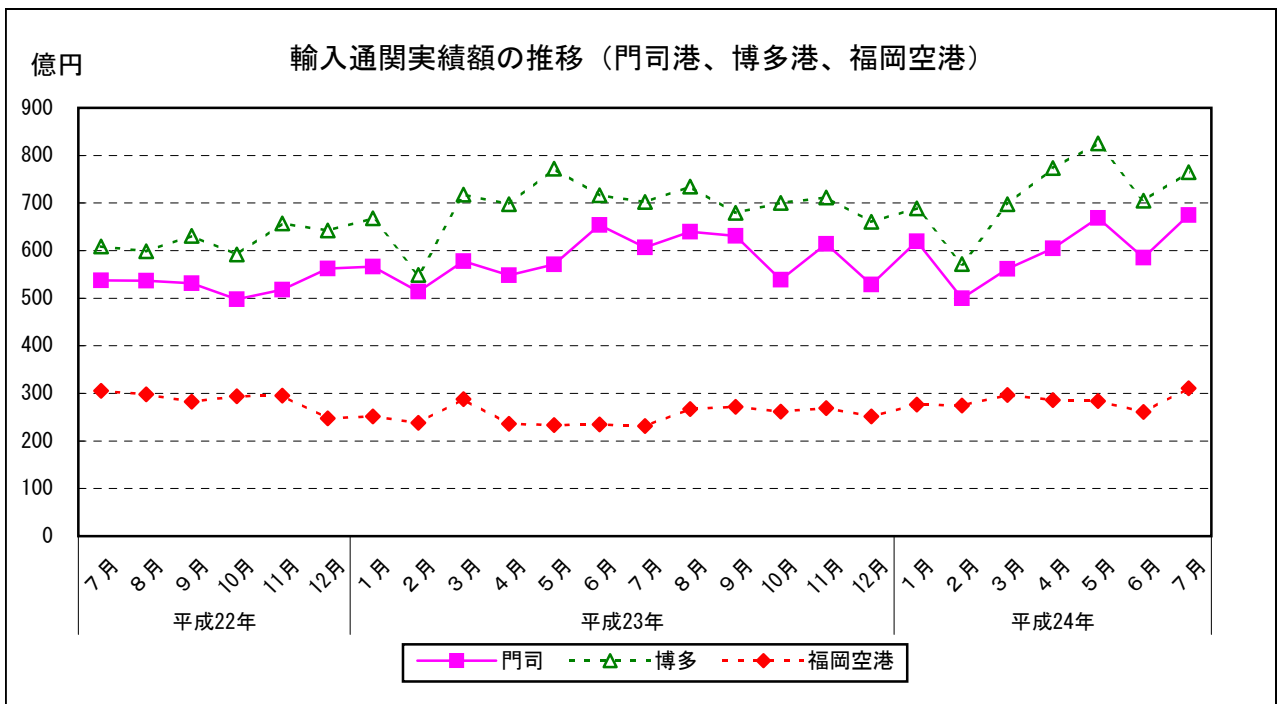
		門司		苅田		戸畑		博多		空港		三池	
		前年同期比	前年同期比	前年同期比	前年同期比	前年同期比	前年同期比	前年同期比	前年同期比	前年同期比	前年同期比		
平成22年 (2010)	7~9月	160,509	36.1	7,248	67.0	60,973	29.5	183,819	4.8	88,611	6.8	9,484	32.6
	10~12月	157,768	28.2	4,884	30.5	56,333	38.7	189,149	6.8	83,643	0.4	9,395	12.5
平成23年 (2011)	1~3月	165,783	26.6	6,364	110.6	69,273	41.7	193,420	25.5	77,765	▲10.9	9,295	11.4
	4~6月	177,289	18.1	6,065	16.8	85,219	28.5	218,574	13.8	70,414	▲21.0	9,785	5.6
	7~9月	187,747	17.0	6,587	▲9.1	91,432	50.0	211,601	15.1	77,050	▲13.0	9,196	▲3.0
平成24年 (2012)	10~12月	168,136	6.6	6,408	31.2	84,664	50.3	207,198	9.5	78,275	▲6.4	10,341	10.1
	1~3月	168,175	1.4	7,206	13.2	102,911	48.6	195,849	1.3	84,722	8.9	10,331	11.1
	4~6月	185,827	4.8	4,942	▲18.5	98,242	15.3	230,359	5.4	83,151	18.1	8,351	▲14.7

	門司	前年比	苅田	前年比	戸畑	前年比	博多	前年比	空港	前年比	三池	前年比
平成21年(2009)	456,648	▲39.0	15,315	▲60.5	184,575	▲51.4	684,772	▲23.5	292,907	▲35.1	32,259	▲40.6
平成22年(2010)	599,274	31.2	20,347	32.9	232,511	26.0	719,154	5.0	348,622	19.0	36,485	13.1
平成23年(2011)	698,955	16.6	25,425	25.0	330,587	42.2	830,794	15.5	303,504	▲12.9	38,617	5.8

資料出所：門司税関、長崎税関「貿易統計」

輸入通関実績額単位：百万円

貿易については、使用可能な最新データを掲載しているが、遡及改訂する場合があります。



# 貿易

## 8 輸入通関実績額の内訳（2012年7月）

(1) 主要品目別前年同月比

プラス：電気機器、半導体等電子部品、一般機械、液化天然ガス、石炭等  
 マイナス：食料品及び動物等

(単位：百万円)

		実績額									
		総額	電気機器	半導体等 電子部品	食料品 及び動物	一般機械	液化天然 ガ ス	石炭	履き物	木材	その他
平成23年 (2011)	7月	183,894	33,362	10,268	22,051	12,304	13,660	10,084	1,516	1,278	89,639
	8月	206,849	35,183	11,547	22,952	11,519	25,169	11,081	1,432	1,219	98,293
	9月	192,870	35,372	12,337	20,109	14,263	14,948	13,286	1,091	1,228	92,572
	10月	183,263	33,450	10,559	21,352	10,265	20,964	8,221	1,093	1,214	86,705
	11月	184,969	34,424	11,975	24,253	11,693	14,288	7,437	1,158	1,319	90,396
	12月	186,791	31,424	12,058	22,824	11,666	22,850	9,167	998	1,088	86,774
平成24年 (2012)	1月	205,837	33,657	12,098	24,948	11,597	28,416	10,449	1,790	1,159	93,820
	2月	171,108	30,102	12,139	19,596	12,702	22,794	10,400	1,010	797	73,706
	3月	192,248	34,267	13,438	23,898	13,278	24,354	4,168	1,349	1,028	89,906
	4月	203,085	31,778	12,256	34,205	11,708	20,710	10,690	1,191	855	91,948
	5月	214,962	39,187	14,017	32,447	13,507	24,370	7,808	1,254	1,162	95,228
	6月	192,824	35,345	11,988	22,294	12,178	25,066	6,767	996	1,180	88,999
	7月	221,331	39,999	12,468	21,065	21,041	26,357	16,931	1,888	1,133	92,917

(単位：%)

		前年同月比									
		総額	電気機器	半導体等 電子部品	食料品 及び動物	一般機械	液化天然 ガ ス	石炭	履き物	木材	その他
平成23年 (2011)	7月	8.0	0.7	▲ 28.2	8.3	▲ 6.6	70.8	▲ 2.6	▲ 8.4	14.4	8.6
	8月	20.5	5.3	▲ 20.2	9.1	14.1	186.0	▲ 18.5	▲ 23.8	▲ 5.3	20.5
	9月	14.4	2.7	▲ 8.7	11.8	10.9	94.9	51.1	▲ 19.8	2.8	9.8
	10月	14.0	16.4	2.2	16.2	▲ 8.3	280.9	▲ 14.8	▲ 20.1	0.2	2.3
	11月	9.2	▲ 5.5	▲ 3.4	25.9	2.0	67.7	26.4	▲ 21.9	11.0	6.2
	12月	9.2	▲ 0.2	28.8	3.1	6.7	144.4	▲ 8.1	▲ 21.6	▲ 7.7	2.5
平成24年 (2012)	1月	14.5	10.2	29.7	18.3	6.0	139.6	▲ 20.0	▲ 1.6	▲ 2.5	5.2
	2月	11.2	17.6	50.6	4.6	71.3	73.9	79.2	▲ 23.4	▲ 14.0	▲ 9.0
	3月	2.1	5.0	21.4	7.3	18.0	130.3	▲ 65.5	▲ 8.3	▲ 3.3	▲ 7.2
	4月	14.5	18.8	29.7	29.4	16.5	115.0	4.7	▲ 16.6	▲ 18.6	0.2
	5月	14.1	49.5	26.4	5.8	22.1	74.1	0.3	26.3	▲ 23.3	▲ 1.1
	6月	▲ 4.3	11.6	20.4	▲ 7.2	▲ 6.4	32.1	▲ 59.2	41.5	0.9	▲ 6.6
	7月	20.4	19.9	21.4	▲ 4.5	71.0	93.0	67.9	24.6	▲ 11.4	3.7

(単位：百万円)

		実績額									
		総額	電気機器	半導体等 電子部品	食料品 及び動物	一般機械	液化天然 ガ ス	石炭	履き物	木材	その他
平成21年(2009)		1,666,476	344,683	153,284	230,513	113,513	90,227	70,913	17,702	12,151	786,774
平成22年(2010)		1,956,392	372,658	145,372	253,544	133,803	96,912	104,251	17,047	13,371	964,807
平成23年(2011)		2,227,881	376,647	127,695	276,731	135,435	190,035	124,838	15,020	14,260	1,094,916

(単位：%)

		前年比									
		総額	電気機器	半導体等 電子部品	食料品 及び動物	一般機械	液化天然 ガ ス	石炭	履き物	木材	その他
平成21年(2009)		▲ 35.1	▲ 32.7	▲ 33.5	▲ 28.4	▲ 31.0	▲ 36.8	▲ 52.3	▲ 14.1	▲ 32.7	▲ 36.5
平成22年(2010)		17.4	8.1	▲ 5.2	10.0	17.9	7.4	47.0	▲ 3.7	10.0	22.6
平成23年(2011)		13.9	1.1	▲ 12.2	9.1	1.2	96.1	19.7	▲ 11.9	6.6	13.5

資料出所：門司税関、長崎税関「貿易統計」

貿易については、使用可能な最新データを掲載しているが、遡及改訂する場合がある。

# 貿易

## 9 地域別の輸入状況（2012年7月）

### (1) 前年同月比

アジア：2か月ぶりのプラス

北米：2か月ぶりのプラス

西欧：2か月ぶりのプラス

		アジア	前年同月比	北米	前年同月比	西欧	前年同月比
平成23年 (2011)	7月	132,251	3.6	14,745	8.7	6,825	▲7.2
	8月	131,897	5.2	15,173	11.4	9,540	3.6
	9月	137,168	8.4	16,025	35.6	6,695	▲9.1
	10月	129,602	10.1	13,342	21.7	7,412	0.2
	11月	134,722	6.1	14,076	27.4	12,304	53.1
	12月	121,219	▲3.6	12,309	▲1.1	8,052	8.5
平成24年 (2012)	1月	141,833	7.6	12,661	▲2.1	8,287	▲8.6
	2月	119,386	9.2	9,701	▲9.3	10,981	7.4
	3月	140,500	1.5	12,645	▲32.1	7,824	▲5.7
	4月	127,248	1.3	19,670	35.5	12,237	57.5
	5月	141,946	13.1	18,056	7.6	10,596	25.8
	6月	126,308	▲10.3	13,664	▲9.8	7,730	▲35.0
	7月	151,486	14.5	14,822	0.5	21,132	209.6

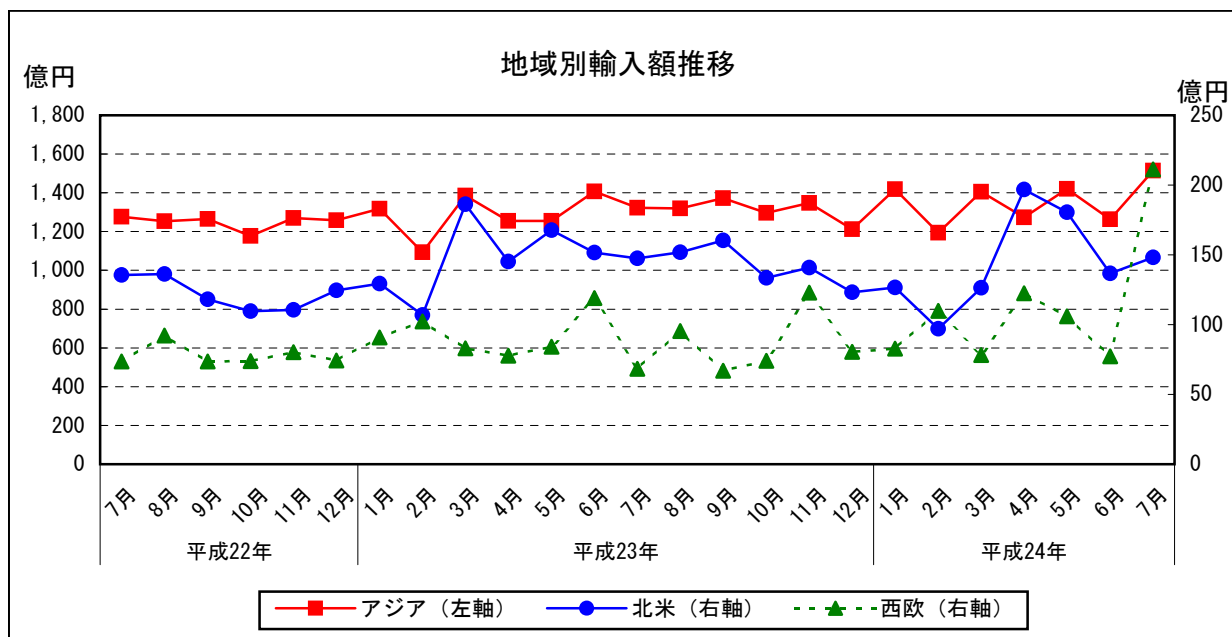
		アジア	前年同期比	北米	前年同期比	西欧	前年同期比
平成22年 (2010)	7~9月	379,575	18.5	38,995	6.2	23,930	15.0
	10~12月	370,419	11.4	34,455	▲8.3	22,853	9.2
平成23年 (2011)	1~3月	379,622	16.7	42,238	13.1	27,592	24.9
	4~6月	391,818	7.3	46,452	▲8.4	28,088	41.6
	7~9月	401,317	5.7	45,943	17.8	23,060	▲3.6
	10~12月	385,543	4.1	39,726	15.3	27,768	21.5
平成24年 (2012)	1~3月	401,719	5.8	35,007	▲17.1	27,092	▲1.8
	4~6月	395,502	0.9	51,391	10.6	30,564	8.8

	アジア	前年比	北米	前年比	西欧	前年比
平成21年(2009)	1,211,586	▲33.2	155,910	▲43.3	87,795	▲38.2
平成22年(2010)	1,440,613	18.9	161,489	3.6	88,725	1.1
平成23年(2011)	1,558,299	8.2	174,359	8.0	106,508	20.0

資料出所：関税課、長崎税関「貿易統計」

単位：百万円

貿易については、使用可能な最新データを掲載しているが、遡及改訂する場合がある。



# 貿易

## 10 アジア主要各国からの輸入状況（2012年7月）

(1) 前年同月比

中国：2か月ぶりのプラス

韓国：9か月連続のプラス

台湾：2か月ぶりのプラス

		中国	前年同月比	韓国	前年同月比	台湾	前年同月比	その他	前年同月比
平成23年 (2011)	7月	56,090	5.5	16,491	▲ 8.3	12,887	14.5	46,783	3.3
	8月	54,964	11.6	21,183	29.9	13,045	9.4	42,705	▲ 10.8
	9月	60,240	9.7	18,124	3.4	12,628	9.3	46,176	8.7
	10月	51,491	3.6	17,544	▲ 11.0	12,457	32.2	48,111	23.8
	11月	55,703	▲ 2.7	18,915	0.5	11,762	6.0	48,342	21.5
	12月	54,690	▲ 7.6	17,942	2.7	10,742	17.1	37,846	▲ 5.3
平成24年 (2012)	1月	56,985	▲ 3.5	20,800	23.0	12,752	18.9	51,295	13.7
	2月	44,483	13.5	20,800	46.3	10,379	3.0	43,724	▲ 4.7
	3月	59,540	0.8	20,743	16.7	9,985	▲ 23.4	50,232	3.3
	4月	55,593	0.6	21,228	17.2	10,120	▲ 8.7	40,307	▲ 1.9
	5月	60,489	18.7	21,844	30.7	12,482	8.8	47,131	1.7
	6月	53,913	▲ 9.8	21,535	24.0	9,853	▲ 19.6	41,007	▲ 20.1
	7月	58,527	4.3	18,611	12.9	15,311	18.8	59,037	26.2

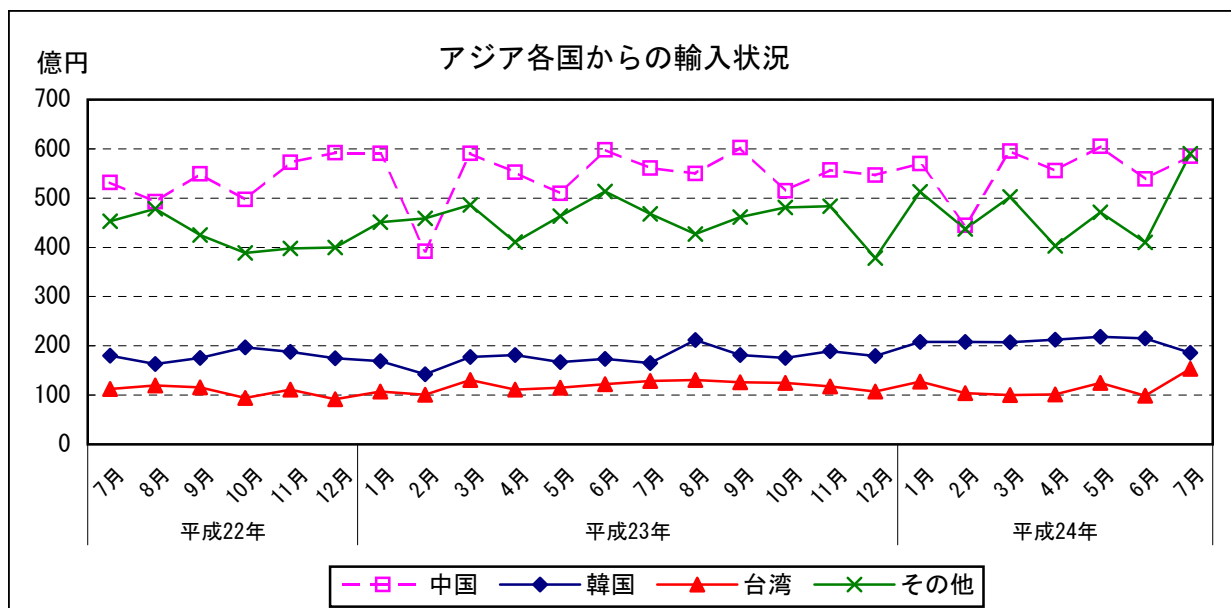
		中国	前年同期比	韓国	前年同期比	台湾	前年同期比	その他	前年同期比
平成22年 (2010)	7~9月	157,381	20.8	51,817	▲ 8.7	34,738	0.1	135,640	37.4
	10~12月	166,141	19.0	55,992	9.0	29,692	▲ 19.9	118,594	13.5
平成23年 (2011)	1~3月	157,309	21.0	48,906	14.9	33,830	12.1	139,577	13.9
	4~6月	166,004	7.0	52,195	▲ 4.5	34,806	14.2	138,812	10.9
	7~9月	171,294	8.8	55,798	7.7	38,561	11.0	135,664	0.0
	10~12月	161,884	▲ 2.6	54,400	▲ 2.8	34,961	17.7	134,298	13.2
平成24年 (2012)	1~3月	161,009	2.4	62,343	27.5	33,116	▲ 2.1	145,251	4.1
	4~6月	169,995	2.4	64,607	23.8	32,456	▲ 6.8	128,444	▲ 7.5

	中国	前年比	韓国	前年比	台湾	前年比	その他	前年比
平成21年(2009)	512,124	▲ 32.4	188,522	▲ 33.4	126,439	▲ 21.4	384,501	▲ 37.2
平成22年(2010)	608,623	18.8	205,013	8.7	125,071	▲ 1.1	501,906	30.5
平成23年(2011)	656,491	7.9	211,299	3.1	142,158	13.7	548,352	9.3

資料出所：門司税関、長崎税関「貿易統計」

単位：百万円

貿易については、使用可能な最新データを掲載しているが、遡及改訂する場合がある。



## 設備投資

### 1 『地場企業の経営動向調査』（福岡商工会議所調査結果）

100万円以上の設備投資を行った企業

(1) 規模別（平成24年4～6月期）

中小企業は、21.8%と前期比4.7ポイントプラス、大企業は、53.3%と前期比13.4ポイントマイナスとなった。

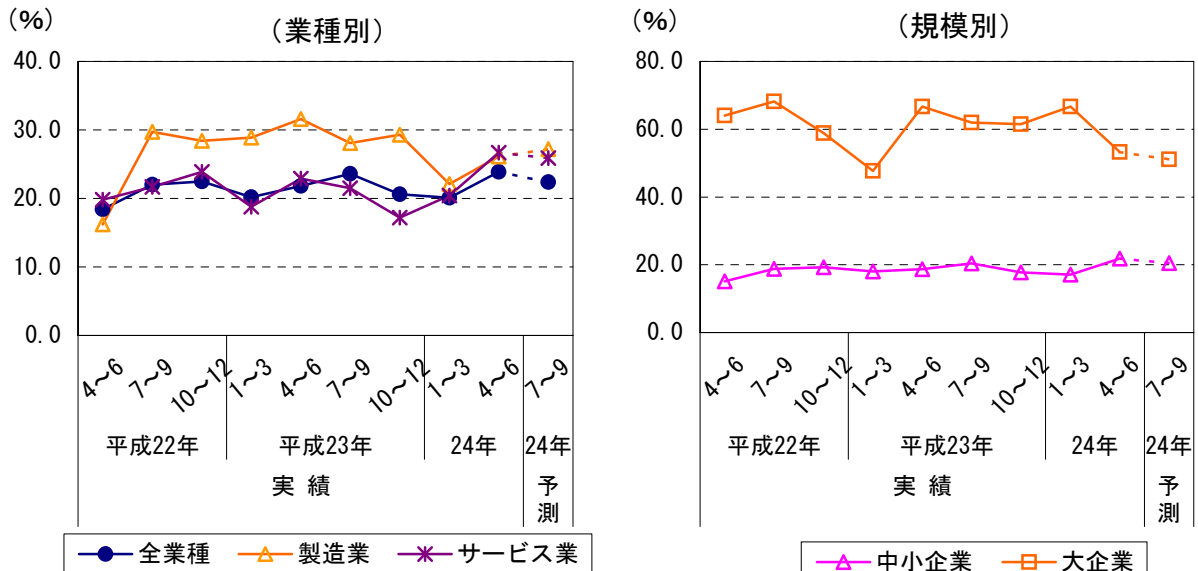
(2) 業種別（平成24年4～6月期）

製造業は、26.1%と前期比4.0ポイントプラス、サービス業は、26.7%と前期比6.3ポイントプラスとなった。

### 100万円以上の設備投資を行った企業の割合（％）

		全業種	製造業	サービス業	中小企業	大企業
平成22年 (2010)	4～6月期	18.4	16.2	19.8	15.1	64.0
	7～9月期	22.0	29.7	21.7	18.8	68.2
	10～12月期	22.5	28.4	23.9	19.3	58.8
平成23年 (2011)	1～3月期	20.2	28.9	18.8	18.0	47.7
	4～6月期	21.8	31.6	22.9	18.7	66.7
	7～9月期	23.6	28.1	21.5	20.4	62.0
平成24年 (2012)	10～12月期	20.6	29.3	17.2	17.8	61.5
	1～3月期	20.1	22.1	20.4	17.1	66.7
	4～6月期	23.9	26.1	26.7	21.8	53.3
	7～9月期	予測	22.4	27.2	20.5	51.1

### 100万円以上の設備投資を行った企業割合



注) 調査の概要

1) 調査対象：当所会員企業を対象とし、1,500社を任意抽出。回答数：695（回答率：46.3%）

業種別回答企業数：建設業129社（構成比18.6%）、製造業92社（同13.2%）、卸売業106社（同15.3%）、小売業80社（同11.5%）、運輸・倉庫業33社（同4.7%）、サービス業255社（同36.7%）

規模別回答企業数：中小企業650社（構成比93.5%）、大企業45社（同6.5%）

2) 調査時期：平成24年6月末時点

## 設備投資

### 2 『法人企業景気予測調査』（財務省福岡財務支局調査結果）

(1) 北部九州地方の平成24年度設備投資通期実績見込み

非製造業は前年度を上回るものの、製造業は前年度を下回ることから、全産業では前年度を9.1%下回る見通しとなっている。

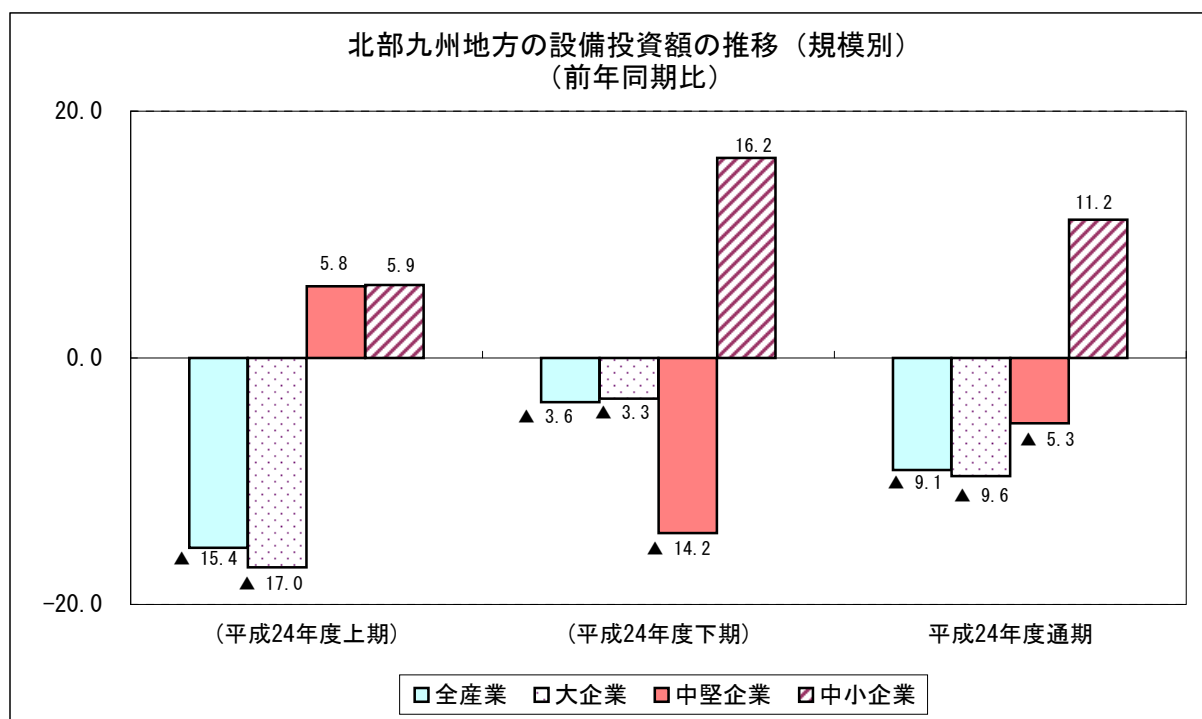
規模別にみると、大企業、中堅企業は前年度を下回るものの、中小企業は前年度を上回る見通しとなっている。

(本社ベース)

(対前年同期比、%：金額データ)

法人企業景気予測調査	全産業	業種別		規模別		
		製造業	非製造業	大企業	中堅企業	中小企業
(平成24年度上期)	▲ 15.4	▲ 45.8	11.1	▲ 17.0	5.8	5.9
(平成24年度下期)	▲ 3.6	▲ 23.0	4.3	▲ 3.3	▲ 14.2	16.2
平成24年度通期	▲ 9.1	▲ 36.1	7.0	▲ 9.6	▲ 5.3	11.2

※ソフトウェア投資額を含む、土地購入額を除く。



#### 注) 調査の概要

- 調査の目的 我が国経済活動の主要部分を占める企業活動を把握することにより、経済の現状及び今後の見通しに関する基礎資料を得ることを目的として、統計法に基づく一般統計調査として実施。
- 調査方法 対象企業に調査票を郵送、またはオンラインにより自計記入を求める方法による。
- 調査時点 平成24年8月15日
- 対象期間 平成24年度上期は実績見込み、24年度下期及び通期は見通し（又は計画）
- 対象企業数 北部九州3県（福岡県、佐賀県、長崎県）に所在する資本金1千万円以上（ただし、電気ガス・水道業及び金融・保険業は資本金1億円以上）の企業。  
対象企業：687社（うち、大企業（資本金10億円以上）が143社、中堅企業（1億円以上～10億円未満）が176社、中小企業（1千万円以上～1億円未満）が368社）。  
製造業 151社 非製造業 536社
- 回答企業数 大企業142社（回収率99.3%）、中堅企業161社（同91.5%）、中小企業294社（同79.9%）

## 設備投資

### 3 建築着工（居住専用住宅等除く）（2012年7月）

- (1) 着工床面積  
前年同月比：2か月ぶりのプラス
- (2) 着工工事費予定額  
前年同月比：3か月ぶりのプラス

		着工床面積	前年同月比	着工予定額	前年同月比
平成23年 (2011)	7月	105,091	▲ 61.6	15,806	▲ 58.1
	8月	163,847	55.8	17,826	10.9
	9月	70,627	▲ 46.4	10,036	▲ 50.6
	10月	136,676	26.8	22,700	46.4
	11月	173,358	0.9	24,165	▲ 1.9
	12月	135,801	20.8	24,929	30.0
平成24年 (2012)	1月	123,628	▲ 32.5	16,884	▲ 20.8
	2月	121,710	▲ 20.7	17,272	▲ 30.3
	3月	248,548	146.1	36,090	171.0
	4月	159,448	▲ 17.0	22,313	11.6
	5月	127,197	5.8	16,906	▲ 8.9
	6月	138,504	▲ 60.3	17,160	▲ 57.1
	7月	139,061	32.3	19,939	26.1

資料：国土交通省「建築着工統計調査」

着工床面積単位：㎡

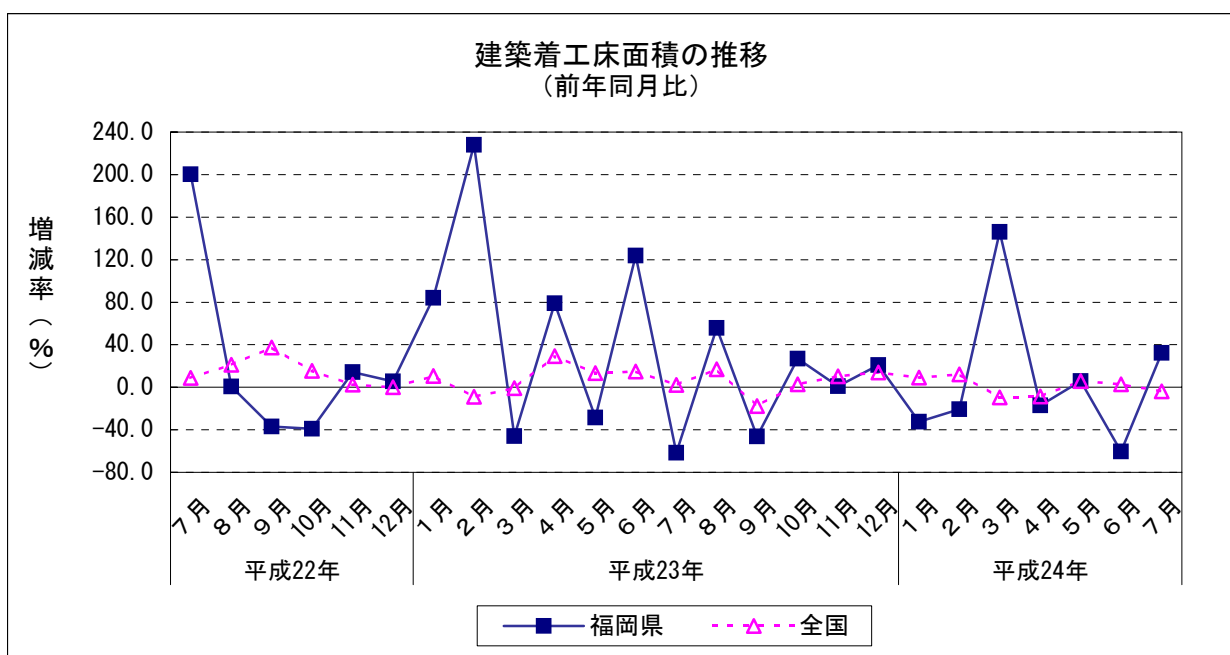
着工床面積単位：㎡

着工予定額単位：百万円

※全建築物計から、居住専用住宅、  
居住専用準住宅、居住産業併用建築物  
及び農林水産業用建築物を除いたもの  
である。

		着工床面積	前年同期比	着工予定額	前年同期比
平成22年 (2010)	7～9月	510,648	26.2	74,114	27.2
	10～12月	392,074	▲ 9.6	59,295	▲ 10.3
平成23年 (2011)	1～3月	437,684	31.5	59,404	▲ 8.2
	4～6月	660,887	53.3	78,586	39.1
	7～9月	339,565	▲ 33.5	43,668	▲ 41.1
平成24年 (2012)	10～12月	445,835	13.7	71,793	21.1
	1～3月	493,886	12.8	70,246	18.3
	4～6月	425,149	▲ 35.7	56,379	▲ 28.3

	着工床面積	前年比	着工予定額	前年比
平成21年(2009)	1,555,470	▲ 39.4	225,883	▲ 38.0
平成22年(2010)	1,666,690	7.2	254,602	12.7
平成23年(2011)	1,883,971	13.0	253,451	▲ 0.5





## 設備投資

### 4 全国の設備投資（工作機械受注額）（2012年8月）

#### （1）前年同月比

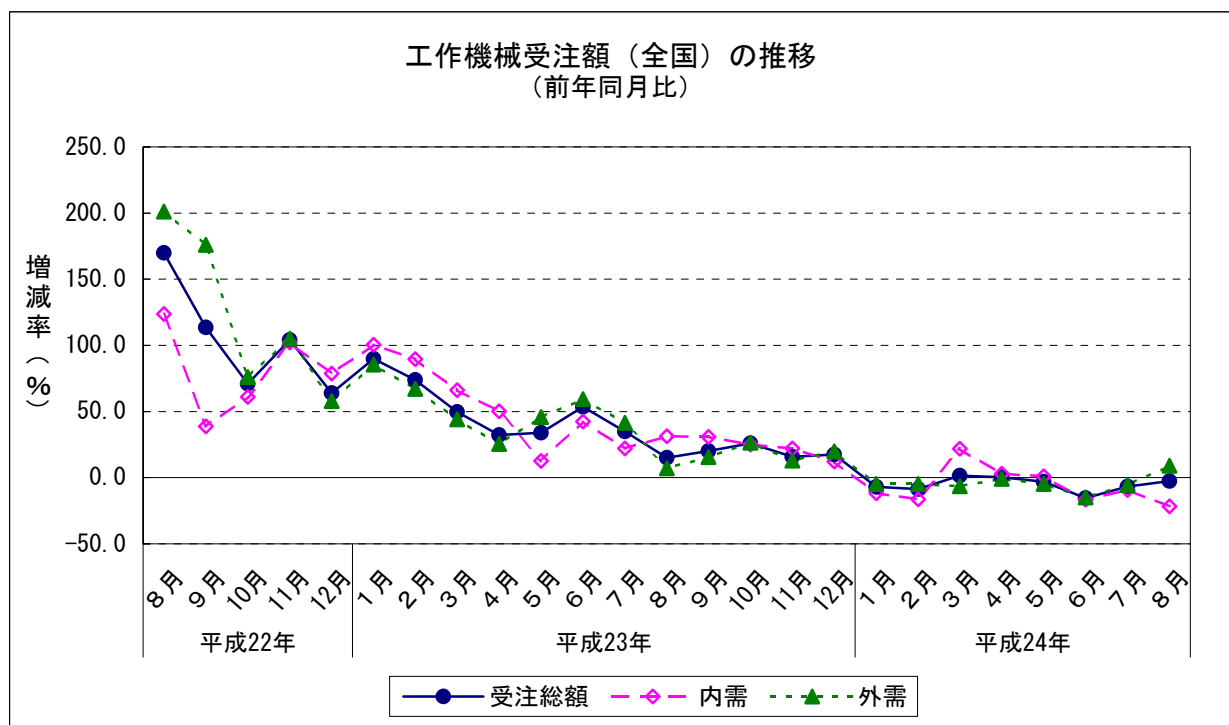
- ア 受注額（総額）：4か月連続のマイナス
- イ 内需：3か月連続のマイナス
- ウ 外需：8か月ぶりのプラス

		受注額（総額）		内 需		外 需	
		受注額計	前年同月比	受注額計	前年同月比	受注額計	前年同月比
平成23年 (2011)	8月	98,929	15.2	37,574	31.3	61,355	7.2
	9月	110,507	20.1	35,496	30.9	75,011	15.6
	10月	101,110	26.0	31,709	25.0	69,401	26.5
	11月	111,998	15.8	37,732	22.0	74,266	12.9
	12月	115,981	17.4	35,357	12.2	80,624	19.9
平成24年 (2012)	1月	97,404	▲ 6.9	27,896	▲ 11.8	69,508	▲ 4.7
	2月	102,969	▲ 8.6	30,950	▲ 16.3	72,019	▲ 4.8
	3月	115,254	1.6	39,059	21.9	76,195	▲ 6.5
	4月	107,318	0.4	34,324	3.0	72,994	▲ 0.8
	5月	104,841	▲ 3.0	32,607	1.0	72,234	▲ 4.7
	6月	108,654	▲ 15.5	34,815	▲ 16.5	73,839	▲ 15.0
	7月	105,732	▲ 6.7	32,437	▲ 9.3	73,295	▲ 5.5
	8月	p96,333	▲ 2.6	p29,456	▲ 21.6	p66,877	9.0

受注額単位：百万円

資料出所：日本工作機械工業会

※pは速報値



## 設備投資

### 5 九州・沖縄『企業短期経済観測調査』（日本銀行福岡支店調査結果）（平成24年6月）

(1) 九州・沖縄の平成24年度設備投資計画（九州）

製造業、非製造業ともに前年度を上回ることから、全産業では前年度を5.7%上回る計画となっている。

規模別にみると、大企業と中堅企業は前年度を上回るものの、中小企業は前年度を下回る計画となっている。

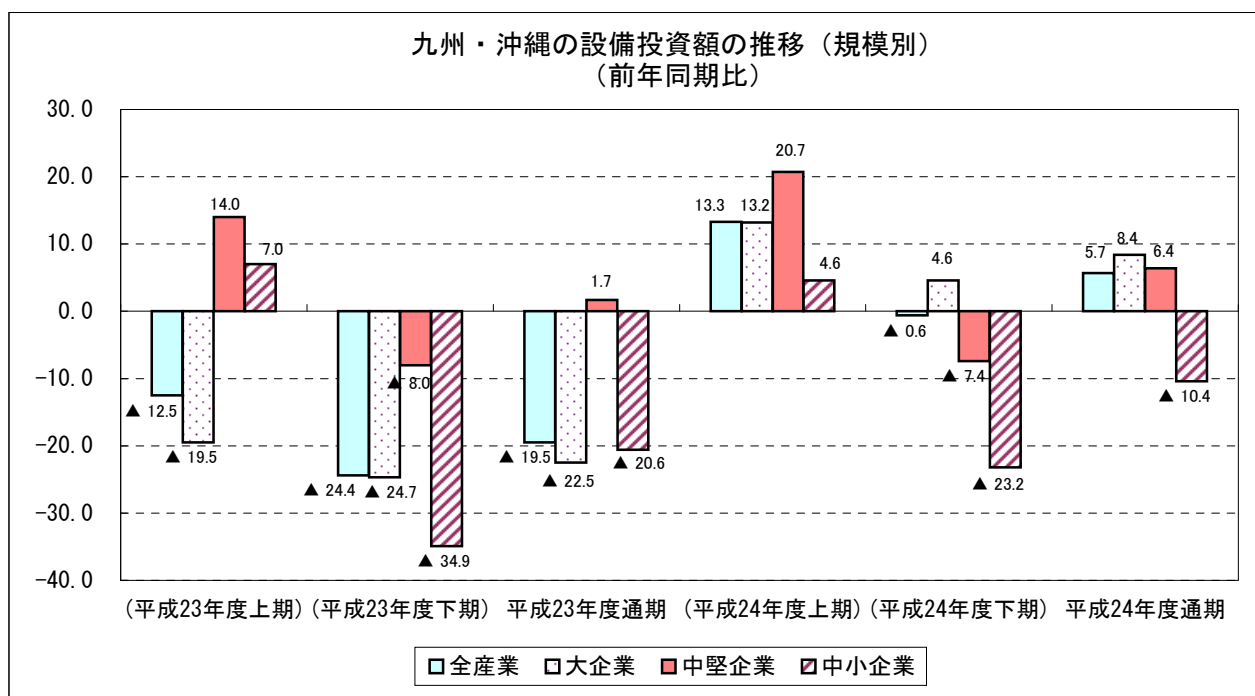
(対前年同期比、%：金額データ)

企業短期経済観測調査	全産業	業種別		規模別		
		製造業	非製造業	大企業	中堅企業	中小企業
(平成23年度上期)	▲ 12.5	▲ 24.4	▲ 4.7	▲ 19.5	14.0	7.0
(平成23年度下期)	▲ 24.4	▲ 10.1	▲ 29.5	▲ 24.7	▲ 8.0	▲ 34.9
平成23年度通期	▲ 19.5	▲ 17.5	▲ 20.4	▲ 22.5	1.7	▲ 20.6
(平成24年度上期)	13.3	20.9	9.3	13.2	20.7	4.6
(平成24年度下期)	▲ 0.6	▲ 2.9	0.4	4.6	▲ 7.4	▲ 23.2
平成24年度通期	5.7	8.4	4.3	8.4	6.4	▲ 10.4

注) 1) 回答期間：5月29日～6月29日

2) 対象企業：九州〈含む沖縄〉内の企業 1,129社

	対象	回答	回答率
製造業	378	377	99.7%
非製造業	751	744	99.1%
全産業	1129	1121	99.3%



## 設備投資

### 6 『九州地域設備投資動向』（日本政策投資銀行調査結果）

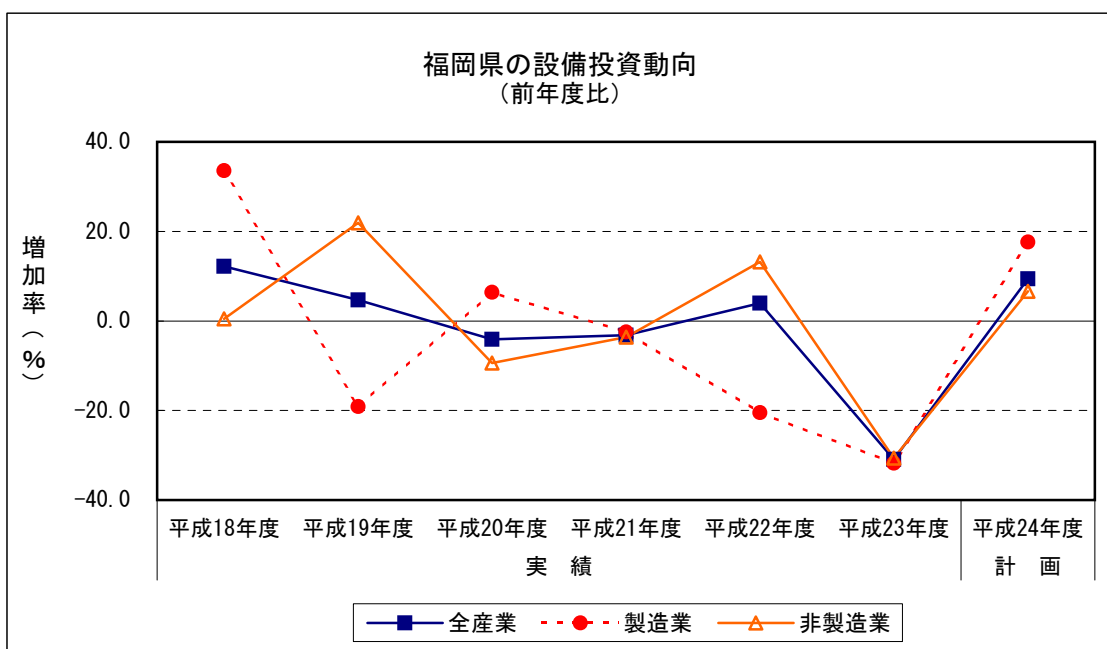
#### (1) 福岡県の平成24年度設備投資計画

前年度比 9.4%増（製造業17.6%増、非製造業6.6%増）  
 輸送用機械や運輸などが牽引し、製造業・非製造業ともに増加に転じ全体で増加する。

#### 福岡県の設備投資動向

(単位：%)

	平成18年度 実績	平成19年度 実績	平成20年度 実績	平成21年度 実績	平成22年度 実績	平成23年度 実績	平成24年度 計画
全産業	12.2	4.7	▲4.1	▲3.2	4.0	▲30.9	9.4
製造業	33.6	▲19.1	6.4	▲2.5	▲20.5	▲31.8	17.6
非製造業	0.5	21.9	▲9.4	▲3.6	13.2	▲30.6	6.6



#### (参考) 九州の設備投資動向

(単位：%)

	平成18年度 実績	平成19年度 実績	平成20年度 実績	平成21年度 実績	平成22年度 実績	平成23年度 実績	平成24年度 計画
全産業	5.8	26.5	▲11.4	▲24.7	4.8	▲20.0	▲1.5
製造業	19.3	37.1	▲10.3	▲42.6	▲9.8	▲20.5	▲8.5
非製造業	▲5.2	15.6	▲12.2	▲5.3	14.7	▲19.7	2.9

#### 注) 調査の概要

- 調査時点 平成24年6月20日現在
- 対象企業 全産業（但し、農業、金融保険業等を除く）に属する原則資本金1億円以上の企業  
回答会社数 464社（九州は941社）
- 調査方法 個別企業に対するアンケート方式
- 設備投資額 工事ベース

## 企業景況

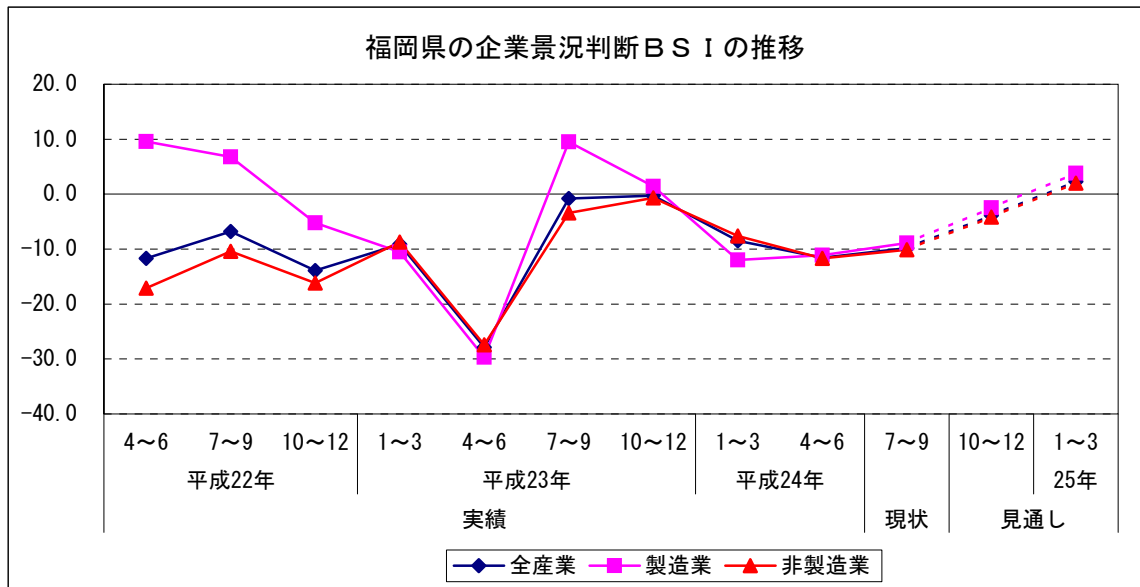
### 1 『法人企業景況予測調査』（財務省福岡財務支局調査結果） （1）福岡県の企業景況判断（平成24年7～9月期）

製造業：「下降」超幅が縮小  
 非製造業：「下降」超幅が縮小  
 全産業：「下降」超幅が縮小

（原数値）

法人企業景況予測調査			景況判断BSI（福岡県）			景況判断BSI（北部九州3県）				
			全産業	業種別		全産業	規模別			
				製造業	非製造業		大企業	中堅企業	中小企業	
平成22年 (2010)	4～6月期	実績	▲ 11.7	9.6	▲ 17.1	▲ 10.4	4.6	▲ 13.7	▲ 17.2	
	7～9月期		▲ 6.8	6.8	▲ 10.4	▲ 7.7	12.8	▲ 6.6	▲ 20.1	
	10～12月期		▲ 13.9	▲ 5.2	▲ 16.2	▲ 12.0	▲ 2.7	▲ 10.1	▲ 18.3	
平成23年 (2011)	1～3月期		▲ 9.1	▲ 10.5	▲ 8.7	▲ 11.1	0.7	▲ 8.3	▲ 19.0	
	4～6月期		▲ 27.9	▲ 29.7	▲ 27.4	▲ 27.6	▲ 9.8	▲ 33.3	▲ 33.6	
	7～9月期		▲ 0.8	9.5	▲ 3.4	▲ 8.0	13.5	▲ 8.5	▲ 19.1	
平成24年 (2012)	10～12月期		現状	▲ 0.3	1.4	▲ 0.7	▲ 4.7	0.0	▲ 3.0	▲ 8.3
	1～3月期			▲ 8.5	▲ 12.0	▲ 7.6	▲ 10.8	▲ 0.7	▲ 13.3	▲ 14.4
	4～6月期			▲ 11.6	▲ 11.1	▲ 11.7	▲ 12.7	▲ 0.7	▲ 8.2	▲ 20.6
	7～9月期	▲ 9.8		▲ 8.9	▲ 10.1	▲ 9.4	▲ 0.7	▲ 7.5	▲ 14.6	
平成25年	10～12月期	見通し	▲ 3.9	▲ 2.5	▲ 4.2	▲ 3.0	▲ 3.5	▲ 6.8	▲ 0.7	
	1～3月期		2.3	3.8	2.0	1.8	7.0	▲ 1.9	1.4	

※BSI = 「上昇」 - 「下降」社数の構成比



#### 注) 調査の概要

- 1) 調査の目的 我が国経済活動の主要部分を占める企業活動を把握することにより、経済の現状及び今後の見通しに関する基礎資料を得ることを目的として、統計法に基づく一般統計調査として実施。
- 2) 調査方法 対象企業に調査票を郵送、またはオンラインにより自計記入を求める方法による。
- 3) 調査時点 平成24年8月15日
- 4) 対象企業数 北部九州3県（福岡県、佐賀県、長崎県）に所在する資本金1千万円以上（ただし、電気・ガス・水道業及び金融業、保険業は資本金1億円以上）の企業。  
 対象企業：687社（うち、大企業（資本金10億円以上）が143社、中堅企業（1億円以上～10億円未満）が176社、中小企業（1千万円以上～1億円未満）が368社）。  
 製造業 151社 非製造業 536社
- 5) 回収企業数 大企業142社（回収率99.3%）、中堅企業161社（同91.5%）、中小企業294社（同79.9%）  
 回収企業 597社 《うち福岡県分 386社（製造業 79社 非製造業 307社）》

## 企業景況

### 2 『中小企業景況調査』（中小企業基盤整備機構調査結果）

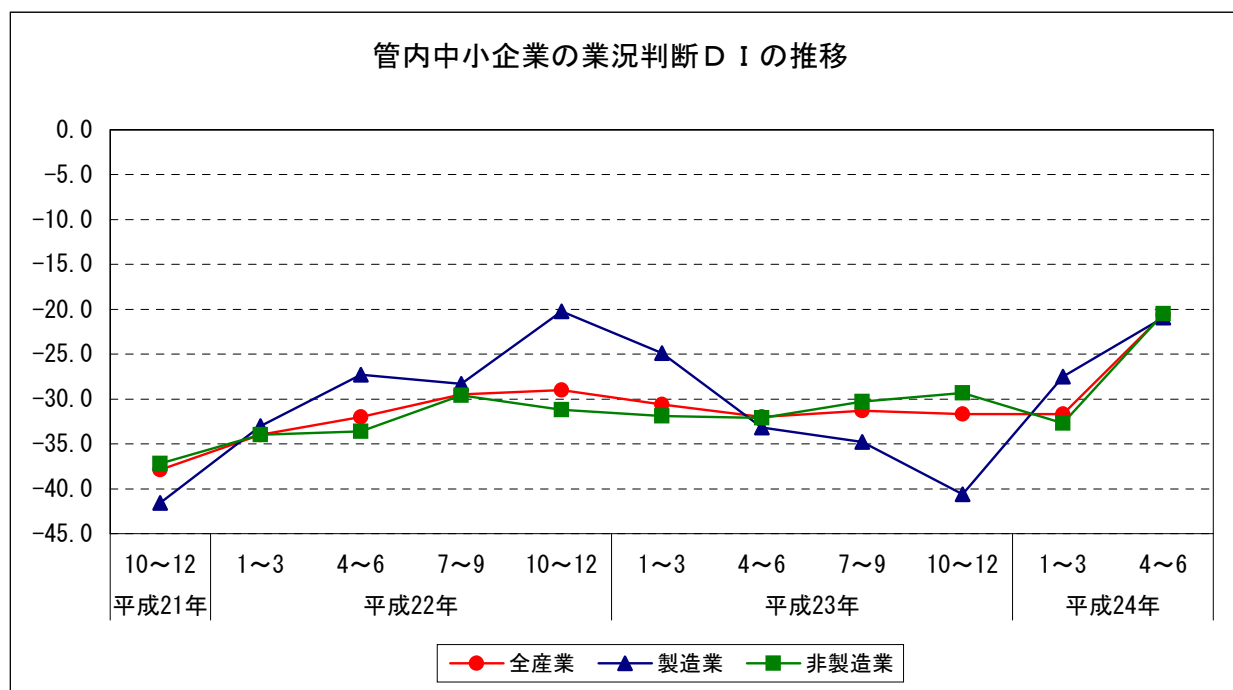
(1) 中小企業の業況判断D I（平成24年4～6月期）

- ア 全産業 ▲20.6、前期から11.1ポイント マイナス幅が縮小。
- イ 製造業 ▲20.9、前期から6.6ポイント マイナス幅が縮小。
- 非製造業 ▲32.7、同12.2ポイント マイナス幅が縮小。

前期比(季節調整値)

		全産業	製造業	非製造業
平成21年	10～12月期	▲ 37.9	▲ 41.6	▲ 37.2
	1～3月期	▲ 34.0	▲ 33.0	▲ 34.0
平成22年 (2010)	4～6月期	▲ 32.0	▲ 27.3	▲ 33.6
	7～9月期	▲ 29.5	▲ 28.3	▲ 29.6
	10～12月期	▲ 29.0	▲ 20.2	▲ 31.2
平成23年 (2011)	1～3月期	▲ 30.6	▲ 24.9	▲ 31.9
	4～6月期	▲ 32.0	▲ 33.2	▲ 32.1
	7～9月期	▲ 31.3	▲ 34.8	▲ 30.3
	10～12月期	▲ 31.7	▲ 40.6	▲ 29.3
平成24年 (2012)	1～3月期	▲ 31.7	▲ 27.5	▲ 32.7
	4～6月期	▲ 20.6	▲ 20.9	▲ 20.5

管内中小企業の業況判断D Iの推移



資料：第128回中小企業景況調査（2012年4-6月期）結果から、福岡県分を使用

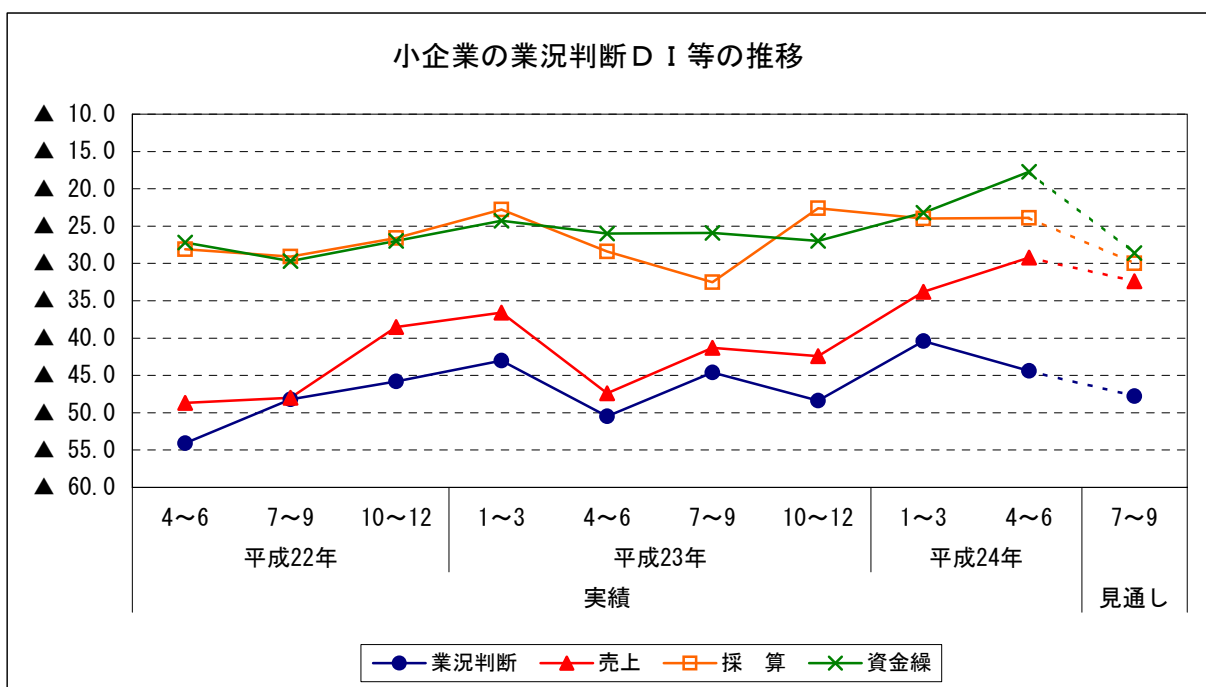
- 1) 調査時点 平成24年6月1日
- 2) 対象期間 平成24年4-6月期の業況判断
- 3) 調査対象 中小企業基本法に定義する、全国の中小企業

## 企業景況

### 3 『福岡県中小企業動向調査(小企業編)』 (日本政策金融公庫福岡支店調査結果)

- (1) 24年 4～6月期の概況  
前期に比べ、業況判断DIは4.0ポイント低下し、売上DIは4.6ポイント上昇した。
- (2) 24年 7～9月期の見通し  
今期に比べ、業況判断DIは3.4ポイント低下し、売上DIは3.2ポイント低下する見通しとなっている。

		業況判断	売上	採算	資金繰	
平成22年 (2010)	4～6月期	▲ 54.1	▲ 48.7	▲ 28.1	▲ 27.2	
	7～9月期	▲ 48.2	▲ 48.0	▲ 29.1	▲ 29.7	
	10～12月期	▲ 45.8	▲ 38.5	▲ 26.6	▲ 27.0	
平成23年 (2011)	1～3月期	▲ 43.0	▲ 36.6	▲ 22.8	▲ 24.3	
	4～6月期	▲ 50.5	▲ 47.4	▲ 28.4	▲ 26.0	
	7～9月期	▲ 44.6	▲ 41.3	▲ 32.5	▲ 25.9	
平成24年 (2012)	10～12月期	▲ 48.4	▲ 42.4	▲ 22.6	▲ 27.0	
	1～3月期	▲ 40.4	▲ 33.8	▲ 24.0	▲ 23.2	
	4～6月期	▲ 44.4	▲ 29.2	▲ 23.9	▲ 17.7	
	7～9月期	見通し	▲ 47.8	▲ 32.4	▲ 30.0	▲ 28.6



#### 注) 調査の概要

- 1) 調査時点 平成24年6月上旬
- 2) 調査方法 郵送によるアンケート
- 3) 調査対象 日本政策金融公庫福岡県内5支店取引先379企業
- 4) 有効回答数 228企業 (有効回答率60.1%)  
製造業 (従業員20人未満) 19企業、卸売業 (同10人未満) 18企業、小売業 (同10人未満) 67企業、飲食店・宿泊業 (同10人未満) 30企業、サービス業 (同20人未満) 55企業、建設業 (同20人未満) 33企業、その他 (同20人未満) 6企業

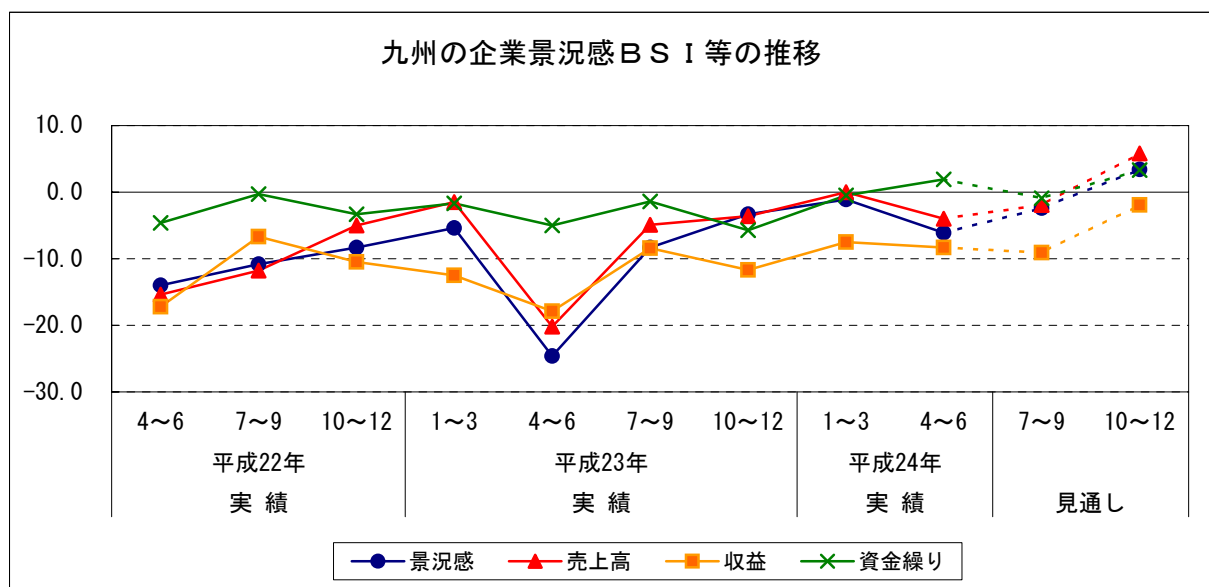
## 企業景況

### 4 『九州の経営動向調査』（西日本シティ銀行調査結果）

(1) 平成24年4～6月期の概況（前回調査比）

- ア 景況感： 5.0ポイント悪化、「悪化」超幅が拡大した。
- イ 売上高： 4.0ポイント悪化、「悪化」超幅が拡大した。
- ウ 収益： 0.8ポイント悪化、「悪化」超幅が拡大した。
- エ 資金繰り： 2.4ポイント改善、「好転」超に転じた。

			(単位：%)				
			景況感	売上高	収益	資金繰り	
平成22年 (2010)	4～6月期	実績	▲ 14.0	▲ 15.4	▲ 17.2	▲ 4.6	
	7～9月期		▲ 10.8	▲ 11.8	▲ 6.7	▲ 0.3	
	10～12月期		▲ 8.3	▲ 5.0	▲ 10.5	▲ 3.3	
平成23年 (2011)	1～3月期		▲ 5.4	▲ 1.5	▲ 12.5	▲ 1.7	
	4～6月期		▲ 24.6	▲ 20.2	▲ 17.9	▲ 5.0	
	7～9月期		▲ 8.3	▲ 4.9	▲ 8.4	▲ 1.4	
平成24年 (2012)	10～12月期		見通し	▲ 3.3	▲ 3.6	▲ 11.7	▲ 5.7
	1～3月期			▲ 1.1	0.0	▲ 7.5	▲ 0.5
	4～6月期			▲ 6.1	▲ 4.0	▲ 8.3	1.9
	7～9月期	▲ 2.4		▲ 1.9	▲ 9.1	▲ 0.9	
	10～12月期		3.4	5.8	▲ 1.9	3.3	



注) 調査の概要

1) 調査対象：株式会社西日本シティ銀行の主要取引先754社（今回の回答社数327社，回答率43.4%）  
地域別回答企業：福岡県269社（構成比82.3%）、福岡県外九州各県58社（同17.7%）

2) 調査方法：アンケート方式

3) 調査時期：平成24年6月1日

※景況動向は B S I 方式で表示：B S I とは、「好転・増加・上昇」（前年同期比）の企業割合から「悪化・減少・下落」の企業割合を差し引いた指標。

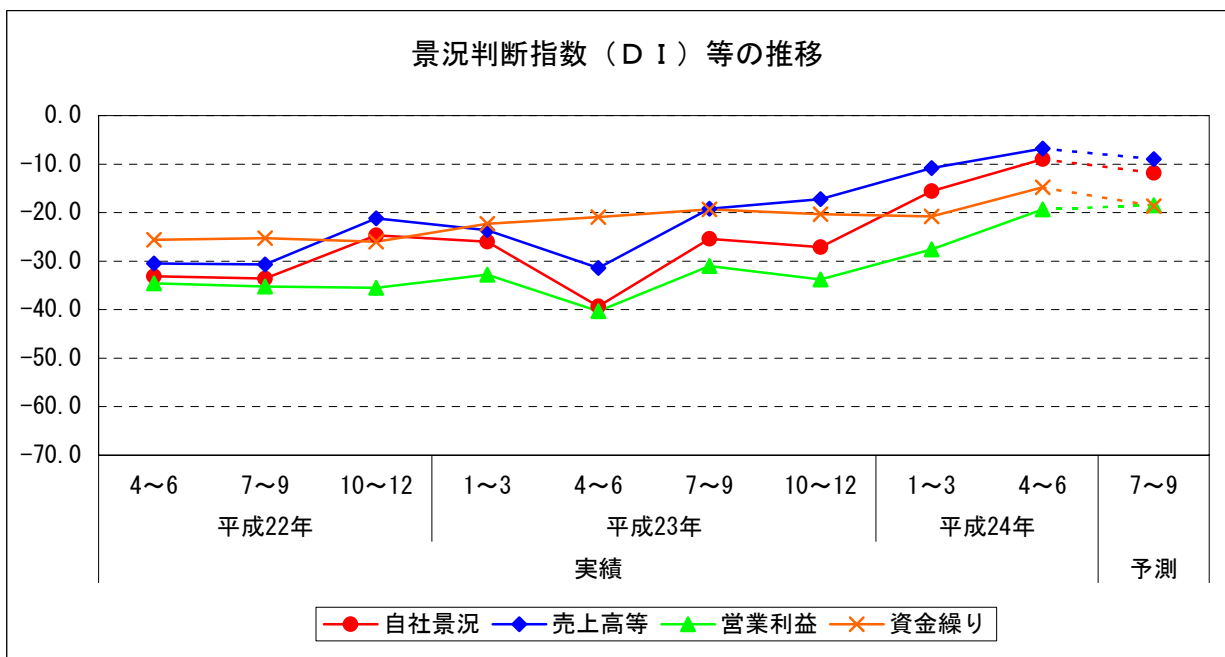
## 企業景況

### 5 『地場企業の経営動向調査』（福岡商工会議所調査結果）

(1) 平成24年4～6月期の概況

ア 自社景況：▲9.0となり、前期に比べ6.6ポイントの改善となった。

		自社景況	売上高等	営業利益	資金繰り
平成22年 (2010)	4～6月期	▲33.1	▲30.5	▲34.6	▲25.6
	7～9月期	▲33.6	▲30.7	▲35.2	▲25.3
	10～12月期	▲24.7	▲21.2	▲35.5	▲26.0
平成23年 (2011)	1～3月期	▲26.0	▲23.6	▲32.8	▲22.3
	4～6月期	▲39.3	▲31.4	▲40.3	▲20.9
	7～9月期	▲25.4	▲19.2	▲31.0	▲19.3
平成24年 (2012)	10～12月期	▲27.1	▲17.2	▲33.8	▲20.3
	1～3月期	▲15.6	▲10.8	▲27.6	▲20.8
	4～6月期	▲9.0	▲6.8	▲19.3	▲14.8
	7～9月期	▲11.8	▲9.0	▲18.5	▲18.7



注) 調査の概要

- 調査目的：福岡市内地場企業（一部福岡市近郊を含む）の景況及び経営動向を把握すると同時に、これらの情報を企業へ提供し、企業経営の参考に資するものである。
- 調査時期：平成24年6月末時点
- 調査対象：当所会員企業を対象とし1,500社を任意抽出。回答数：695社（回答率：46.3%）  
業種別回答企業数：建設業129社（構成比18.6%）、製造業92社（同13.2%）、卸売業106社（同15.3%）  
小売業80社（同11.5%）、運輸・倉庫業33社（同4.7%）  
サービス業255社（同36.7%）  
規模別回答企業数：中小企業650社（構成比93.5%）、大企業45社（同6.5%）
- 調査要領：四半期毎にアンケート用紙を郵送、前年同期比の回答を求めるもの



## 企業景況

### 6 九州・沖縄『企業短期経済観測調査』（日本銀行福岡支店調査結果）

(1) 九州・沖縄の業況判断（平成24年6月）

製造業は3四半期ぶりに改善し、非製造業は4四半期連続で改善したため  
全産業は4四半期連続で改善している。  
規模別にみると、大企業は改善、中堅企業は改善、中小企業は横ばいだった。

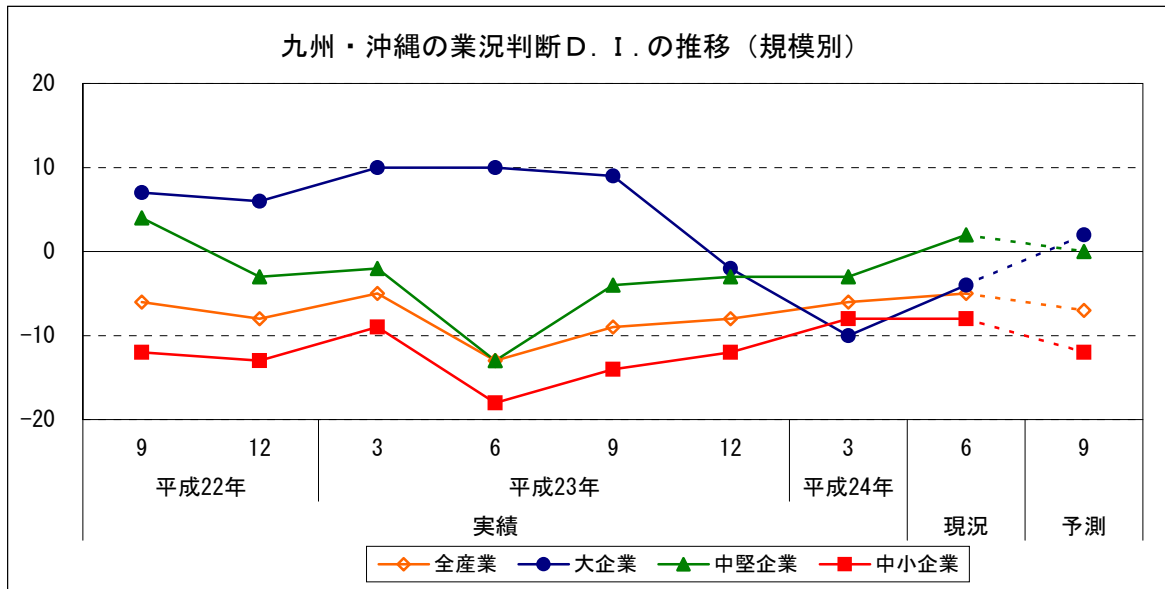
（「良い」-「悪い」、回答社数構成比%ポイント）

企業短期経済観測調査			業況判断D. I.						
			全産業	業種別		規模別			
				製造業	非製造業	大企業	中堅企業	中小企業	
平成22年 (2010)	9月	実績	▲ 6	▲ 2	▲ 8	7	4	▲ 12	
	12月		▲ 8	▲ 3	▲ 11	6	▲ 3	▲ 13	
平成23年 (2011)	3月		▲ 5	▲ 2	▲ 7	10	▲ 2	▲ 9	
	6月		▲ 13	▲ 8	▲ 17	10	▲ 13	▲ 18	
	9月		▲ 9	▲ 3	▲ 12	9	▲ 4	▲ 14	
平成24年 (2012)	12月		▲ 8	▲ 8	▲ 8	▲ 2	▲ 3	▲ 12	
	3月		▲ 6	▲ 10	▲ 5	▲ 10	▲ 3	▲ 8	
	6月		現況	▲ 5	▲ 8	▲ 3	▲ 4	2	▲ 8
	9月		予測	▲ 7	▲ 8	▲ 7	2	0	▲ 12

注) 1)回答期間：5月29日～6月29日

2)対象企業：九州・沖縄の企業 1,129社

	対象	回答	回答率
製造業	378	377	99.7%
非製造業	751	744	99.1%
全産業	1,129	1,121	99.3%



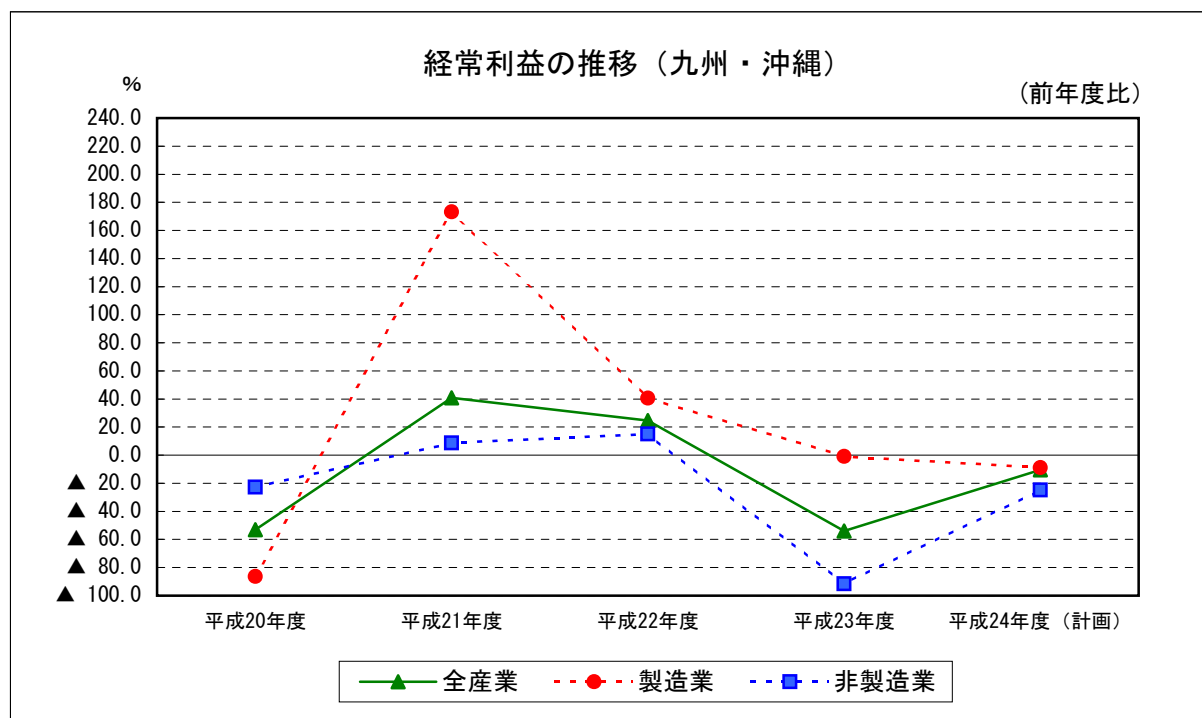
## 企業収益

- 1 九州・沖縄『企業短期経済観測調査』（日本銀行 福岡支店調査結果）（平成24年6月）  
 (1) 経常利益（九州・沖縄）  
 23年度経常利益は、前年度比53.9%減  
 24年度経常利益(計画)は、前年度比10.5%減

経常利益（九州・沖縄）	前年度比 %		
	全産業	製造業	非製造業
平成20年度(2008)	▲ 53.1	▲ 86.3	▲ 22.8
平成21年度(2009)	40.8	173.2	8.7
平成22年度(2010)	24.6	40.7	15.0
平成23年度(2011)	▲ 53.9	▲ 0.9	▲ 91.6
(除 電力・ガス)	0.0	-	0.9
平成24年度(2012)	▲ 10.5	▲ 8.8	▲ 24.9
(除 電力・ガス)	▲ 4.4	-	▲ 0.3

注) 1)回答期間：5月29日～6月29日  
 2)対象企業：九州・沖縄の企業 1,129社

	対象	回答	回答率
製造業	378	377	99.7%
非製造業	751	744	99.1%
全産業	1,129	1,121	99.3%



## 企業倒産

### 1 倒産件数（2012年8月）

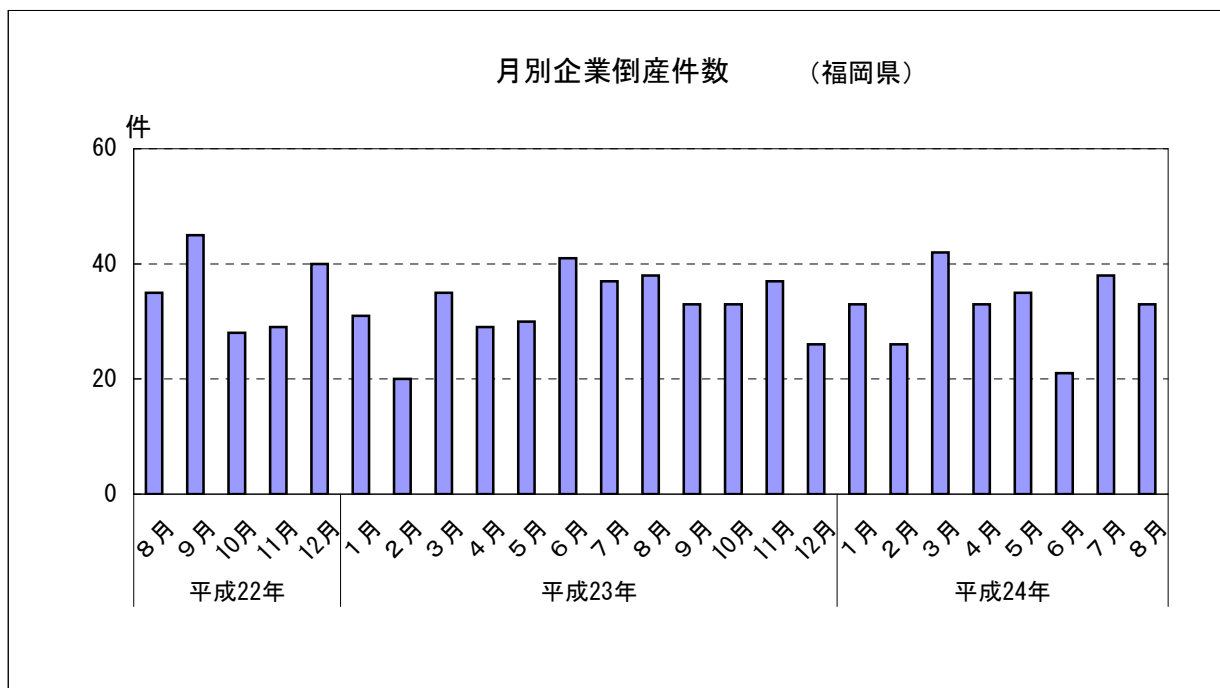
（1）前年同月比：2か月ぶりのマイナス

		倒産件数	前年同月比	前年同月差
平成23年 (2011)	8月	38	8.6	3
	9月	33	▲ 26.7	▲ 12
	10月	33	17.9	5
	11月	37	27.6	8
	12月	26	▲ 35.0	▲ 14
平成24年 (2012)	1月	33	6.5	2
	2月	26	30.0	6
	3月	42	20.0	7
	4月	33	13.8	4
	5月	35	16.7	5
	6月	21	▲ 48.8	▲ 20
	7月	38	2.7	1
	8月	33	▲ 13.2	▲ 5

		倒産件数	前年同期比	前年同期差
平成22年 (2010)	7～9月	105	▲ 13.9	▲ 17
	10～12月	97	▲ 11.8	▲ 13
平成23年 (2011)	1～3月	86	▲ 7.5	▲ 7
	4～6月	100	25.0	20
	7～9月	108	2.9	3
平成24年 (2012)	10～12月	96	▲ 1.0	▲ 1
	1～3月	101	17.4	15
	4～6月	89	▲ 11.0	▲ 11

	企業倒産	前年比	前年差
平成21年(2009)	480	▲ 11.9	▲ 65
平成22年(2010)	375	▲ 21.9	▲ 105
平成23年(2011)	390	4.0	15

資料出所：東京商工リサーチ「九州・沖縄地区企業整理倒産状況（負債1,000万円以上）」



## 企業倒産

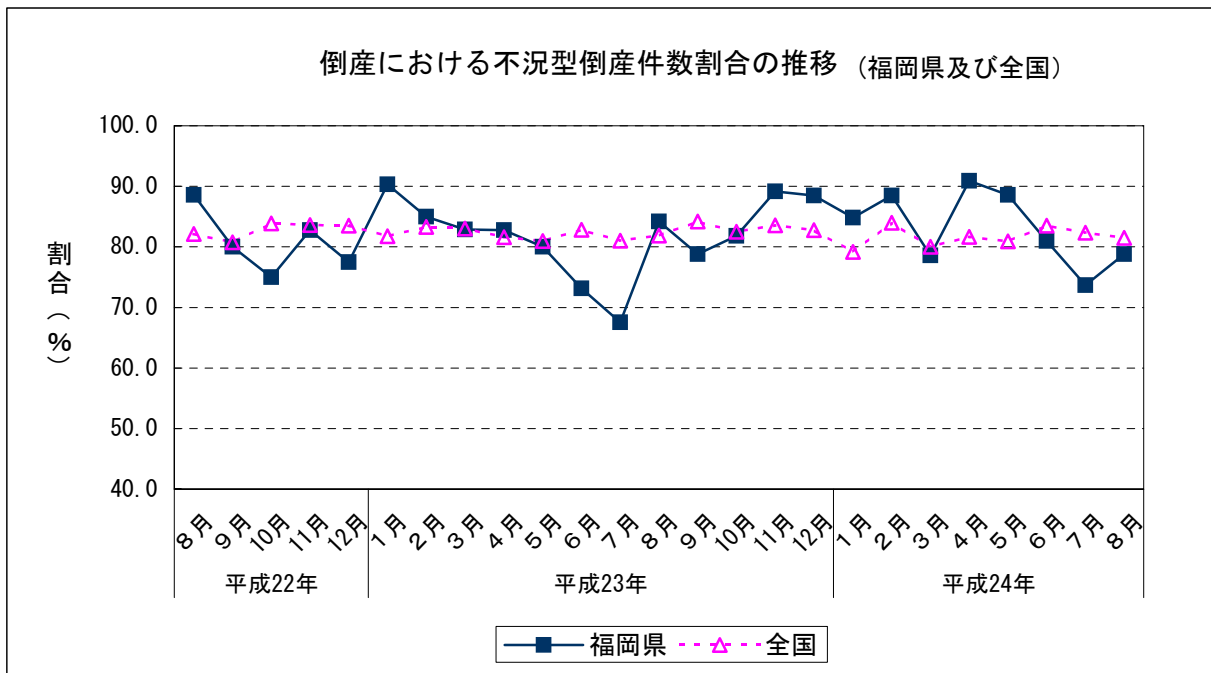
### 2 不況型倒産件数（2012年8月） （1）前年同月比：2か月ぶりのマイナス

		不況型 件数	前年 同月比	前年 同月差	占める 割合
平成23年 (2011)	8月	32	3.2	1	84.2
	9月	26	▲27.8	▲10	78.8
	10月	27	28.6	6	81.8
	11月	33	37.5	9	89.2
	12月	23	▲25.8	▲8	88.5
平成24年 (2012)	1月	28	0.0	0	84.8
	2月	23	35.3	6	88.5
	3月	33	13.8	4	78.6
	4月	30	25.0	6	90.9
	5月	31	29.2	7	88.6
	6月	17	▲43.3	▲13	81.0
	7月	28	12.0	3	73.7
	8月	26	▲18.8	▲6	78.8

		不況型 件数	前年 同期比	前年 同期差	占める 割合
平成22年 (2010)	7～9月	86	▲13.1	▲13	81.9
	10～12月	76	▲24.0	▲24	78.4
平成23年 (2011)	1～3月	74	2.8	2	86.0
	4～6月	78	11.4	8	78.0
	7～9月	83	▲3.5	▲3	76.9
平成24年 (2012)	10～12月	83	9.2	7	86.5
	1～3月	84	13.5	10	83.2
	4～6月	78	0.0	0	87.6

	不況型 件数	前年比	前年差	占める 割合
平成21年(2009)	385	▲3.8	▲15	80.2
平成22年(2010)	304	▲21.0	▲81	81.1
平成23年(2011)	318	4.6	14	81.5

資料出所：東京商工リサーチ「九州・沖縄地区企業整理倒産状況（負債1,000万円以上）」



## 企業倒産

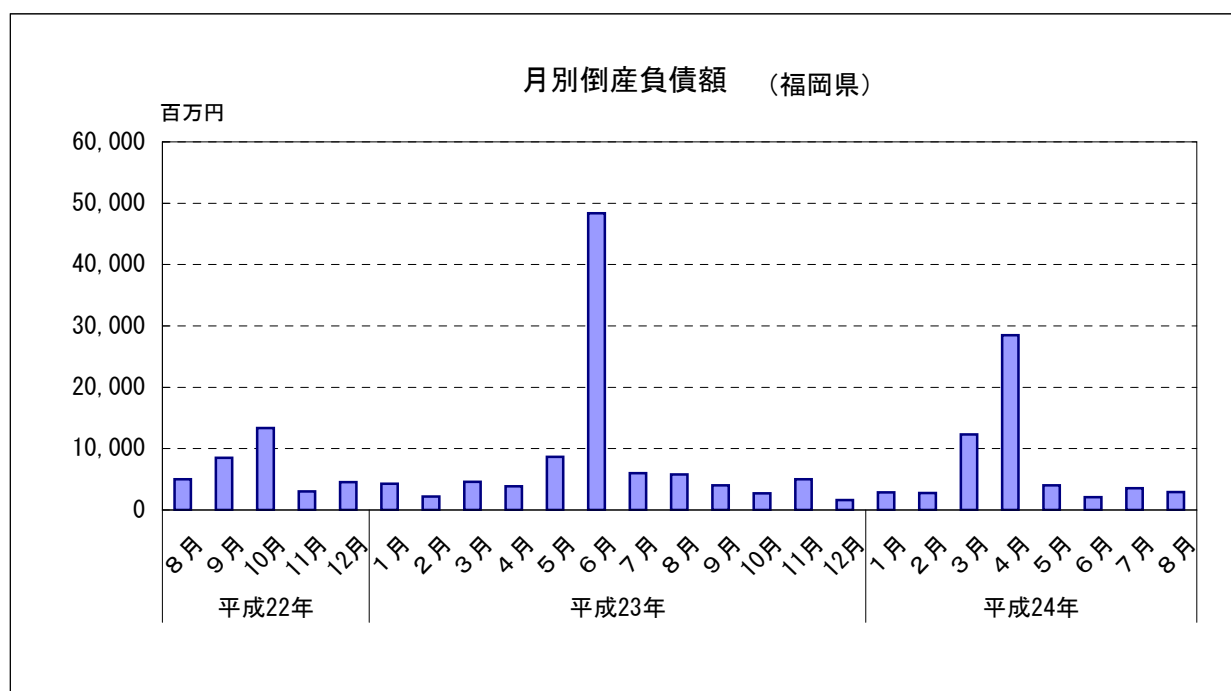
### 3 倒産負債額（2012年8月） （1）前年同月比：4か月連続のマイナス

		倒産負債額	前年同月比
平成23年 (2011)	8月	5,802	15.7
	9月	4,024	▲ 52.6
	10月	2,726	▲ 79.6
	11月	5,025	65.0
	12月	1,607	▲ 64.5
平成24年 (2012)	1月	2,864	▲ 33.4
	2月	2,784	26.8
	3月	12,303	166.9
	4月	28,502	640.1
	5月	3,997	▲ 53.8
	6月	2,100	▲ 95.7
	7月	3,530	▲ 41.1
	8月	2,903	▲ 50.0

		倒産負債額	前年同期比
平成22年 (2010)	7～9月	23,949	2.0
	10～12月	20,900	26.8
平成23年 (2011)	1～3月	11,104	▲ 47.1
	4～6月	60,857	517.2
	7～9月	15,823	▲ 33.9
	10～12月	9,358	▲ 55.2
平成24年 (2012)	1～3月	17,951	61.7
	4～6月	34,599	▲ 43.1

	倒産負債額	前年比
平成21年(2009)	157,565	▲ 15.4
平成22年(2010)	75,681	▲ 52.0
平成23年(2011)	97,142	28.4

資料出所：東京商工リサーチ「九州・沖縄地区企業整理倒産状況（負債1,000万円以上）」  
倒産負債額単位：百万円



## 企業倒産

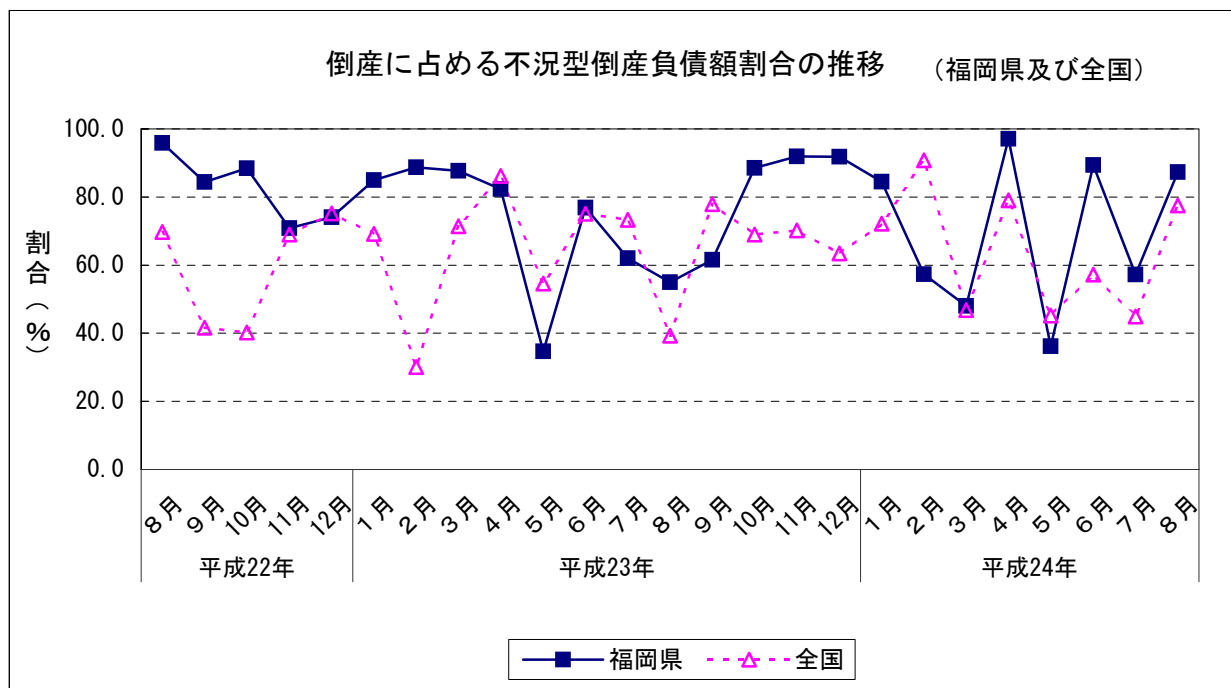
### 4 不況型倒産負債額（2012年8月） （1）前年同月比：4か月連続のマイナス

		不況型 負債額	前年 同月比	占める 割合
平成23年 (2011)	8月	3,193	▲ 33.6	55.0
	9月	2,480	▲ 65.4	61.6
	10月	2,413	▲ 79.5	88.5
	11月	4,618	113.9	91.9
	12月	1,475	▲ 56.0	91.8
平成24年 (2012)	1月	2,421	▲ 33.8	84.5
	2月	1,594	▲ 18.1	57.3
	3月	5,901	45.9	48.0
	4月	27,679	772.9	97.1
	5月	1,447	▲ 51.7	36.2
	6月	1,877	▲ 94.9	89.4
	7月	2,018	▲ 45.7	57.2
	8月	2,533	▲ 20.7	87.3

		不況型 負債額	前年 同期比	占める 割合
平成22年 (2010)	7～9月	16,562	▲ 2.1	69.2
	10～12月	17,296	33.1	82.8
平成23年 (2011)	1～3月	9,647	▲ 12.1	86.9
	4～6月	43,336	484.1	71.2
	7～9月	9,389	▲ 43.3	59.3
平成24年 (2012)	10～12月	8,506	▲ 50.8	90.9
	1～3月	9,916	2.8	55.2
	4～6月	31,003	▲ 28.5	89.6

	不況型 負債額	前年比	占める 割合
平成21年(2009)	87,333	38.4	55.4
平成22年(2010)	52,246	▲ 40.2	69.0
平成23年(2011)	70,878	35.7	73.0

資料出所：東京商工リサーチ「九州・沖縄地区企業整理倒産状況（負債1,000万円以上）」  
不況型負債額単位：百万円



# 消費

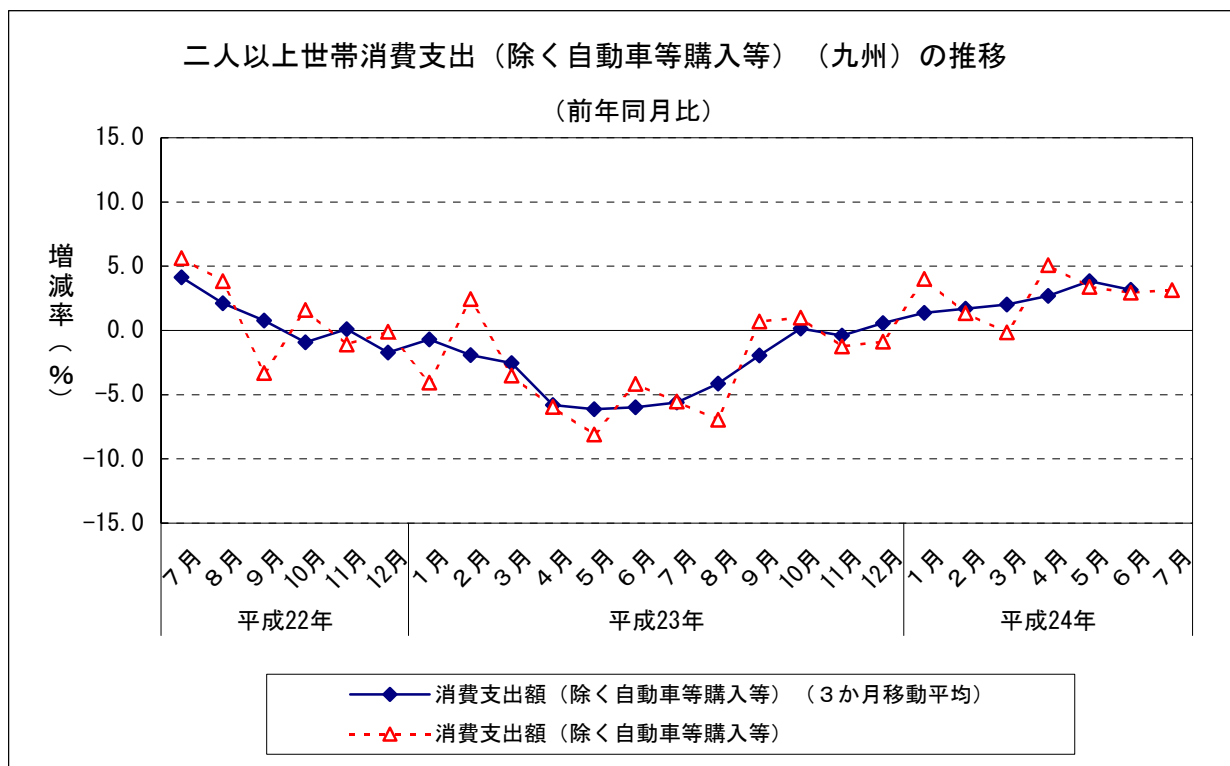
1 二人以上世帯消費支出（除く自動車等購入等）（九州）（2012年6月）  
 (1) 前年同月比：7か月連続のプラス（3か月移動平均）

		消費支出額 a	住居の設備修繕・維持 +自動車等購入費 +仕送り金 b	消費支出額 (除く自動車等購入等)		消費支出額 (除く自動車等購入等) (3か月移動平均)	
				a - b	前年同月比		前年同月比
平成23年 (2011)	7月	250,943	13,519	237,424	▲ 5.5	235,147	▲ 5.6
	8月	259,118	14,806	244,312	▲ 6.9	236,565	▲ 4.1
	9月	256,843	28,883	227,960	0.7	238,437	▲ 2.0
	10月	261,011	17,972	243,039	1.0	234,808	0.2
	11月	260,045	26,619	233,426	▲ 1.2	253,205	▲ 0.4
	12月	297,541	14,392	283,149	▲ 0.9	257,823	0.6
平成24年 (2012)	1月	270,815	13,920	256,895	4.0	257,729	1.4
	2月	252,079	18,937	233,142	1.3	250,502	1.7
	3月	284,393	22,923	261,470	▲ 0.1	248,254	2.0
	4月	277,342	27,191	250,151	5.1	251,516	2.7
	5月	261,622	18,696	242,926	3.4	241,124	3.8
	6月	259,202	28,907	230,295	2.9	239,358	3.2
	7月	264,985	20,133	244,852	3.1	...	...

資料出所：総務省「家計調査」

単位：円

※消費支出額（除く自動車等購入等）とは、消費支出総額から振れが大きい「自動車等購入」や「住居の設備修繕・維持」、「仕送り金」を除外した額である。



# 消費

## 2 二人以上世帯サービス支出額（九州）（2012年6月）

（1）前年同月比：9か月連続のプラス（3か月移動平均）

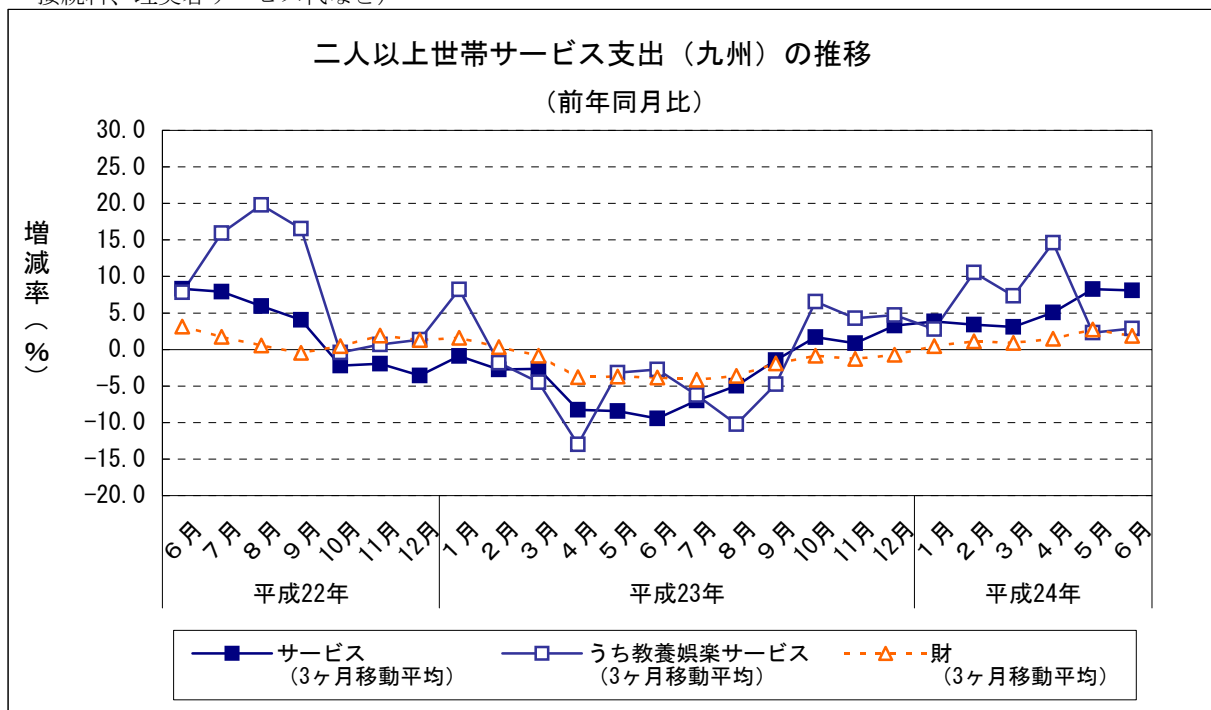
		サービス支出			財支出		
		3か月移動平均 前年同月比	うち教養娯楽 サービス支出	3か月移動平均 前年同月比	3か月移動平均 前年同月比		
平成23年 (2011)	7月	85,418	▲7.0	13,572	▲6.2	128,153	▲4.1
	8月	95,626	▲5.0	15,675	▲10.2	122,616	▲3.6
	9月	89,259	▲1.5	14,244	▲4.7	117,879	▲1.9
	10月	94,035	1.7	15,310	6.5	127,172	▲0.8
	11月	90,070	0.9	12,910	4.3	121,468	▲1.3
	12月	95,020	3.3	15,168	4.7	156,182	▲0.7
平成24年 (2012)	1月	95,642	3.8	14,447	2.8	129,275	0.4
	2月	90,782	3.4	14,828	10.5	119,550	1.1
	3月	96,367	3.1	13,539	7.3	130,865	0.9
	4月	101,126	5.1	15,096	14.6	122,963	1.5
	5月	95,715	8.3	17,070	2.3	123,460	2.7
	6月	86,254	8.1	11,558	2.9	122,877	1.8
	7月	93,428	...	14,872	...	128,203	...

資料出所：総務省「家計調査」

単位：円

※前表の消費支出額（除く自動車等購入等）（a-b）から「こづかい（使途不明）」と「交際費」を除いたものをサービス支出と財支出とに分類したものである。

※サービス支出……財（商品）の購入以外のサービスへの支出（例：外食、家賃、運賃、通信料、宿泊料、パック旅行費、月謝、放送受信料等、映画・演劇・スポーツ等入場料、スポーツクラブ会費、インターネット接続料、理美容サービス代など）





## 消費

### 3 小売業販売額（全国）（2012年7月）

(1) 前年同月比：8か月ぶりのマイナス

		小売業販売額	前年同月比
平成23年 (2011)	7月	11,794	0.6
	8月	10,946	▲ 2.6
	9月	10,574	▲ 1.1
	10月	11,007	1.9
	11月	10,946	▲ 2.2
	12月	13,049	2.5
平成24年 (2012)	1月	11,335	1.8
	2月	10,767	3.4
	3月	12,433	10.3
	4月	11,468	5.7
	5月	11,305	3.6
	6月	11,166	0.2
	7月	r 11,709	▲ 0.7

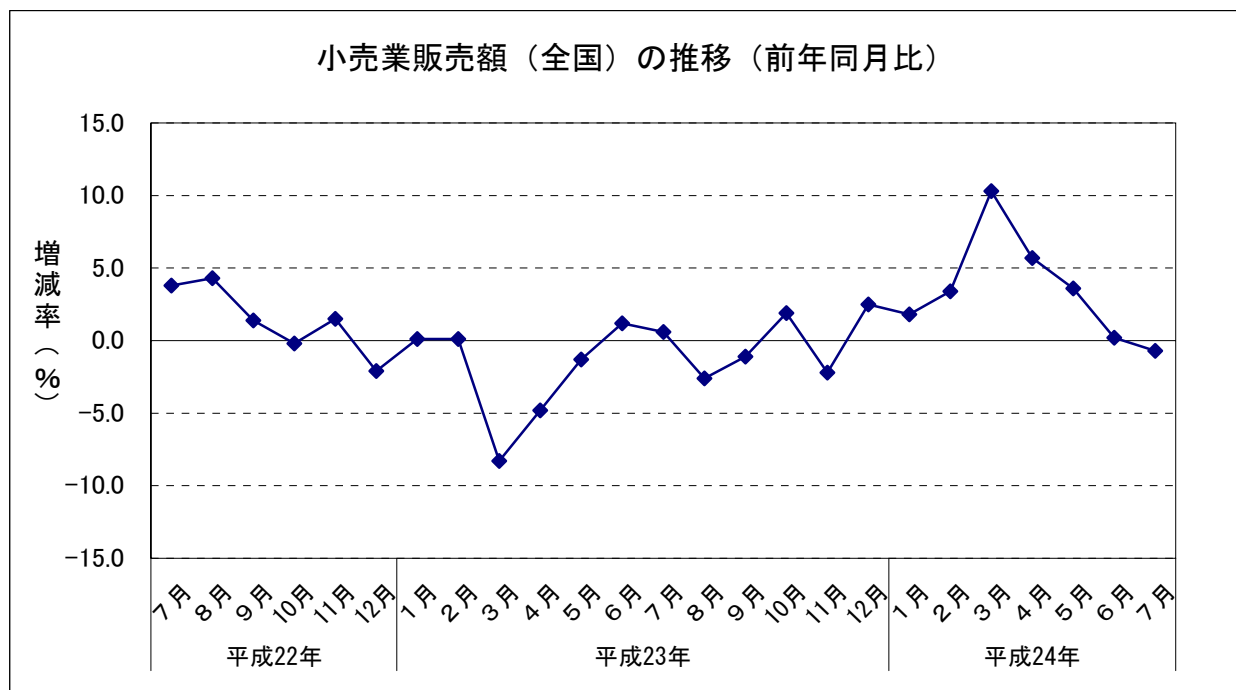
		小売業販売額	前年同期比
平成22年 (2010)	4～6月	33,471	3.7
	7～9月	33,652	3.2
	10～12月	34,728	▲ 0.4
平成23年 (2011)	1～3月	32,814	▲ 3.0
	4～6月	32,911	▲ 1.7
	7～9月	33,315	▲ 1.0
平成24年 (2012)	10～12月	35,002	0.8
	1～3月	34,535	5.2
	4～6月	33,939	3.1

	小売業販売額	前年同期比
平成21年(2009)	132,328	▲ 2.3
平成22年(2010)	135,666	2.5
平成23年(2011)	134,042	▲ 1.2

資料出所：経済産業省「商業販売統計」

販売額単位：10億円

※rは確報値。



## 消費

### 4 百貨店販売額（全店ベース）（2012年7月）

- (1) 前年同月比：4か月連続のマイナス
- (2) 四半期ごとの前年同期比（2012年4～6月）：6期ぶりのマイナス
- (3) 前年比（2011年）：9年ぶりのプラス

		百貨店販売額	前年同月比
平成23年 (2011)	7月	30,523	8.9
	8月	21,902	7.7
	9月	21,225	5.8
	10月	24,397	8.4
	11月	25,685	9.0
	12月	35,646	8.2
平成24年 (2012)	1月	27,288	10.8
	2月	20,825	6.8
	3月	25,351	0.2
	4月	22,798	▲ 1.6
	5月	23,084	▲ 1.5
	6月	22,026	▲ 0.1
	7月	r 28,971	▲ 5.1

		百貨店販売額	前年同期比
平成22年 (2010)	7～9月	68,444	▲ 4.2
	10～12月	79,014	▲ 2.5
平成23年 (2011)	1～3月	69,416	1.6
	4～6月	68,648	9.5
	7～9月	73,650	7.6
	10～12月	85,728	8.5
平成24年 (2012)	1～3月	73,464	5.8
	4～6月	67,908	▲ 1.1

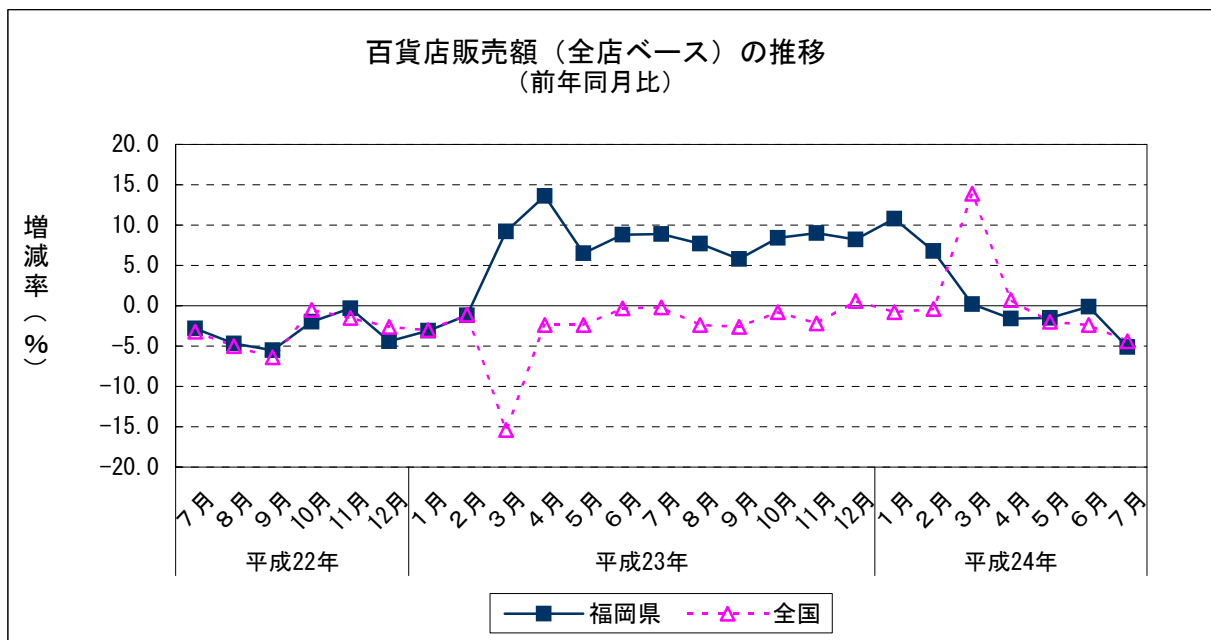
		百貨店販売額	前年比
平成21年(2009)		291,583	▲ 10.9
平成22年(2010)		278,448	▲ 4.5
平成23年(2011)		297,442	6.8

資料出所：経済産業省「商業販売統計」

販売額単位：百万円

※・平成23年以前の販売額は、年間補正後の額である。

・rは確報値。



# 消 費

## 5 百貨店販売額（既存店ベース）（2012年7月）

（1）前年同月比：4か月連続のマイナス

		前年同月比
平成23年 (2011)	7月	▲ 3.8
	8月	▲ 6.6
	9月	▲ 7.8
	10月	▲ 4.6
	11月	▲ 3.7
	12月	▲ 3.7
平成24年 (2012)	1月	▲ 4.3
	2月	▲ 7.5
	3月	0.2
	4月	▲ 1.6
	5月	▲ 1.5
	6月	▲ 0.1
	7月	▲ 5.1

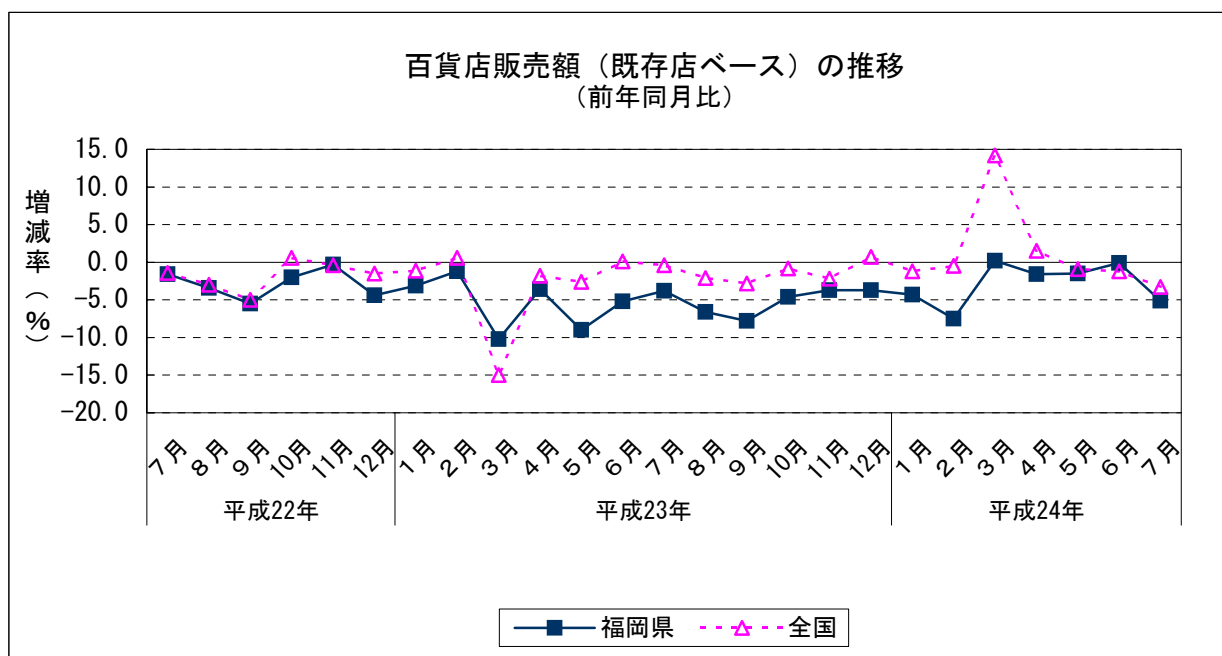
		前年同期比
平成22年 (2010)	7～9月	▲ 3.3
	10～12月	▲ 2.5
平成23年 (2011)	1～3月	▲ 5.0
	4～6月	▲ 6.0
	7～9月	▲ 5.8
平成24年 (2012)	1～3月	▲ 3.6
	4～6月	▲ 1.1

	前年比
平成21年(2009)	▲ 8.9
平成22年(2010)	▲ 3.4
平成23年(2011)	▲ 5.1

資料出所：経済産業省「商業販売統計」

※・既存店ベースの百貨店販売額の金額は公表されていない。

・最新月を確報値に修正。



# 消費

## 6 スーパー販売額（2012年7月）

(1) 前年同月比：全店ベースで2か月連続のマイナス

	スーパー販売額	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
平成23年 (2011)	7月	35,168	5.5 ▲ 1.6
	8月	33,038	0.9 ▲ 5.9
	9月	29,865	▲ 0.3 ▲ 5.8
	10月	31,821	0.9 ▲ 4.3
	11月	31,283	1.0 ▲ 2.7
	12月	41,138	1.7 ▲ 1.7
平成24年 (2012)	1月	34,091	▲ 0.7 ▲ 3.8
	2月	29,214	1.6 ▲ 2.8
	3月	30,620	▲ 1.0 ▲ 3.2
	4月	31,684	▲ 0.9 ▲ 3.7
	5月	31,952	1.4 ▲ 3.0
	6月	31,529	▲ 1.8 ▲ 4.9
	7月	r 34,087	▲ 3.1 ▲ 6.1

	スーパー販売額	前年同期比 (全店)
平成22年 (2010)	7～9月	96,034 ▲ 1.1
	10～12月	102,981 0.8
平成23年 (2011)	1～3月	93,988 3.0
	4～6月	95,588 3.6
	7～9月	98,071 2.1
平成24年 (2012)	10～12月	104,242 1.2
	1～3月	93,925 ▲ 0.1
	4～6月	95,165 ▲ 0.4

	スーパー販売額	前年比(全店)
平成21年(2009)	372,189	▲ 0.3
平成22年(2010)	374,474	▲ 1.7
平成23年(2011)	391,889	2.4

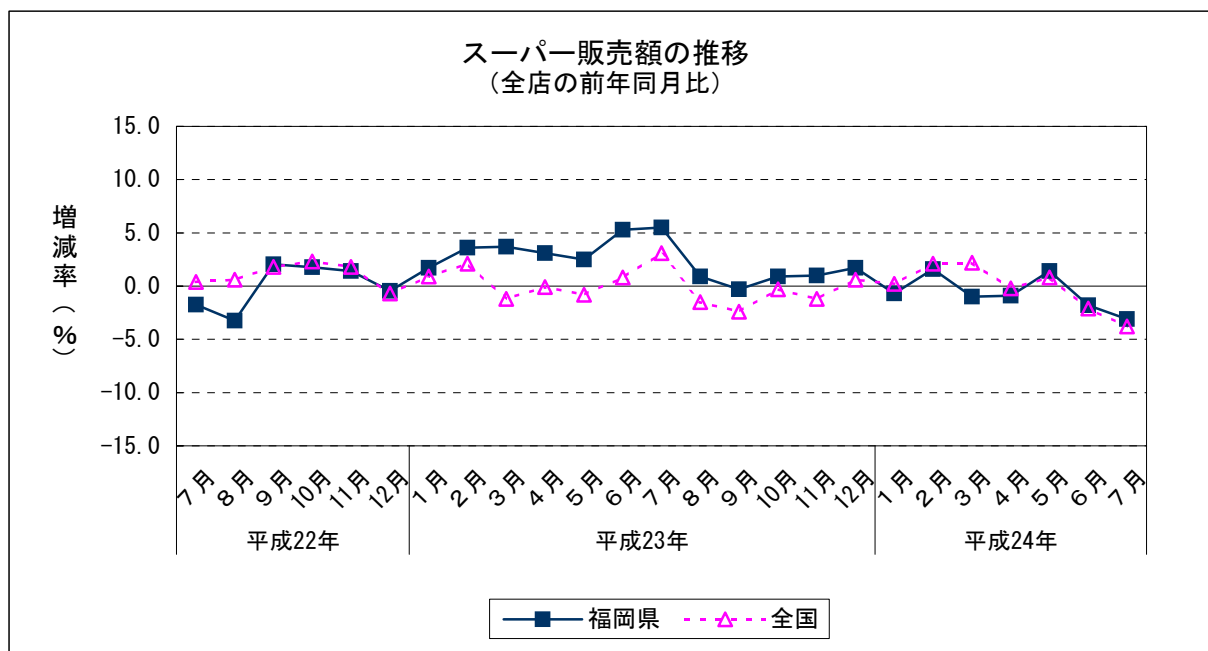
資料出所：経済産業省「商業販売統計」

販売額単位：百万円

※・平成23年以前の販売額は、年間補正後の額である。

- ・平成23年7月に調査対象事業所の見直しが行われたため、これに関する前年(同期)比増減率は、この見直しに伴うギャップを調整するリンク係数で処理された数値で計算されている。
- そのため、本表上のスーパー販売額を用いて算出した前年(同期)比増減率は、必ずしも本表における前年(同期)比増減率と一致しない。

・rは確報値。



# 消費

## 7 コンビニエンス・ストア販売額（九州・沖縄）（2012年7月）

（1）前年同月比：全店ベースで10か月連続のプラス

		販売額	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
平成23年 (2011)	7月	69,632	14.3	9.7
	8月	69,351	11.8	6.9
	9月	63,690	▲ 2.1	▲ 3.8
	10月	64,873	15.2	12.4
	11月	63,147	10.1	6.4
	12月	68,358	7.2	3.1
平成24年 (2012)	1月	72,692	5.6	1.7
	2月	70,267	9.4	2.9
	3月	76,216	5.0	0.6
	4月	74,453	10.3	5.4
	5月	77,602	6.8	1.5
	6月	75,293	3.1	▲ 2.1
	7月	r 84,001	2.4	▲ 3.2

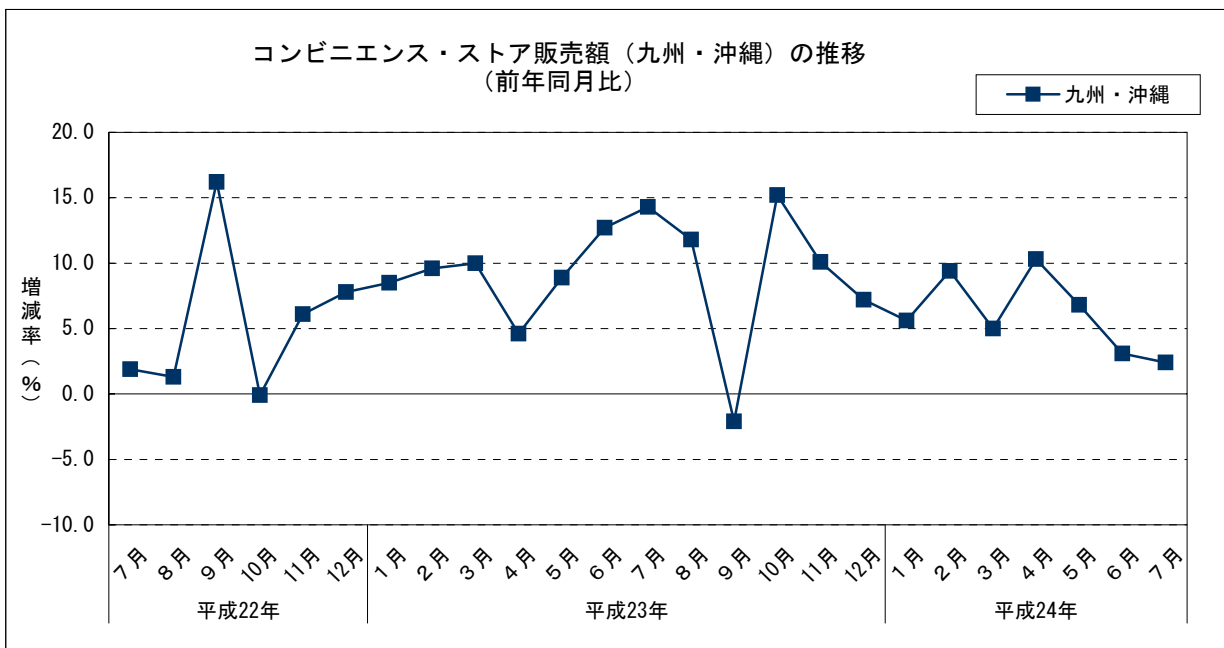
		販売額	前年同期比 (全店)
平成22年 (2010)	7～9月	188,009	6.2
	10～12月	177,418	4.6
平成23年 (2011)	1～3月	174,500	9.4
	4～6月	180,928	8.7
	7～9月	202,673	7.8
平成24年 (2012)	10～12月	196,378	10.7
	1～3月	219,175	6.6
	4～6月	227,348	6.6

	販売額	前年比(全店)
平成21年(2009)	675,814	1.4
平成22年(2010)	691,329	2.3
平成23年(2011)	754,443	9.1

資料出所：経済産業省「商業販売統計」

販売額単位：百万円

- ※・平成19年商業統計調査（経済産業省）によると、九州のコンビニエンス・ストア販売額に占める福岡県のシェアは39.1%
- ・平成23年以前の販売額は、年間補正後の額である。
- ・平成24年1月に調査対象事業所の見直しが行われたため、これに関する前年(同期、同月)比増減率は、この見直しに伴うギャップを調整するリンク係数で処理された数値で計算されている。そのため、本表上の販売額を用いて算出した前年(同期、同月)比増減率は、必ずしも本表における前年(同期、同月)比増減率と一致しない。
- ・rは確報値。



# 消費

## 8 新車登録台数（2012年8月）（普通車，小型車，軽自動車）

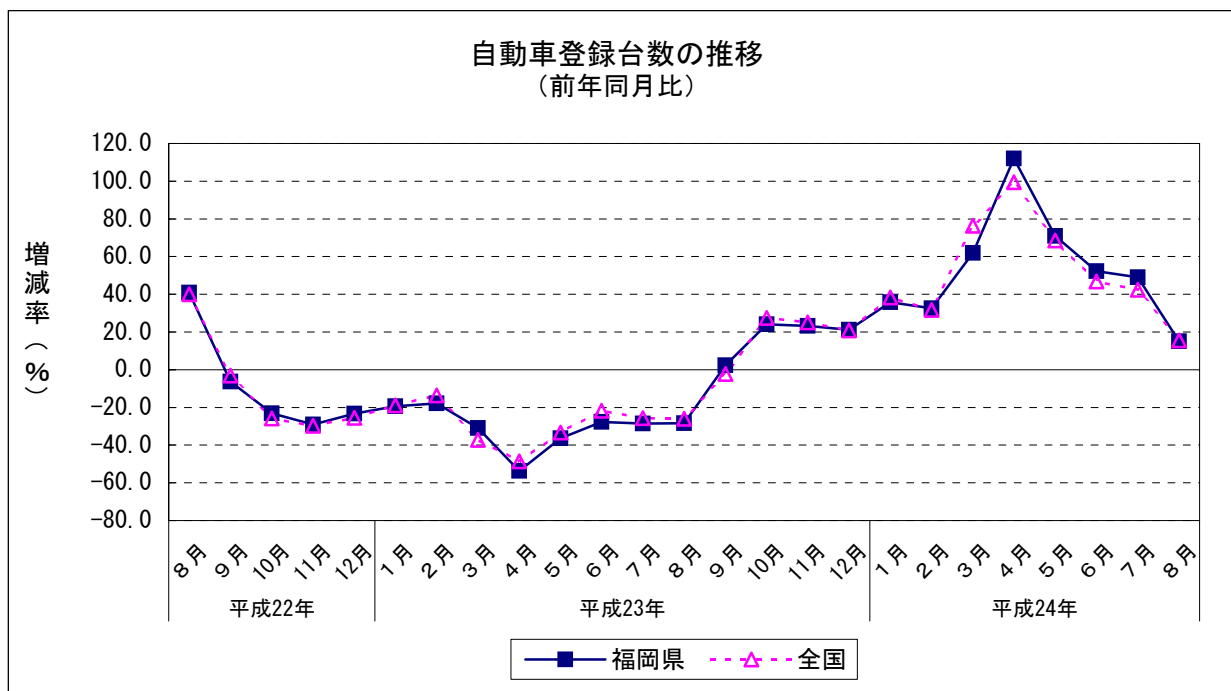
（1）前年同月比：12か月連続のプラス

		新車登録台数	前年同月比
平成23年 (2011)	8月	11,011	▲ 28.4
	9月	15,701	2.3
	10月	12,389	24.0
	11月	12,496	23.3
	12月	11,196	21.1
平成24年 (2012)	1月	14,426	35.7
	2月	18,835	32.5
	3月	24,333	62.0
	4月	11,691	111.9
	5月	13,227	71.0
	6月	16,655	52.3
	7月	17,914	49.1
	8月	12,669	15.1

		新車登録台数	前年同期比
平成22年 (2010)	4～6月	39,192	30.1
	7～9月	47,558	13.6
	10～12月	29,367	▲ 22.9
平成23年 (2011)	1～3月	39,863	▲ 23.7
	4～6月	24,187	▲ 38.3
	7～9月	38,729	▲ 18.6
平成24年 (2012)	10～12月	36,081	22.9
	1～3月	57,594	44.5
	4～6月	41,573	71.9

	新車登録台数	前年比
平成21年(2009)	151,425	▲ 6.7
平成22年(2010)	167,057	10.3
平成23年(2011)	138,860	▲ 16.9

資料出所：福岡県自動車販売店協会，福岡県軽自動車協会



## 消費

### 9 新車登録台数の内訳（2012年8月）

(1) 前年同月比

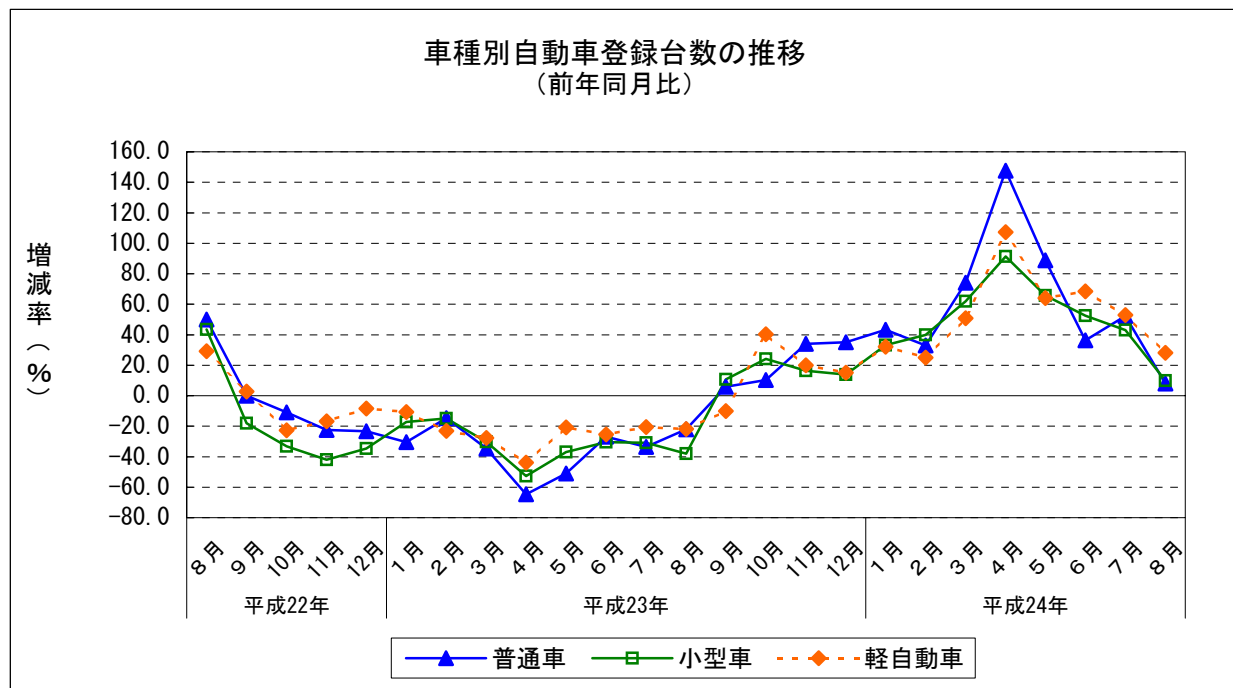
普通車：12か月連続のプラス

小型車：12か月連続のプラス

軽自動車：11か月連続のプラス

		普通車	前年同月比	小型車	前年同月比	軽自動車	前年同月比
平成23年 (2011)	8月	3,655	▲ 22.1	3,851	▲ 38.0	3,505	▲ 21.8
	9月	5,373	5.9	5,784	10.7	4,544	▲ 10.1
	10月	3,967	10.3	4,203	24.2	4,219	40.3
	11月	4,397	34.0	4,049	16.4	4,050	20.0
	12月	4,031	35.0	3,420	13.9	3,745	15.1
平成24年 (2012)	1月	4,342	43.3	4,886	33.2	5,198	32.2
	2月	5,888	32.9	6,725	39.8	6,222	25.1
	3月	7,997	74.2	8,844	62.0	7,492	50.7
	4月	3,425	147.7	3,621	91.4	4,645	107.3
	5月	3,761	88.8	4,331	65.7	5,135	64.1
	6月	4,988	36.3	5,698	52.6	5,969	68.5
	7月	5,398	52.3	6,328	43.0	6,188	52.9
	8月	3,944	7.9	4,233	9.9	4,492	28.2

資料出所：福岡県自動車販売店協会、福岡県軽自動車協会



# 消費

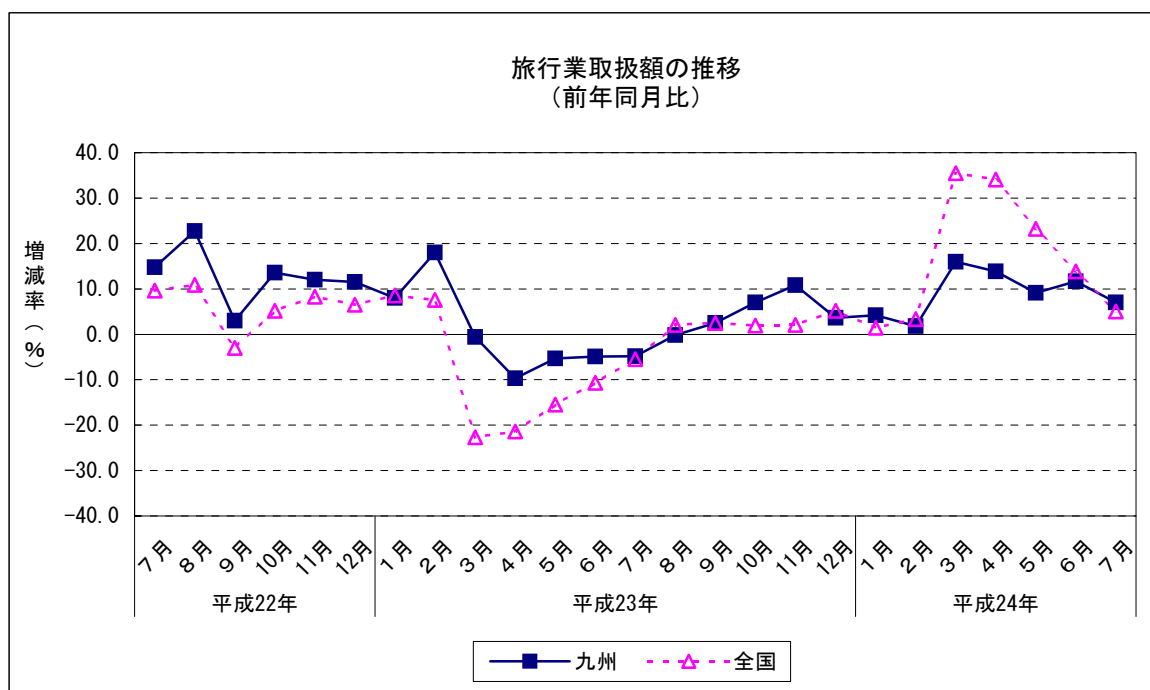
## 10 旅行業取扱額（2012年7月）（九州7県主要3社の合計）

（1）前年同月比：11か月連続のプラス

		旅行業取扱額	前年同月比	国内旅行	前年同月比	海外旅行	前年同月比
平成23年 (2011)	7月	10,641	▲ 4.8	7,528	▲ 2.6	3,113	▲ 9.8
	8月	12,639	▲ 0.2	8,853	▲ 0.7	3,786	1.3
	9月	12,092	2.5	8,119	▲ 0.8	3,973	10.2
	10月	14,713	7.0	10,452	6.5	4,260	8.4
	11月	13,885	10.8	9,783	6.7	4,102	22.1
	12月	12,271	3.6	8,609	▲ 1.8	3,662	19.0
平成24年 (2012)	1月	10,697	4.2	8,243	2.0	2,454	12.7
	2月	10,865	1.8	7,781	▲ 1.5	3,084	11.4
	3月	12,529	16.0	8,878	16.9	3,650	13.9
	4月	9,337	13.8	6,241	9.8	3,096	22.8
	5月	10,767	9.1	7,619	3.8	3,147	24.6
	6月	10,037	11.7	6,429	1.9	3,608	34.6
	7月	11,384	7.0	7,643	1.5	3,741	20.2

資料出所：九州運輸局、観光庁「主要旅行業者の旅行取扱状況速報」

取扱額単位：百万円



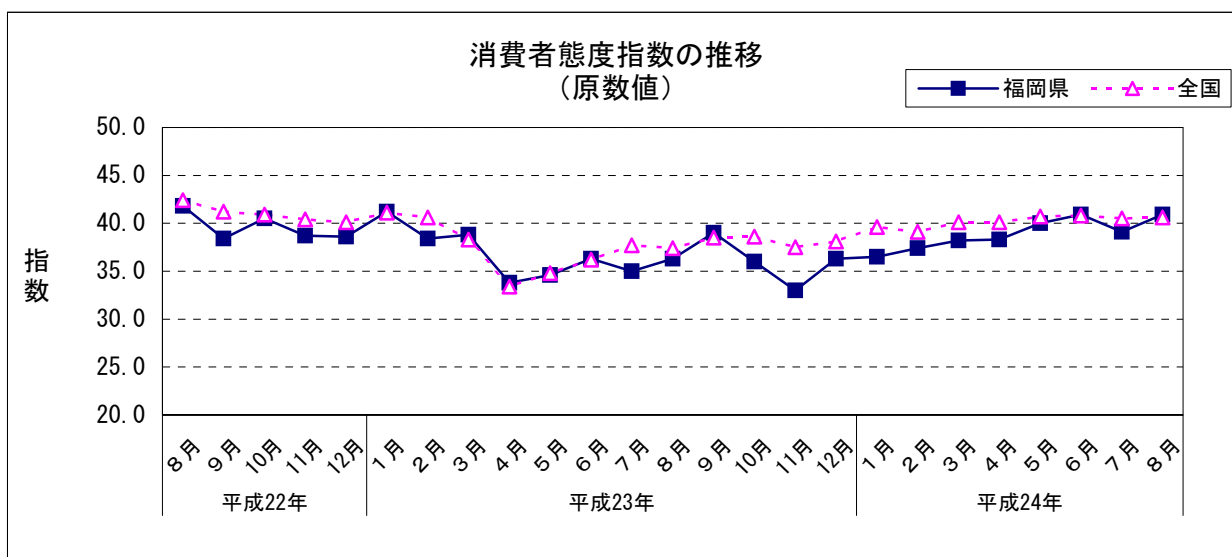


# 消費

## 1.1 消費者態度指数（2012年8月）

(1) 前月差：2か月ぶりのプラス

		消費者態度指数	前月差
平成23年 (2011)	8月	36.3	1.3
	9月	39.0	2.7
	10月	36.0	▲ 3.0
	11月	33.0	▲ 3.0
	12月	36.3	3.3
平成24年 (2012)	1月	36.5	0.2
	2月	37.4	0.9
	3月	38.2	0.8
	4月	38.3	0.1
	5月	40.0	1.7
	6月	40.9	0.9
	7月	39.1	▲ 1.8
	8月	40.9	1.8



資料出所：内閣府経済社会総合研究所「消費動向調査」

注1) 調査の概要

(1) 調査時期

毎月15日に実施

(2) 調査対象

全国の一般世帯のうち、外国人・学生・施設入居者世帯を除く約3,481万世帯から選定した4,704世帯調査客体4,704世帯のうち、有効回答客体3,360世帯、有効回答率71.4%

(3) 消費者態度指数の作成方法

①「暮らし向き」、「収入の増え方」、「雇用環境」、「耐久消費財の買い時判断」の

4項目に関し、今後半年間の見通しについて5段階評価で回答してもらう。

②各調査項目ごとに消費に及ぼす効果に応じて、5段階評価にそれぞれ点数を与え、次のようにして各調査項目ごとの消費者意識指標を算出する。

消費者意識指標・消費にプラスな回答区分「良くなる」に(+1)、「やや良くなる」に(+0.75)、中立な回答区分「変わらない」に(+0.5)、マイナスになる回答区分「やや悪くなる」に(+0.25)、「悪くなる」に(0)の評価を与え、これを各回答区分の構成比(%)に乘じ、合計したもの。

③これら4項目の消費者意識指標(原数値)を単純平均して消費者態度指数(原数値)を算出する。

注2) 福岡県の数値は、消費動向調査の結果を都道府県別に集計した値である。

当県の値は標本規模も小さい(180)ことなどから、全国に比べ誤差が大きい。

# 消費

## 12 インターネットを利用した支出状況（九州・沖縄）（2012年7月）

（1）前年同月比：9か月連続のプラス

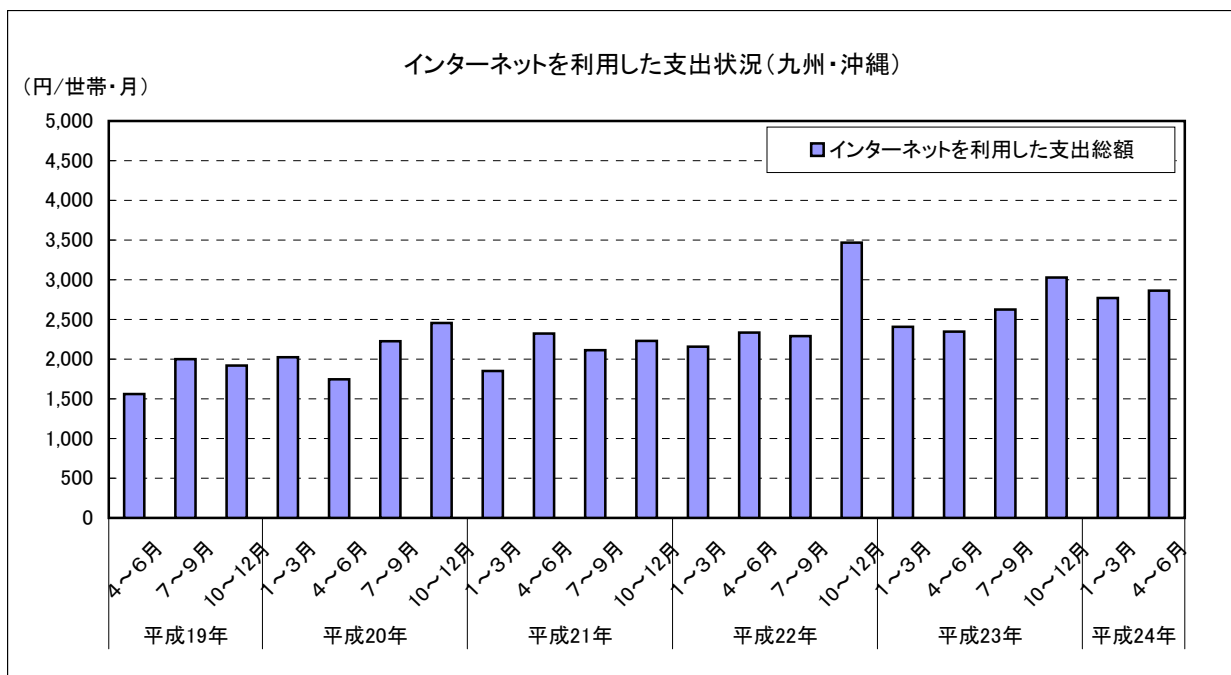
		支出額	前年同月比
平成23年 (2011)	7月	2,823	12.0
	8月	2,193	3.5
	9月	2,863	28.3
	10月	2,539	▲ 37.8
	11月	3,200	2.1
	12月	3,347	5.1
平成24年 (2012)	1月	3,035	20.0
	2月	2,272	6.9
	3月	3,008	17.0
	4月	2,712	19.4
	5月	3,158	35.4
	6月	2,719	11.4
	7月	2,852	1.0

		平均支出額	前年同期比
平成22年 (2010)	4～6月	2,334	0.5
	7～9月	2,290	8.3
	10～12月	3,466	55.4
平成23年 (2011)	1～3月	2,409	11.7
	4～6月	2,348	0.6
	7～9月	2,626	14.7
平成24年 (2012)	10～12月	3,029	▲ 12.6
	1～3月	2,772	15.1
	4～6月	2,863	21.9

	平均支出額	前年比
平成21年(2009)	2,130	0.9
平成22年(2010)	2,562	20.3
平成23年(2011)	2,603	1.6

資料出所：総務省「家計消費状況調査」

支出額：1ヶ月・1世帯あたり支出額(二人以上世帯)



# 雇 用

## 1 求人・求職状況（2012年7月）

### (1) 有効求人倍率

ア 0.74倍 前月より0.01ポイント減 15か月ぶりの減少

イ 有効求人数：前月比2.0%減、有効求職者数：前月比1.0%減

※有効求人数、有効求職者数及び有効求人倍率はいずれも季節調整値

ウ 地域別

福岡…0.71、北九州…0.78、筑豊…0.55、筑後…0.59

### (2) 新規求人数（原数値）

28,781人 前年同月比：11.6%増 30か月連続の増加

産業別の前年同月比較

増加産業：卸売・小売業、不動産業・物品賃貸業、金融業・保険業、  
医療・福祉、宿泊業・飲食業、建設業、サービス業、  
運輸業・郵便業、情報通信業

減少産業：製造業

### (3) 新規求職者数（原数値）

24,047人 前年同月比：4.1%減 11か月連続の減少

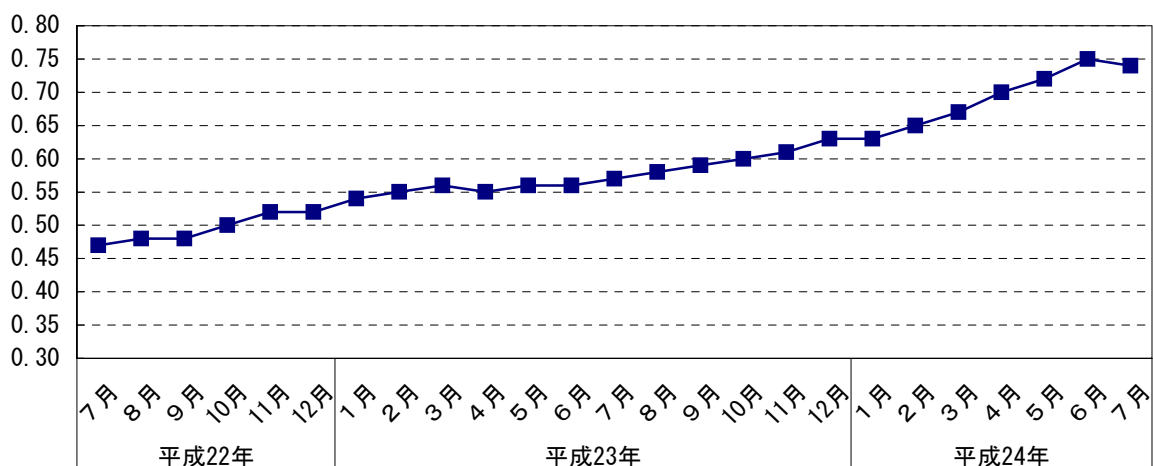
		有効求人倍率	前月差	前年同月差
平成23年 (2011)	7月	0.57	0.01	0.10
	8月	0.58	0.01	0.10
	9月	0.59	0.01	0.11
	10月	0.60	0.01	0.10
	11月	0.61	0.01	0.09
	12月	0.63	0.02	0.11
平成24年 (2012)	1月	0.63	0.00	0.09
	2月	0.65	0.02	0.10
	3月	0.67	0.02	0.11
	4月	0.70	0.03	0.15
	5月	0.72	0.02	0.16
	6月	0.75	0.03	0.19
	7月	0.74	▲0.01	0.17

		有効求人倍率	前期差	前年同期差
平成22年 (2010)	7～9月	0.48	0.03	0.09
	10～12月	0.51	0.03	0.11
平成23年 (2011)	1～3月	0.55	0.04	0.14
	4～6月	0.56	0.01	0.11
	7～9月	0.58	0.02	0.10
平成24年 (2012)	10～12月	0.61	0.03	0.10
	1～3月	0.65	0.04	0.10
	4～6月	0.72	0.07	0.16

	有効求人倍率	前年差
平成21年度	0.41	▲0.17
平成22年度	0.50	0.09
平成23年度	0.60	0.10

資料出所：厚生労働省福岡労働局「雇用失業情勢について」

有効求人倍率の推移



# 雇 用

## 2 きまって支給する給与(2012年7月) (1) 前年同月比：19か月連続のマイナス

(平成22年=100)

		きまって支給する給与			現金給与総額		
		金額	指数	前年同月比	金額	指数	前年同月比
平成23年 (2011)	7月	251,570	98.4	▲1.9	351,455	114.3	▲6.6
	8月	250,659	98.0	▲2.2	278,489	90.5	▲1.2
	9月	250,074	97.7	▲2.4	254,955	82.9	▲2.0
	10月	250,032	97.6	▲2.5	252,196	81.9	▲2.6
	11月	251,242	98.1	▲2.0	267,559	87.0	0.2
	12月	251,565	98.1	▲2.2	520,690	169.1	▲1.5
平成24年 (2012)	1月	241,525	95.5	▲2.4	255,725	84.1	▲2.8
	2月	243,855	96.4	▲1.6	246,314	80.7	▲1.5
	3月	245,868	97.2	▲1.9	259,989	85.5	1.3
	4月	246,170	97.3	▲1.6	252,414	83.0	▲1.8
	5月	243,051	96.1	▲0.9	249,059	81.9	0.1
	6月	244,298	96.6	▲1.7	383,408	126.0	▲5.9
	7月	243,222	96.2	▲2.2	350,931	115.4	1.0

年平均	現金給与総額		
	金額	指数	前年比
平成21年(2009)	297,643	97.7	▲2.8
平成22年(2010)	305,971	100.0	2.4
平成23年(2011)	302,061	98.3	▲1.7

資料：福岡県調査統計課

「毎月勤労統計調査地方調査」

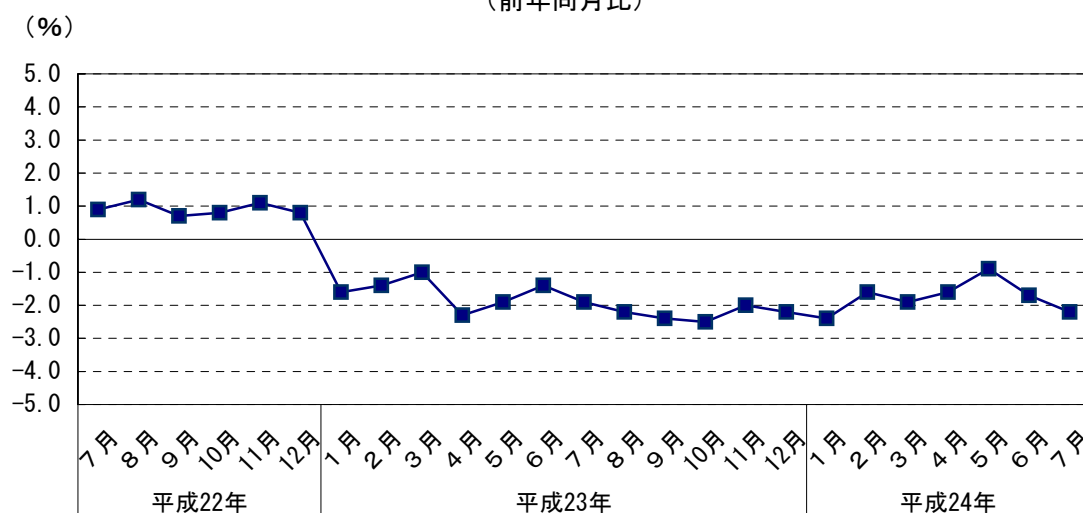
対象：調査産業計、全規模（5人以上）の事業所  
単位：円、%

「きまって支給する給与」は、所定内給与と超過労働給与を合わせたもの。

「現金給与総額」は、きまって支給する給与に特別に支払われた給与（ボーナスなど）を合わせたもの。

前年同月比及び前年比は、指数により算出。

きまって支給する給与の推移  
(前年同月比)



## 雇 用

### 3 就業状態（2012年4－6月期）

- (1) 就業者：2,414千人。前年同期と比べ5期連続の増加。  
 (2) 完全失業者：137千人。前年同期と比べ7期連続の減少。  
 (3) 完全失業率：5.4%。前年同期と比べ0.2ポイント減少。

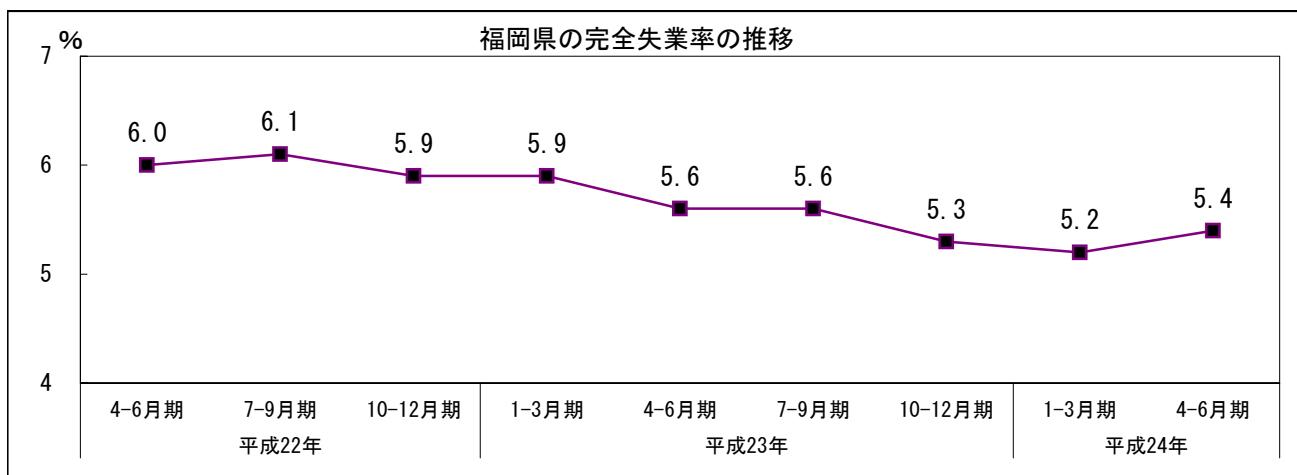
\* 完全失業率＝「完全失業者」÷（「就業者」＋「完全失業者」）×100

(単位：千人、%)

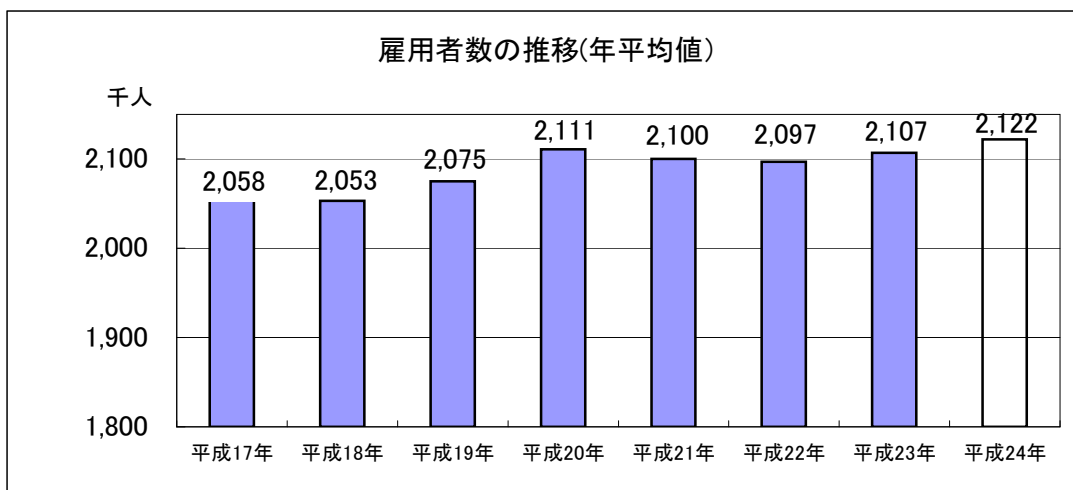
		労働力人口	就業者数	完全失業者数	非労働力人口	完全失業率
平成21年		2,543	2,397	146	1,831	5.7
平成22年		2,541	2,388	153	1,838	6.0
平成23年		2,532	2,390	142	1,855	5.6
平成23年	1-3月期	2,505	2,356	149	1,880	5.9
	4-6月期	2,553	2,409	144	1,835	5.6
	7-9月期	2,538	2,395	143	1,849	5.6
	10-12月期	2,533	2,400	133	1,857	5.3
平成24年	1-3月期	2,499	2,369	131	1,891	5.2
	4-6月期	2,552	2,414	137	1,842	5.4
前年同期増減		▲ 1	5	▲ 7	7	▲ 0.2

資料出所：総務省「労働力調査」

注）・1～3月期平均公表時に、新たな結果を追加して再計算が行われ、前年までの四半期平均及び年平均結果が遡及改定されます。



資料出所：総務省「労働力調査」



注）・県の雇用者数は、労働力調査に基づく推計値であり、福岡県で独自に公表しているものです。  
 ・平成24年の雇用者数は、1～6月期の平均値です。

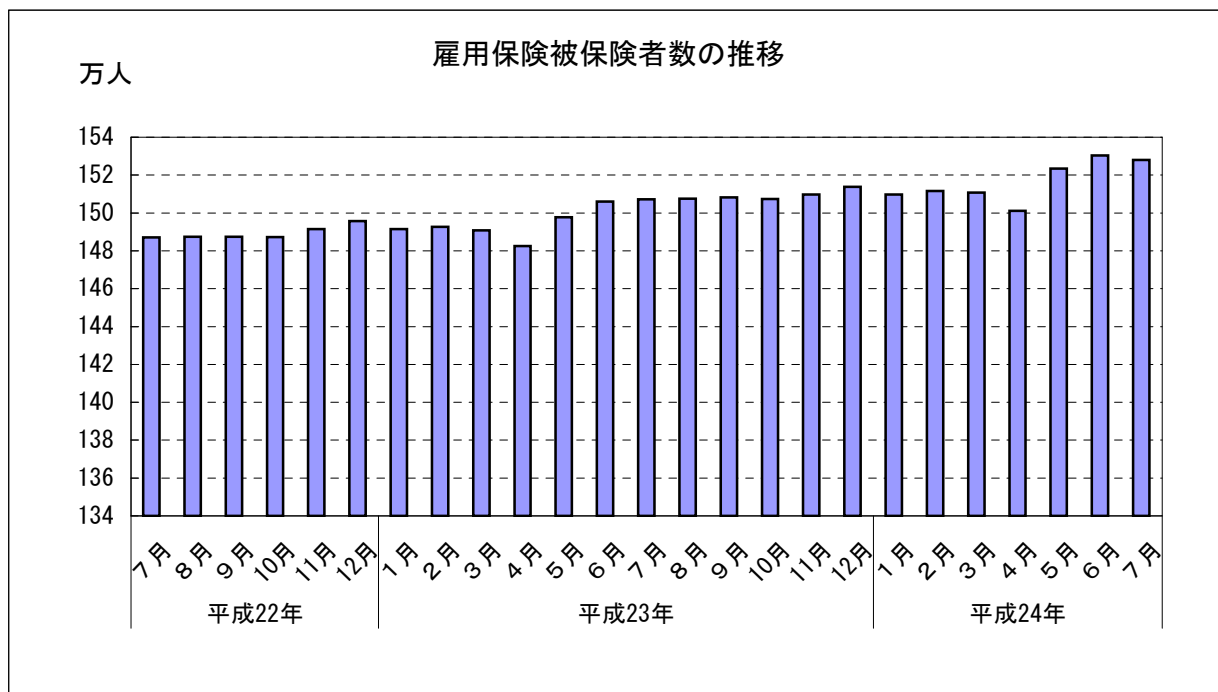
## 雇 用

### 4 雇用保険被保険者数(2012年7月) (1) 前年同月比：34か月連続のプラス

		被保険者数	前年 同月比
平成23年 (2011)	7月	1,507,251	1.4
	8月	1,507,465	1.4
	9月	1,508,194	1.4
	10月	1,507,442	1.4
	11月	1,509,817	1.2
	12月	1,513,859	1.2
平成24年 (2012)	1月	1,509,702	1.2
	2月	1,511,533	1.3
	3月	1,510,694	1.3
	4月	1,501,149	1.3
	5月	1,523,514	1.7
	6月	1,530,435	1.6
	7月	1,528,033	1.4

		被保険者数	前年 同期比
平成22年 (2010)	7～9月	1,487,303	2.0
	10～12月	1,491,489	2.2
平成23年 (2011)	1～3月	1,491,670	2.3
	4～6月	1,495,439	1.7
	7～9月	1,507,637	1.4
	10～12月	1,510,373	1.3
平成24年 (2012)	1～3月	1,510,643	1.3
	4～6月	1,518,366	1.5

	被保険者数	前年比
平成21年度	1,455,829	0.2
平成22年度	1,485,295	2.0
平成23年度	1,506,023	1.4



## 住宅投資

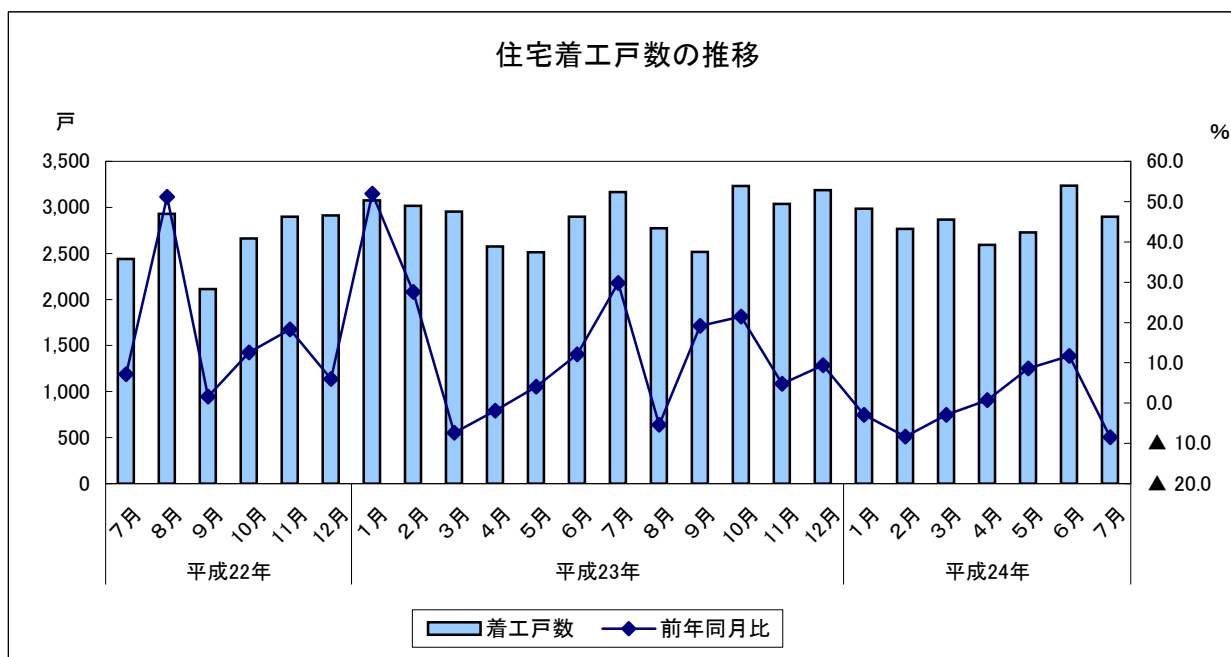
### 1 新設住宅着工戸数（2012年7月） （1）前年同月比：4か月ぶりのマイナス

		着工戸数	前年同月比
平成23年 (2011)	7月	3,168	29.8
	8月	2,772	▲ 5.4
	9月	2,518	19.2
	10月	3,233	21.5
	11月	3,039	4.8
	12月	3,186	9.4
平成24年 (2012)	1月	2,985	▲ 2.9
	2月	2,766	▲ 8.3
	3月	2,867	▲ 2.9
	4月	2,592	0.7
	5月	2,727	8.6
	6月	3,237	11.7
	7月	2,899	▲ 8.5

		着工戸数	前年同期比
平成22年 (2010)	7～9月	7,484	18.9
	10～12月	8,474	12.1
平成23年 (2011)	1～3月	9,046	19.4
	4～6月	7,983	4.7
	7～9月	8,458	13.0
平成24年 (2012)	10～12月	9,458	11.6
	1～3月	8,618	▲ 4.7
	4～6月	8,556	7.2

	着工戸数	前年比
平成21年(2009)	28,997	▲ 38.5
平成22年(2010)	31,156	7.4
平成23年(2011)	34,945	12.2

資料出所：国土交通省「建築着工統計調査」  
住宅着工戸数単位：戸



## 住宅投資

### 2 新設住宅着工戸数の内訳（2012年7月）

#### (1) 前年同月比（利用関係別）

- ア 持家：3か月連続のマイナス
- イ 貸家：6か月ぶりのマイナス
- ウ 分譲：2か月ぶりのマイナス

		持家		貸家		分譲	
		前年同月比	前年同月比	前年同月比	前年同月比		
平成23年 (2011)	7月	1,130	39.9	1,348	32.2	689	45.7
	8月	966	▲ 5.9	1,262	4.4	541	▲ 17.4
	9月	775	▲ 15.2	851	▲ 9.3	850	229.5
	10月	873	▲ 8.0	1,274	13.9	1,079	85.1
	11月	787	▲ 24.8	1,411	9.0	838	54.6
	12月	833	▲ 15.3	1,535	▲ 0.9	816	126.7
平成24年 (2012)	1月	799	10.8	1,494	▲ 13.8	687	11.5
	2月	744	▲ 7.6	1,412	2.2	605	▲ 25.0
	3月	715	▲ 12.7	1,491	9.8	658	▲ 1.3
	4月	773	3.3	1,326	0.3	479	▲ 4.2
	5月	833	▲ 3.5	1,228	28.6	660	▲ 4.6
	6月	779	▲ 11.2	1,777	19.9	676	26.6
	7月	914	▲ 19.1	1,346	▲ 0.1	627	▲ 9.0

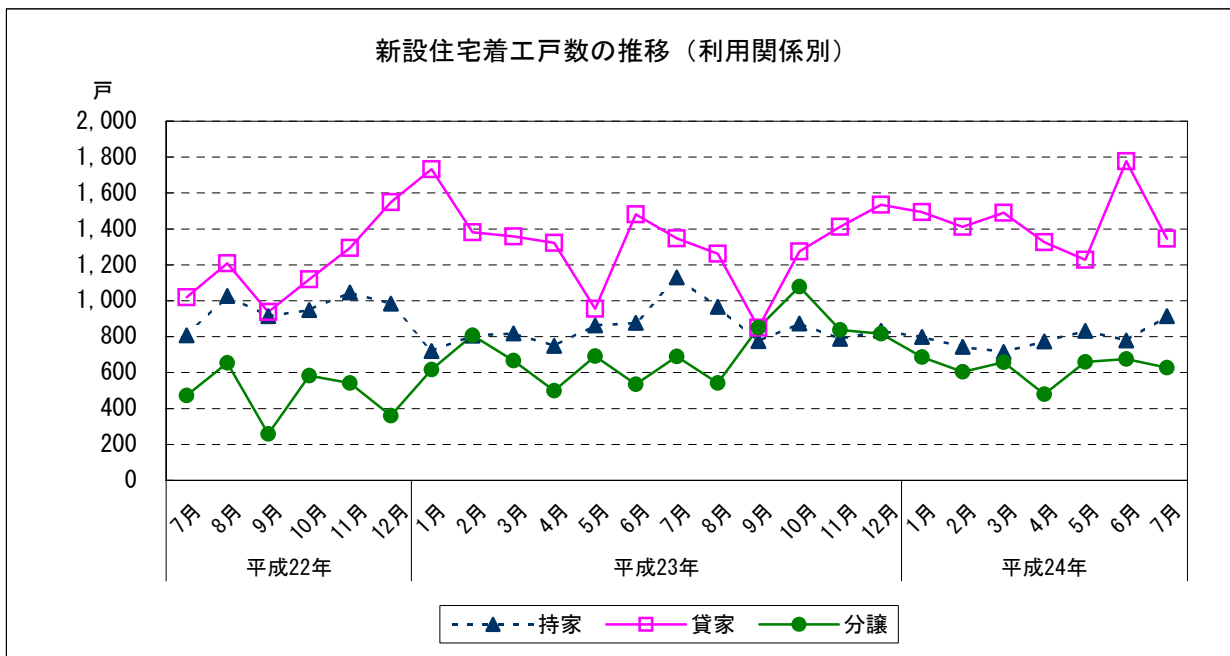
		持家		貸家		分譲	
		前年同期比	前年同期比	前年同期比	前年同期比		
平成22年 (2010)	7～9月	2,749	15.4	3,167	4.2	1,386	64.6
	10～12月	2,980	20.1	3,962	15.3	1,485	▲ 8.7
平成23年 (2011)	1～3月	2,345	8.5	4,473	25.8	2,090	18.4
	4～6月	2,488	4.8	3,759	▲ 5.1	1,726	35.7
	7～9月	2,871	4.4	3,461	9.3	2,080	50.1
	10～12月	2,493	▲ 16.3	4,220	6.5	2,733	84.0
平成24年 (2012)	1～3月	2,258	▲ 3.7	4,397	▲ 1.7	1,950	▲ 6.7
	4～6月	2,385	▲ 4.1	4,331	15.2	1,815	5.2

	持家	前年比	貸家	前年比	分譲	前年比
平成21年(2009)	8,997	▲ 10.5	13,755	▲ 46.6	5,947	▲ 45.5
平成22年(2010)	10,266	14.1	14,649	6.5	5,908	▲ 0.7
平成23年(2011)	10,197	▲ 0.7	15,913	8.6	8,629	46.1

資料出所：国土交通省「建築着工統計調査」

住宅着工戸数単位：戸





# 公共投資

## 1 公共工事請負額（2012年8月）

- (1) 前年同月比：6か月ぶりのマイナス  
 マイナス：国（2か月ぶり）、市町村（4か月ぶり）、  
 その他公共的団体等（4か月連続）  
 プラス：県（2か月連続）

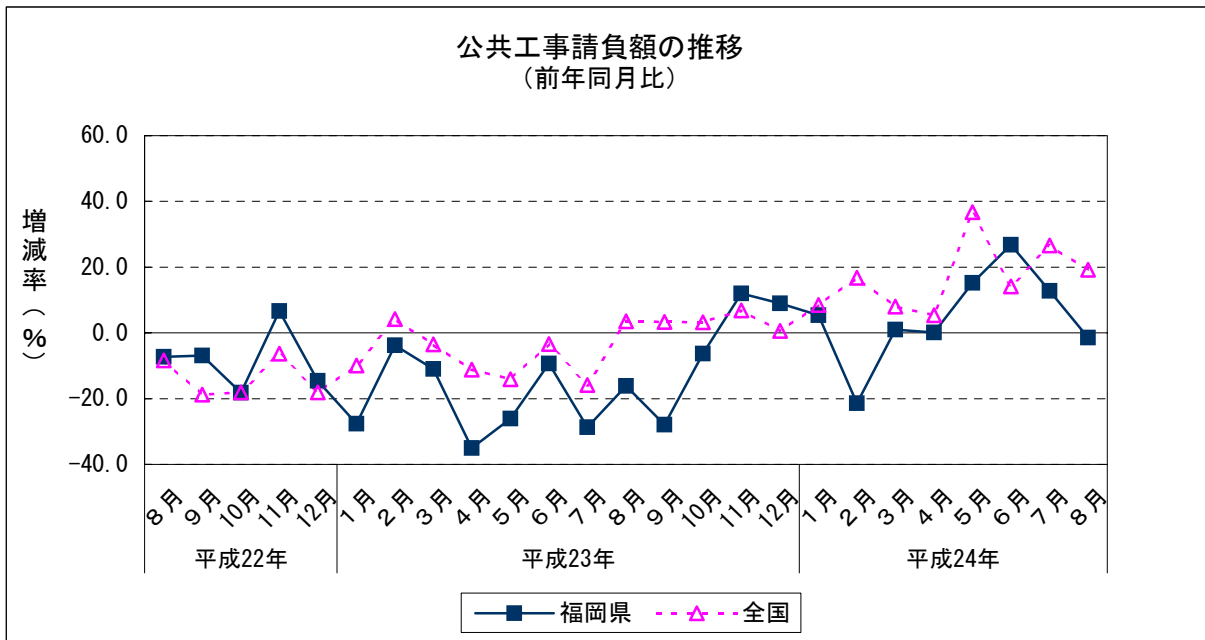
	請負額	前年同月比
平成23年 (2011)	8月	29,945 ▲ 16.1
	9月	32,102 ▲ 27.9
	10月	34,581 ▲ 6.3
	11月	30,030 12.0
	12月	25,943 9.0
平成24年 (2012)	1月	17,699 5.4
	2月	15,479 ▲ 21.4
	3月	48,664 1.0
	4月	28,081 0.1
	5月	18,808 15.2
	6月	31,304 26.8
	7月	29,055 12.8
	8月	29,525 ▲ 1.4

	請負額	前年同期比
平成22年 (2010)	7～9月	116,338 ▲ 7.0
	10～12月	87,496 ▲ 10.8
平成23年 (2011)	1～3月	84,675 ▲ 13.5
	4～6月	69,073 ▲ 25.3
	7～9月	87,799 ▲ 24.5
平成24年 (2012)	10～12月	90,554 3.5
	1～3月	81,842 ▲ 3.3
	4～6月	78,193 13.2

	請負額	前年比
平成21年度(F. Y. 2009)	412,110 ▲ 1.0	
平成22年度(F. Y. 2010)	380,994 ▲ 7.6	
平成23年度(F. Y. 2011)	329,272 ▲ 13.6	

	請負額	前年比
平成23年4～8月累計	124,771 ▲ 24.0	
平成24年4～8月累計	136,774 9.6	

資料出所：西日本建設業保証株式会社  
 工事請負額単位：百万円



## 公共投資

### 2 公共工事請負額の内訳（2012年8月）

#### (1) 前年同月比

マイナス：国（2か月ぶり）、市町村（4か月ぶり）、  
 その他公共的団体等（4か月連続）  
 プラス：県（2か月連続）

		国		県		市町村		その他	
		前年同月比		前年同月比		前年同月比		前年同月比	
平成23年 (2011)	8月	5,503	▲ 16.4	5,066	▲ 38.6	17,355	6.5	2,019	▲ 55.5
	9月	4,297	▲ 20.1	10,176	▲ 41.0	14,632	▲ 22.4	2,995	▲ 2.3
	10月	4,512	▲ 24.3	10,667	▲ 23.9	14,443	5.6	4,957	52.8
	11月	2,739	31.6	8,156	48.1	15,693	▲ 9.7	3,439	86.8
	12月	1,475	▲ 47.6	8,369	21.6	14,391	21.9	1,705	▲ 25.5
平成24年 (2012)	1月	1,050	▲ 67.1	5,392	45.2	8,337	▲ 2.1	2,918	111.8
	2月	2,964	▲ 47.1	5,675	25.9	4,766	▲ 30.3	2,072	▲ 24.4
	3月	6,027	▲ 42.1	19,467	19.9	10,442	19.5	12,726	▲ 0.6
	4月	4,026	29.6	2,182	▲ 46.2	13,471	▲ 16.0	8,399	73.0
	5月	3,079	94.1	3,295	123.5	11,019	40.2	1,412	▲ 73.9
	6月	2,744	▲ 3.0	3,236	▲ 16.6	20,770	67.7	4,551	▲ 18.6
	7月	4,452	15.4	4,843	104.9	17,576	8.5	2,182	▲ 34.5
	8月	3,959	▲ 28.1	7,852	55.0	16,013	▲ 7.7	1,700	▲ 15.8

		国		県		市町村		その他	
		前年同期比		前年同期比		前年同期比		前年同期比	
平成22年 (2010)	7～9月	20,868	▲ 6.7	30,162	▲ 12.3	54,680	9.5	10,621	▲ 42.3
	10～12月	10,856	▲ 33.5	26,400	▲ 4.1	42,861	▲ 8.2	7,375	▲ 2.1
平成23年 (2011)	1～3月	19,199	▲ 31.8	24,458	▲ 7.8	24,086	▲ 25.0	16,927	53.3
	4～6月	7,524	▲ 35.1	9,416	▲ 29.3	36,282	▲ 22.8	15,849	▲ 23.0
	7～9月	13,657	▲ 34.6	17,605	▲ 41.6	48,187	▲ 11.9	8,344	▲ 21.4
平成24年 (2012)	10～12月	8,726	▲ 19.6	27,192	3.0	44,527	3.9	10,101	37.0
	1～3月	10,041	▲ 47.7	30,534	24.8	23,545	▲ 2.2	17,716	4.7
	4～6月	9,851	30.9	8,714	▲ 7.5	45,261	24.7	14,364	▲ 9.4

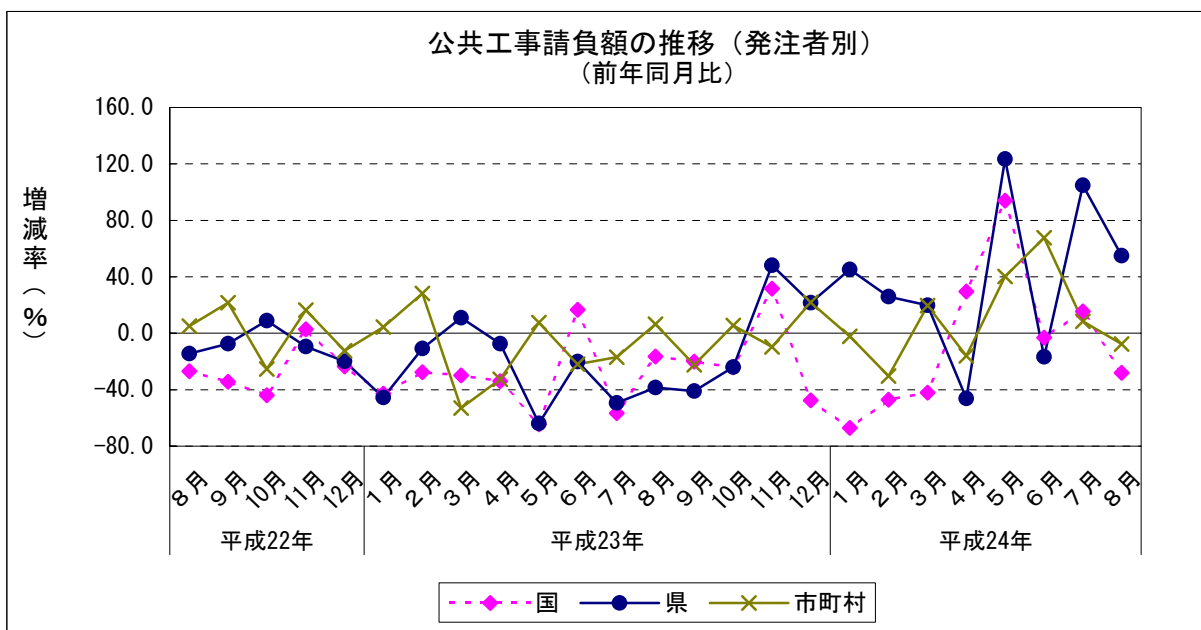
	国	前年比	県	前年比	市町村	前年比	その他	前年比
平成21年度(F.Y. 2009)	76,591	17.3	103,488	10.9	174,748	11.7	57,254	▲ 43.4
平成22年度(F.Y. 2010)	62,526	▲ 18.4	94,348	▲ 8.8	168,603	▲ 3.5	55,516	▲ 3.0
平成23年度(F.Y. 2011)	39,952	▲ 36.1	84,751	▲ 10.2	152,547	▲ 9.5	52,019	▲ 6.3

	国	前年比	県	前年比	市町村	前年比	その他	前年比
平成23年4～8月累計	16,885	▲ 37.7	16,847	▲ 35.8	69,838	▲ 15.6	21,199	▲ 24.7
平成24年4～8月累計	18,263	8.2	21,410	27.1	78,852	12.9	18,247	▲ 13.9

資料出所：西日本建設業保証株式会社

着工予定額単位：百万円

※その他公共的団体等には、独立行政法人等も含む。



# 物 価

## 1 消費者物価指数（生鮮食品を除く総合・福岡市）（2012年8月）

（1）前年同月比：変化なし

（平成22年＝100）

		消費者物価指数	前年同月比
平成23年 (2011)	8月	99.8	0.2
	9月	99.9	0.2
	10月	99.9	0.0
	11月	99.7	▲ 0.1
	12月	99.8	0.2
平成24年 (2012)	1月	99.6	▲ 0.1
	2月	99.7	▲ 0.1
	3月	100.1	0.2
	4月	100.4	0.4
	5月	100.0	▲ 0.4
	6月	99.9	0.1
	7月	99.7	0.0
	8月	99.8	0.0

（平成22年＝100）

		消費者物価指数	前年同期比
平成22年 (2010)	7～9月	99.7	▲ 1.2
	10～12月	99.8	▲ 0.8
平成23年 (2011)	1～3月	99.8	▲ 0.5
	4～6月	100.0	▲ 0.2
	7～9月	99.8	0.1
平成24年 (2012)	10～12月	99.8	0.0
	1～3月	99.8	0.0
	4～6月	100.1	0.1

（平成22年＝100）

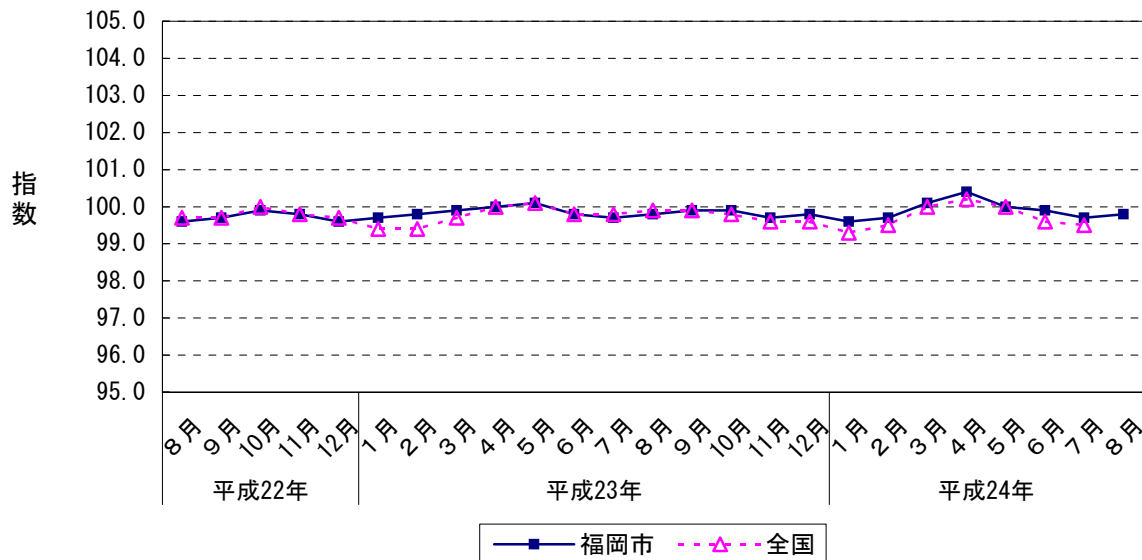
	消費者物価指数	前年比
平成21年(2009)	101.0	▲ 1.2
平成22年(2010)	100.0	▲ 1.0
平成23年(2011)	99.8	▲ 0.2

資料出所：福岡県調査統計課「消費者物価指数」

※消費者物価指数は福岡県はH23年7月、国は同6月公表分より基準改定を行い、平成22年＝100となった。  
過去のデータも遡及して改定している。

### 消費者物価指数（生鮮食品を除く総合・福岡市）の推移

（平成22年＝100）



# 物 価

## 2 企業物価指数（国内企業物価指数）（2012年8月）

（1）前年同月比：5か月連続のマイナス

（平成22年平均=100）

		指 数	前年同月比
平成23年 (2011)	8月	102.1	2.2
	9月	101.9	2.0
	10月	101.1	1.3
	11月	101.0	1.3
	12月	101.0	0.8
平成24年 (2012)	1月	100.9	0.3
	2月	101.1	0.4
	3月	101.6	0.3
	4月	101.7	▲ 0.4
	5月	101.2	▲ 0.7
	6月	100.5	▲ 1.4
	7月	100.0	▲ 2.2
	8月	p100.3	p▲ 1.8

（平成22年平均=100）

		指 数	前年同期比
平成22年 (2010)	7～9月	99.9	▲ 0.1
	10～12月	99.9	0.6
平成23年 (2011)	1～3月	100.9	0.9
	4～6月	102	1.8
	7～9月	102.1	2.2
平成24年 (2012)	10～12月	101.0	1.1
	1～3月	101.2	0.3
	4～6月	101.2	▲ 0.8

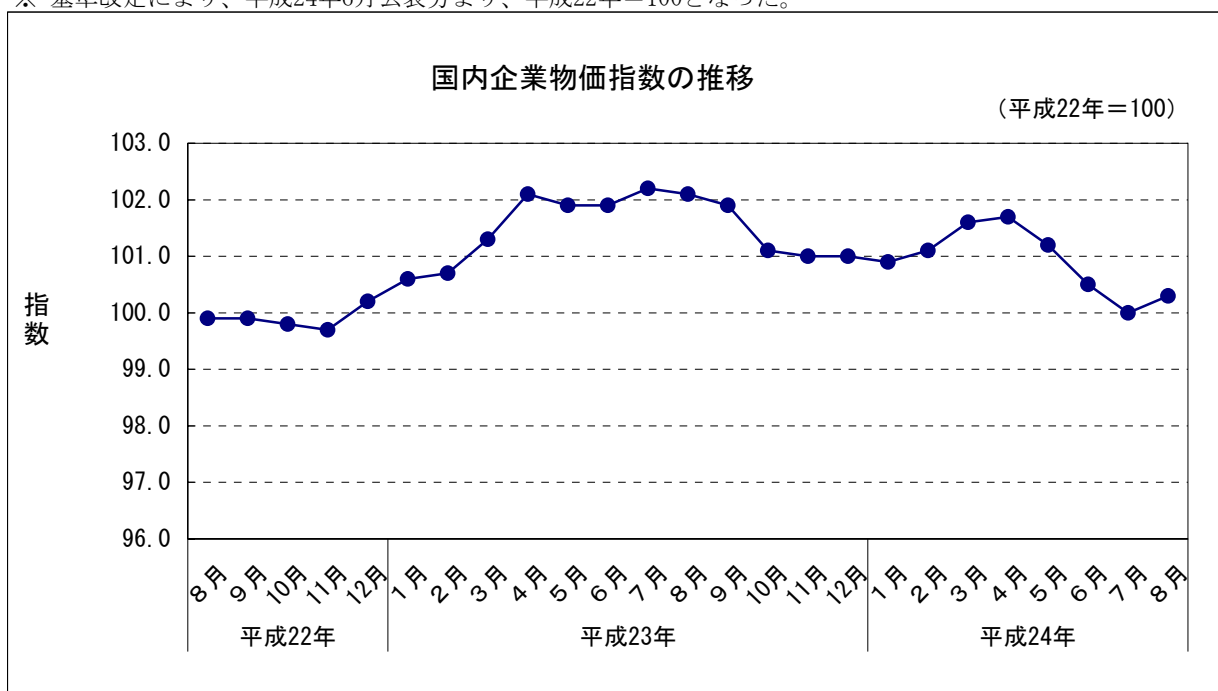
（平成22年平均=100）

	指 数	前年比
平成21年(2009)	100.1	▲ 5.3
平成22年(2010)	100.0	▲ 0.1
平成23年(2011)	101.5	1.5

資料出所：日本銀行「企業物価指数」

※ p は速報値

※ 基準改定により、平成24年6月公表分より、平成22年=100となった。



# 物 価

## 3 原油価格とガソリン価格

- (1) 原油価格 (ドバイ) (2012年8月) : 2か月連続の上昇
- (2) 原油価格 (WTI) (2012年8月) : 2か月連続の上昇
- (3) ガソリン価格 (2012年8月) : 4か月ぶりの上昇
- (4) 灯油価格 (2012年8月) : 4か月ぶりの上昇

		原油価格(ドバイ)		原油価格(WTI)		ガソリン価格(福岡地区)		灯油価格(福岡地区)	
		ドル/バレル	前月差	ドル/バレル	前月差	円/リットル	前月差	円/18リットル	前月差
平成23年 (2011)	8月	104.56	▲ 5.83	86.34	▲ 11.00	152	1.3	1,672	▲ 4
	9月	106.19	1.63	85.61	▲ 0.73	149	▲ 3.3	1,635	▲ 37
	10月	104.52	▲ 1.67	86.43	0.82	146	▲ 2.7	1,587	▲ 48
	11月	108.83	4.31	97.16	10.73	146	0.2	1,590	3
	12月	106.56	▲ 2.27	98.58	1.42	147	0.6	1,607	17
平成24年 (2012)	1月	109.85	3.29	100.32	1.74	146	▲ 0.8	1,606	▲ 1
	2月	116.28	6.43	102.29	1.97	146	0.0	1,619	13
	3月	122.52	6.24	106.21	3.92	156	9.5	1,735	116
	4月	117.60	▲ 4.92	103.35	▲ 2.86	159	3.2	1,746	11
	5月	107.25	▲ 10.35	94.22	▲ 9.13	153	▲ 5.7	1,687	▲ 59
	6月	94.75	▲ 12.50	82.36	▲ 11.86	145	▲ 8.0	1,603	▲ 84
	7月	99.38	4.63	87.93	5.57	141	▲ 3.9	1,548	▲ 55
	8月	108.60	9.22	94.16	6.23	144	2.1	1,567	19

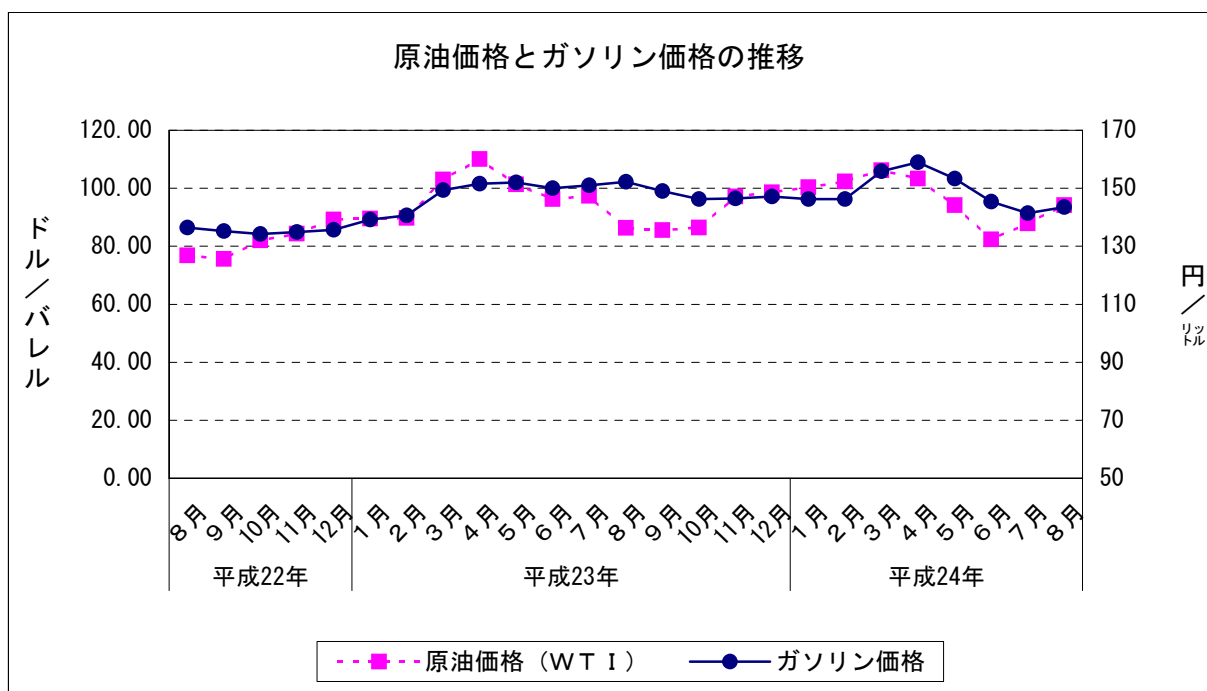
※ガソリン及び灯油価格は、H23.4月分より月次データが無くなったため、週次データを月毎に単純平均した。

それに伴い、過去のデータも修正した。

資料出所：資源エネルギー庁、日本経済新聞

※原油価格(ドバイ)は、東京原油スポット市場の日々の終値を月毎に単純平均したもの。

※原油価格(WTI)は、H20.5月からNY商品市場の日々の終値を月毎に単純平均したもの。



# 金 融

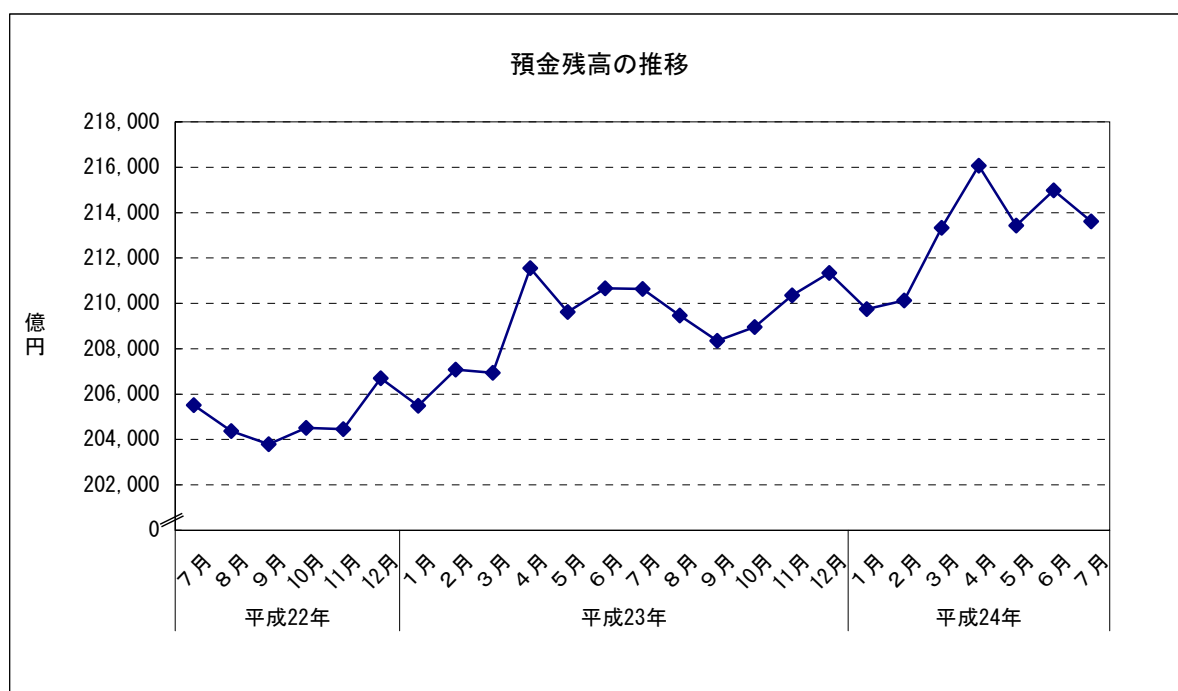
## 1 預金残高（2012年7月） （1）前月比：2か月ぶりのマイナス

		預金残高	前月比
平成23年 (2011)	7月	210,632	▲ 0.01
	8月	209,468	▲ 0.55
	9月	208,348	▲ 0.53
	10月	208,959	0.29
	11月	210,359	0.67
	12月	211,347	0.47
平成24年 (2012)	1月	209,747	▲ 0.76
	2月	210,131	0.18
	3月	213,328	1.52
	4月	216,069	1.28
	5月	213,430	▲ 1.22
	6月	214,982	0.73
	7月	213,610	▲ 0.64

※預金残高は国内銀行及び農業協同組合の合計

預金残高単位：億円

資料出所：日本銀行福岡支店、JA福岡信連



## 金融

### 2 貸付金残高（2012年7月）

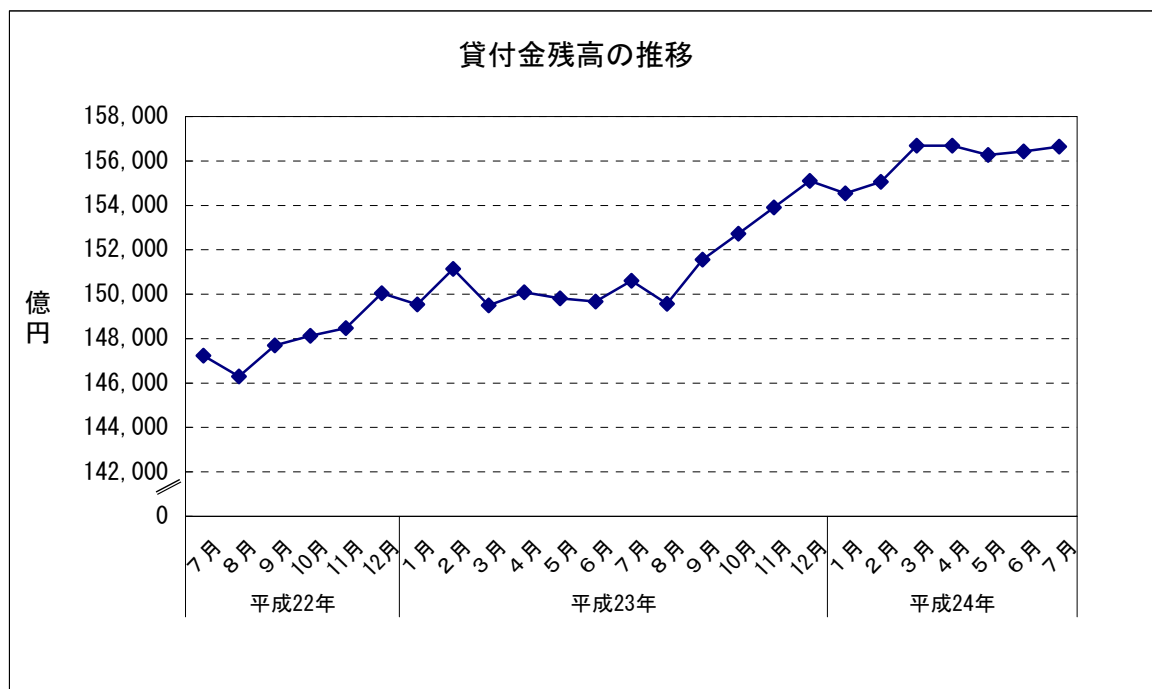
- (1) 前月比 : 2か月連続のプラス
- (2) 前年同月比 : 23か月連続のプラス

		貸付金残高	前月比	前年同月比
平成23年 (2011)	7月	150,611	0.63	2.30
	8月	149,568	▲ 0.69	2.23
	9月	151,556	1.33	2.61
	10月	152,727	0.77	3.11
	11月	153,903	0.77	3.65
	12月	155,103	0.78	3.37
平成24年 (2012)	1月	154,536	▲ 0.37	3.34
	2月	155,058	0.34	2.59
	3月	156,685	1.05	4.81
	4月	156,694	0.01	4.40
	5月	156,269	▲ 0.27	4.31
	6月	156,432	0.10	4.52
	7月	156,638	0.13	4.00

※貸付金残高は国内銀行及び農業協同組合の合計

貸付金残高単位：億円

資料出所：日本銀行福岡支店、JA福岡信連



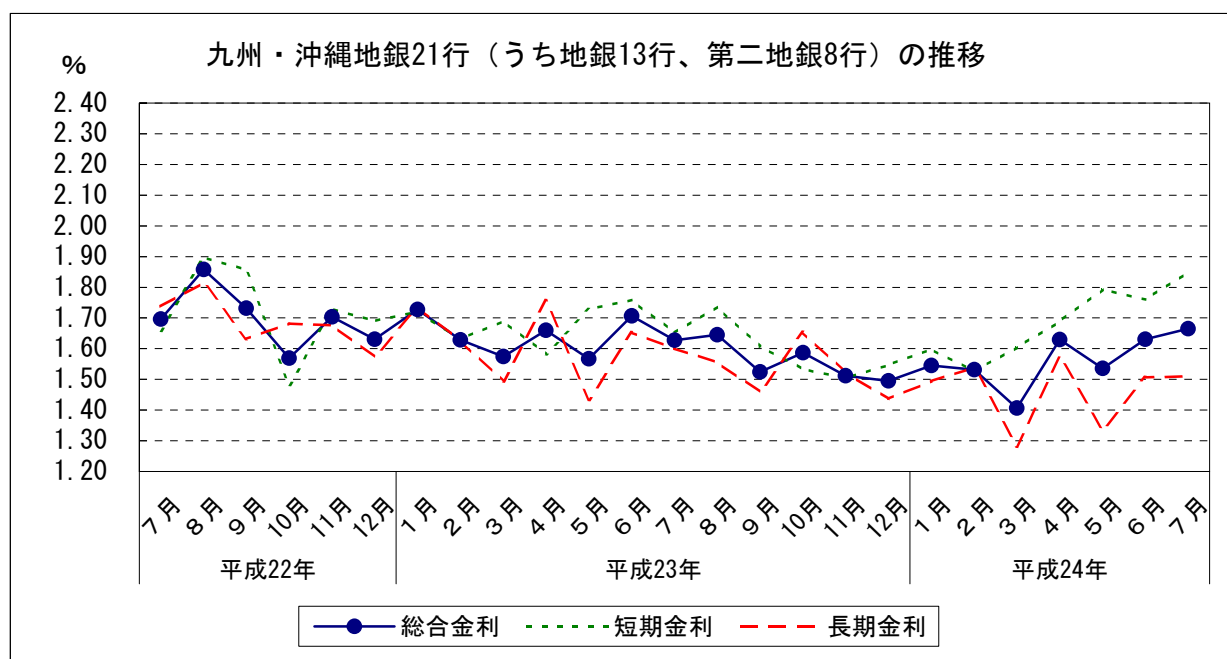
## 金融

### 3 金利(九州・沖縄地銀21行(うち地銀13行、第二地銀8行)貸出約定平均金利)(2012年7月)

- (1) 総合金利  
 ア 前月差： 2か月連続の上昇  
 イ 前年同月差： 9か月ぶりの上昇
- (2) 短期金利  
 ア 前月差： 2か月ぶりの上昇  
 イ 前年同月差： 4か月連続の上昇
- (3) 長期金利  
 ア 前月差： 2か月連続の上昇  
 イ 前年同月差： 27か月連続の下落

		総合金利			短期金利			長期金利		
			前月差	前年同月差		前月差	前年同月差		前月差	前年同月差
平成23年 (2011)	7月	1.627	▲ 0.080	▲ 0.069	1.652	▲ 0.107	▲ 0.007	1.600	▲ 0.052	▲ 0.138
	8月	1.645	0.018	▲ 0.213	1.736	0.084	▲ 0.162	1.556	▲ 0.044	▲ 0.259
	9月	1.524	▲ 0.121	▲ 0.208	1.608	▲ 0.128	▲ 0.249	1.460	▲ 0.096	▲ 0.172
	10月	1.587	0.063	0.018	1.534	▲ 0.074	0.055	1.653	0.193	▲ 0.029
	11月	1.512	▲ 0.075	▲ 0.192	1.503	▲ 0.031	▲ 0.227	1.522	▲ 0.131	▲ 0.154
	12月	1.495	▲ 0.017	▲ 0.136	1.547	0.044	▲ 0.143	1.437	▲ 0.085	▲ 0.137
平成24年 (2012)	1月	1.545	0.050	▲ 0.183	1.598	0.051	▲ 0.123	1.494	0.057	▲ 0.241
	2月	1.532	▲ 0.013	▲ 0.096	1.526	▲ 0.072	▲ 0.105	1.539	0.045	▲ 0.087
	3月	1.406	▲ 0.126	▲ 0.168	1.604	0.078	▲ 0.086	1.281	▲ 0.258	▲ 0.213
	4月	1.630	0.224	▲ 0.030	1.689	0.085	0.106	1.573	0.292	▲ 0.184
	5月	1.536	▲ 0.094	▲ 0.031	1.793	0.104	0.065	1.336	▲ 0.237	▲ 0.098
	6月	1.631	0.095	▲ 0.076	1.760	▲ 0.033	0.001	1.507	0.171	▲ 0.145
	7月	1.665	0.034	0.038	1.850	0.090	0.198	1.510	0.003	▲ 0.090

資料出所：日本銀行福岡支店「九州・沖縄地銀・第二地銀貸出約定平均金利」

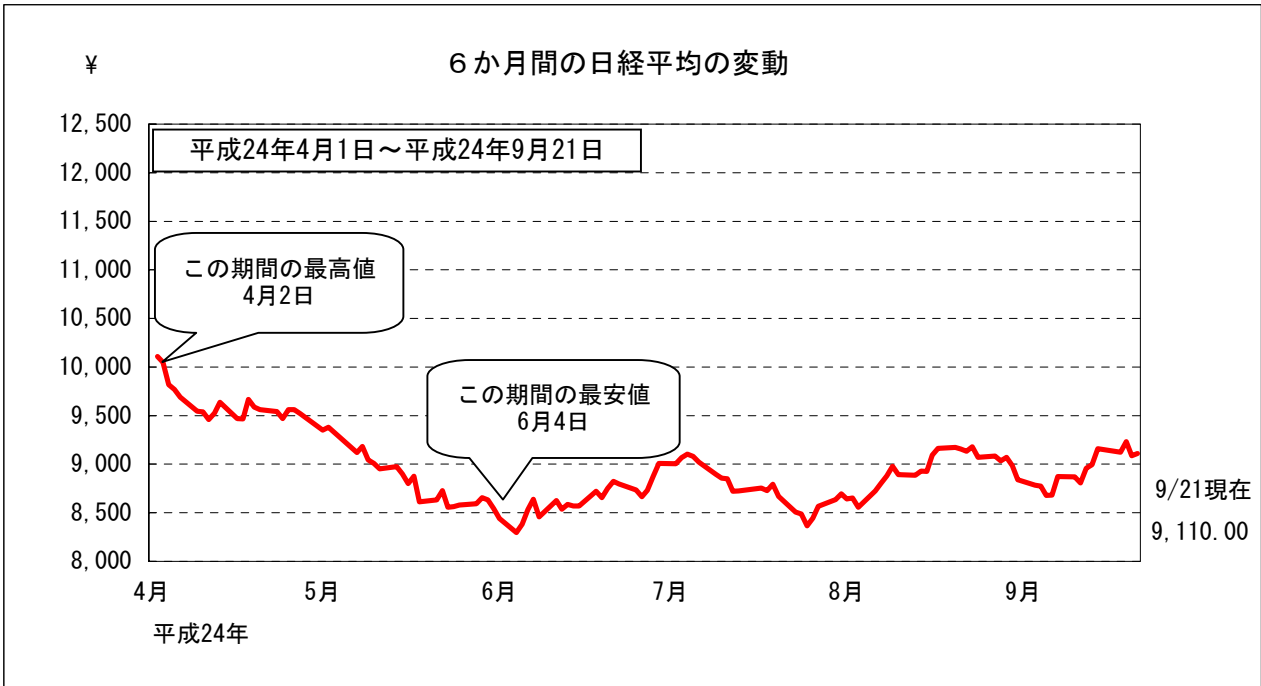




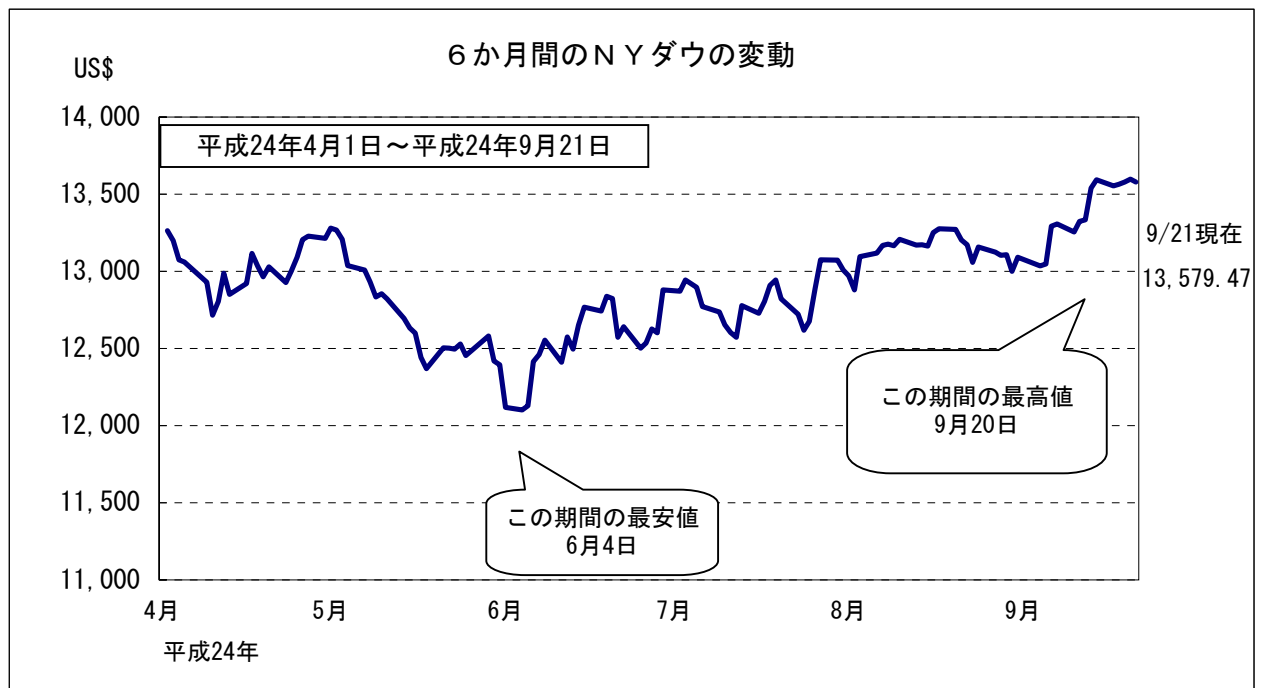
# 金融

## 4 株価の変動

(1) 株式相場（日経平均株価）は、このところ8,600～9,200円台で推移している。



※終値ベース

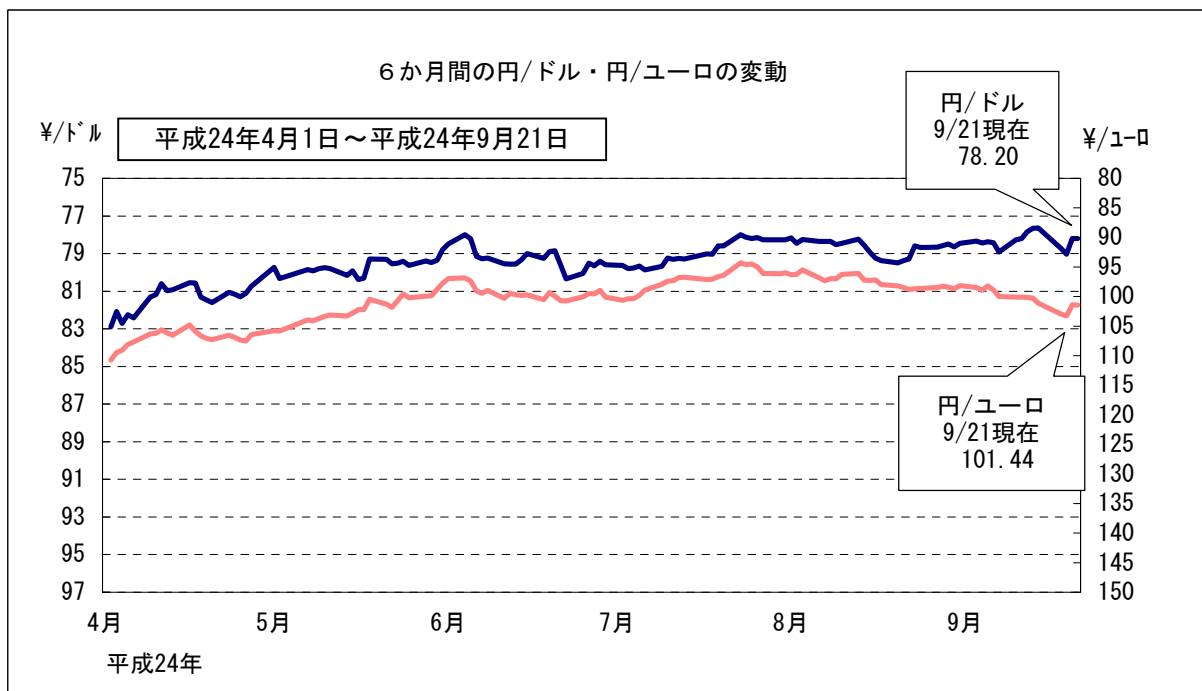


※終値ベース

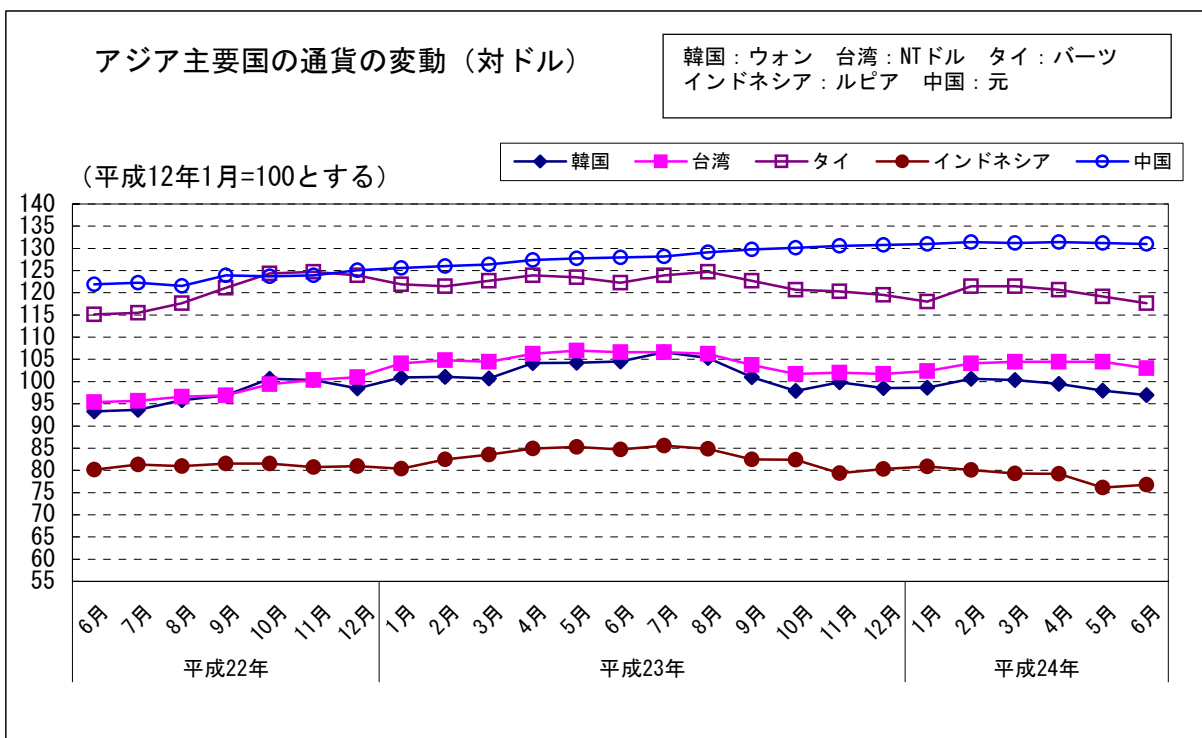
# 金融

## 5 日本及びアジア主要国の通貨の変動

(1) 対米ドル円相場は、このところ77~79円台で推移している。



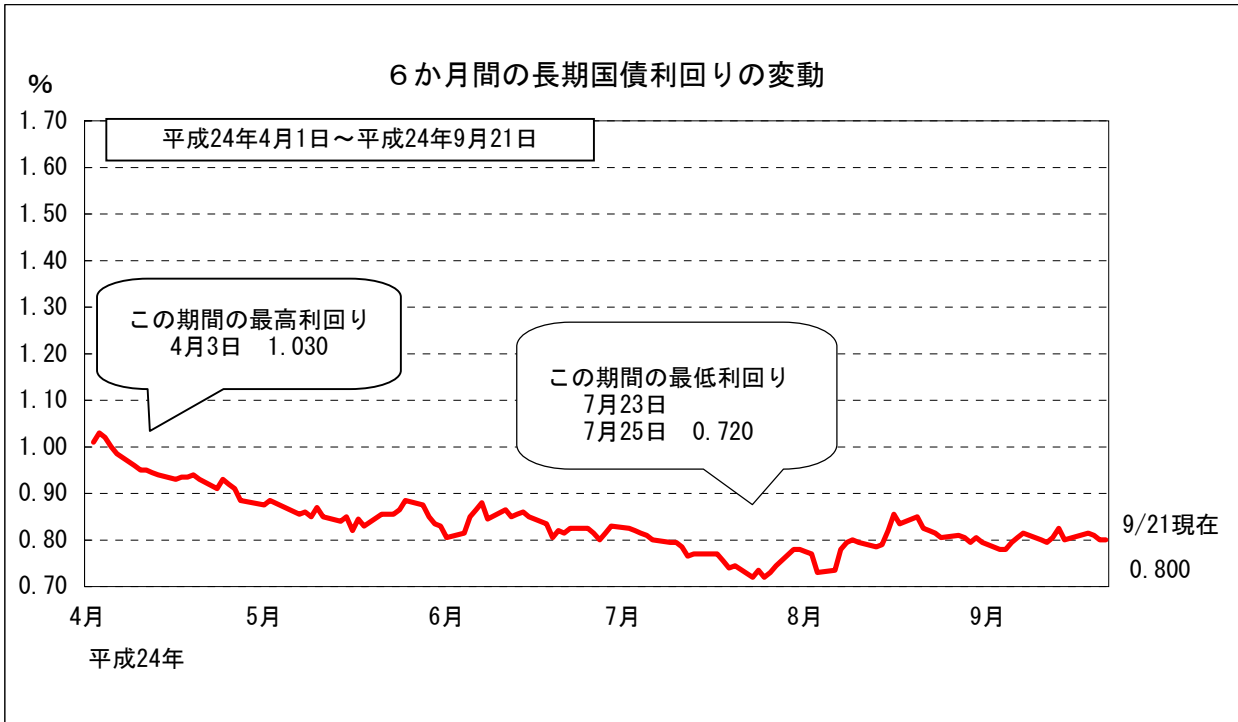
※東京外為市場の買値終値ベース



## 金融

### 6 長期国債利回りの変動

(1) 長期金利は、このところ0.7~0.8%台で推移している。



新発10年国債利回り  
日本相互証券

## 景気動向指数

### 1 福岡県の景気動向指数（2012年7月）

- (1) 先行指数：3か月連続で50%を上回った。
- (2) 一致指数：3か月ぶりに50%を下回った。
- (3) 遅行指数：2か月連続で50%を下回った。

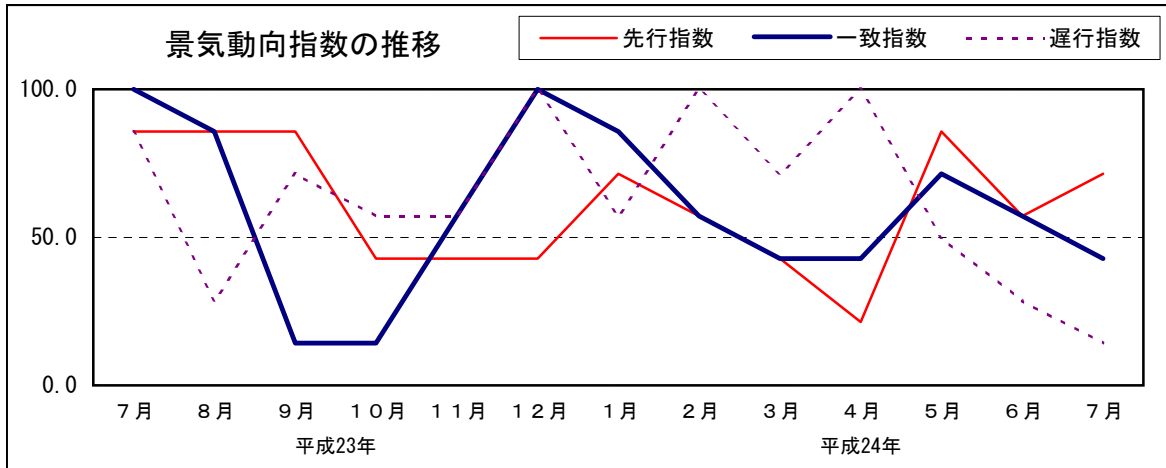
#### 福岡県

		先行指数	一致指数	遅行指数
平成23年 (2011)	7月	85.7	100.0	85.7
	8月	85.7	85.7	28.6
	9月	85.7	14.3	71.4
	10月	42.9	14.3	57.1
	11月	42.9	57.1	57.1
	12月	42.9	100.0	100.0
平成24年 (2012)	1月	71.4	85.7	57.1
	2月	57.1	57.1	100.0
	3月	42.9	42.9	71.4
	4月	21.4	42.9	100.0
	5月	85.7	71.4	50.0
	6月	57.1	57.1	28.6
	7月	71.4	42.9	14.3

#### 全国

		先行指数	一致指数	遅行指数
平成23年 (2011)	7月	72.7	100.0	25.0
	8月	72.7	90.9	58.3
	9月	36.4	31.8	66.7
	10月	45.5	54.5	58.3
	11月	54.5	45.5	58.3
	12月	45.5	81.8	33.3
平成24年 (2012)	1月	72.7	63.6	33.3
	2月	90.9	81.8	50.0
	3月	90.9	90.9	66.7
	4月	63.6	81.8	91.7
	5月	27.3	63.6	75.0
	6月	36.4	27.3	50.0
	7月	30.0	20.0	40.0

資料出所：福岡県調査統計課、内閣府「景気動向指数(DI)」



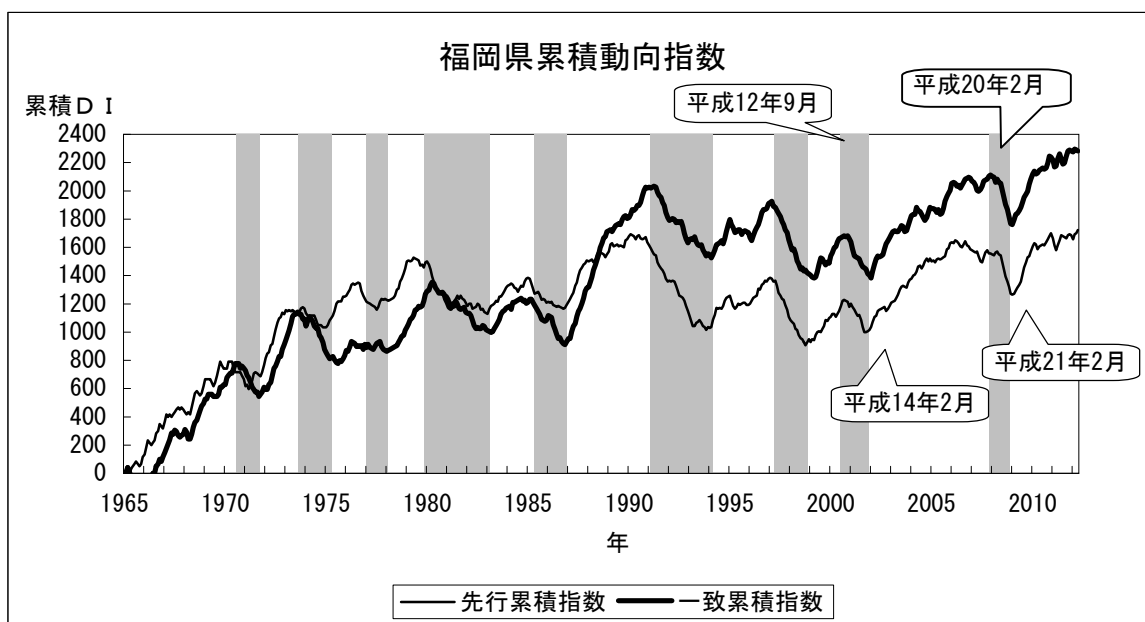
### ○ 個別系列の変化方向

	プラスの指標（3か月前との比較）	マイナスの指標（3か月前との比較）
先行系列	生産生産指数 新設住宅着工床面積 △乗用車新車登録台数 △輸入通関実績 最終需要財在庫率指数	▼新規求人数 日経商品指数
一致系列	鉱工業生産指数<総合> △鉱工業出荷指数<総合> 有効求人倍率	▼所定外労働時間数<製造業> ▼電力使用量<大口> スーパー販売額 輸出通関実績
遅行系列	地銀貸出約定平均金利	▼常用雇用指数<全産業> 雇用保険受給者実人員 鉱工業在庫指数<総合> 消費者物価指数（福岡市） 勤労者世帯消費支出（福岡市） 法人事業税調定額

※△は前回のマイナス指標からプラス指標になったことを、▼はプラス指標からマイナス指標になったことを示す。  
※変化方向0は便宜上プラスとしている。

## 景気動向指数

### 2 福岡県の累積動向指数（1965年9月～2012年7月）



資料出所：福岡県調査統計課

#### （参考）累積景気動向指数（累積DI）

毎月公表している景気動向指数の月々の値を累積したものが累積景気動向指数（累積DI）です。累積（DI）はある基準年月（1965年4月）を0とし、次式により月々累積して求めています。

累積DI（当該月分）＝前月の累積DI＋（当該月のDI－50）

累積DIは、基調的な動きをわかりやすく、視覚的にとらえやすいという利点をもっています。なお、グラフのシャドウ部分は、景気の後退期をあらわしています。

#### 福岡県の景気基準日付（景気の山、景気の谷）

谷	山	谷	拡張期間	後退期間	全循環
	昭和45年10月	昭和46年12月		14か月	
昭和46年12月	昭和48年11月	昭和50年7月	24か月	20か月	44か月
昭和50年7月	昭和52年3月	昭和53年4月	20か月	13か月	33か月
昭和53年4月	昭和55年2月	昭和58年5月	22か月	39か月	61か月
昭和58年5月	昭和60年7月	昭和62年2月	26か月	19か月	45か月
昭和62年2月	平成3年4月	平成6年5月	50か月	37か月	87か月
平成6年5月	平成9年6月	平成11年2月	37か月	20か月	57か月
平成11年2月	平成12年9月	平成14年2月	19か月	17か月	36か月
平成14年2月	平成20年2月※	平成21年2月※	(72か月)	(12か月)	(84か月)

※平成20年2月の景気の山と同21年2月の景気の谷は暫定

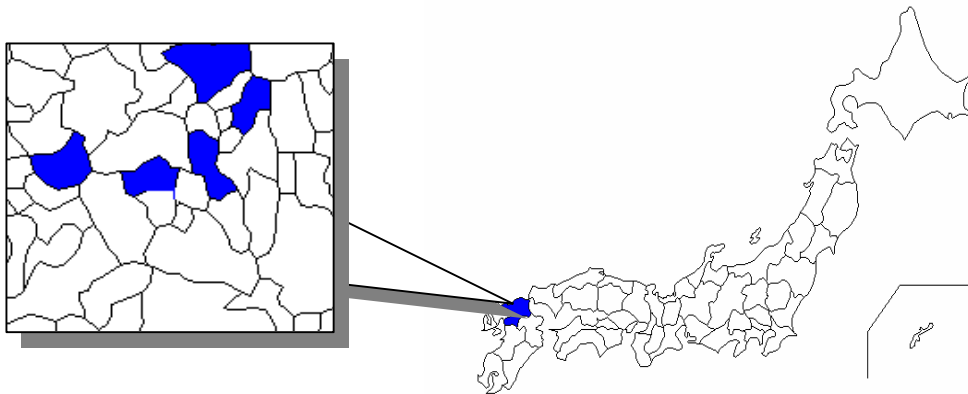
#### （参考）景気基準日付

景気の拡張局面と景気の後退局面を分ける景気の転換点のことであり、景気動向指数の一致指数から作成されるヒストリカルDI（HDI）が50%を超える、もしくは切るときが景気の拡張局面と後退局面を分ける転換点となります。HDIが50%ラインを上から下に切るときが景気の「山」、下から上に切るときが景気の「谷」とわれています。

※HDI：通常使用している一致指数から不規則変動を除去したもの

# 労働力調査とは？

労働力調査は、総務省により我が国における就業・不就業の実態を調査し、雇用・失業問題の改善及び施策の評価に役立てることを目的として実施されています。



総務省は、全国を国勢調査の際に設定した約94万の調査区から労働力調査の調査区を抽出。

国勢調査の結果を基に、各調査区の実態(例えば、製造業に従事する者の比率が高い調査区や学生寮のある調査区などに区分)を考慮し、全国及び九州など11地域の縮図となるよう毎月約2,900の調査区を指定。

福岡県では、毎月約110調査区を指定。

	全 国	福岡県
国勢調査調査区数	939,537 調査区	38,304 調査区
労働力調査調査区数	約2,900 調査区	約110 調査区

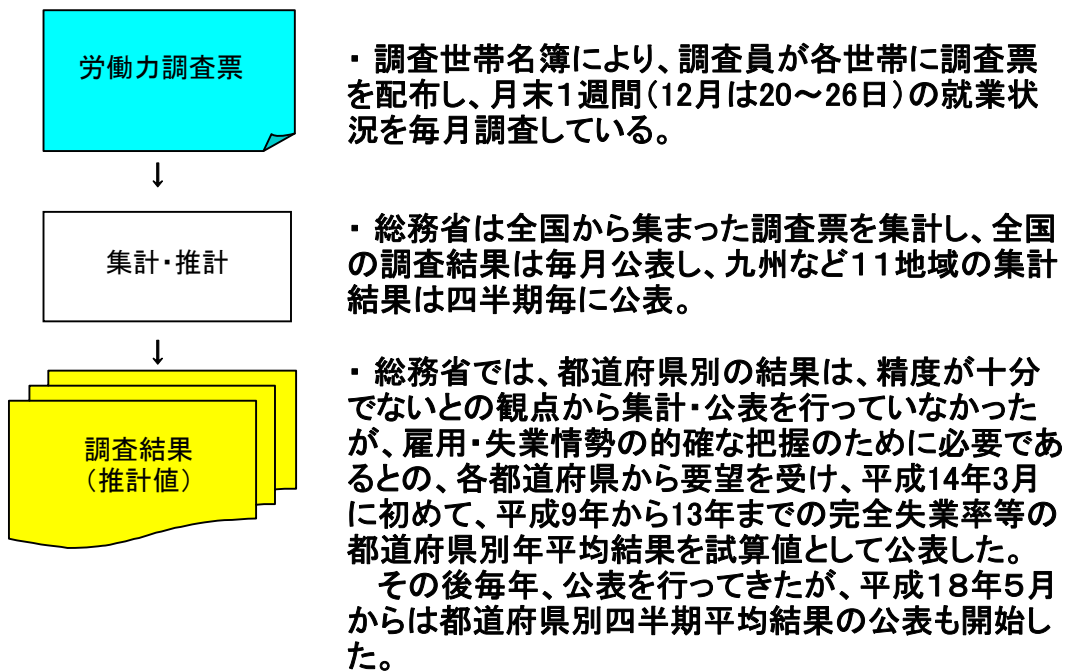
A調査区住居リスト		B調査区住居リスト	
1		①	抽出
②	抽出	2	
3		3	
4		4	
5		5	
⑥	抽出	⑥	抽出
7		7	
8		8	
9		9	
⑩	抽出	10	
11		⑪	抽出

各都道府県では、総務省が指定した各調査区の住居リストを作成し、総務省が指示した手法により一定の間隔で1調査区約50世帯の中から約15世帯を抽出。

この結果、福岡県では世帯総数の約1,300分の1に当たる約1,650世帯、15歳以上人口の約1,300分の1に当たる約3,200人を毎月調査。

	全国	福岡県
世帯総数	約4,700万世帯	約190万世帯
調査対象世帯数	約40,000世帯	約1,650世帯
15歳以上人口	約1億1,000万人	約430万人
調査対象世帯員数	約100,000人	約3,200人

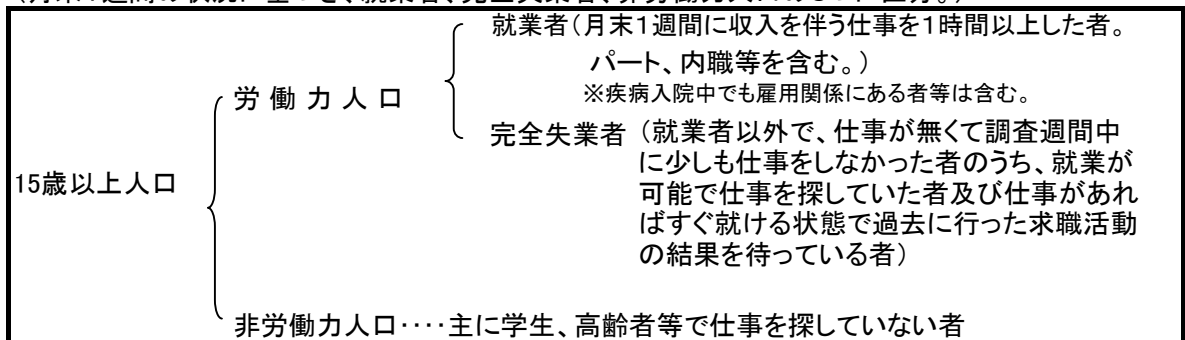
(15歳以上の者)



## 用語の解説

### ○ 就業状態別の人口

(月末1週間の状況に基づき、就業者、完全失業者、非労働力人口の3つに区分。)



\* 完全失業率(%)…「完全失業者数」÷「労働力人口」×100

なお、次のような者が完全失業者に含まれる(平成24年6月 全国 288万人)。

- 定年等……………定年や雇用期間の満了による離職失業者(33万人)
- 勤め先都合……………勤め先や事業の都合(倒産・人員整理等)による離職失業者(71万人)
- 自己都合(自発的離職)……………自分又は家族の都合による離職失業者(107万人)
- 学卒未就職……………学校を卒業して仕事に就くために、新たに仕事を探し始めた者(17万人)
- 新たに収入が必要…収入を得る必要が生じたために、新たに仕事を探し始めた者(35万人)
- その他……………上記のどれにもあてはまらない場合で、新たに仕事を探し始めた者(21万人)

\* 雇用者…就業者のうち、会社・団体・官公庁又は自営業主や個人家庭に雇われて給料・賃金を得ている者及び会社・団体の役員

なお、県の雇用者数は、労働力調査に基づく推計値であり、福岡県で独自に公表しているもの。

## 九州

## 1 生産

	平成22年 (2010)	平成23年 (2011)	平成23年 (2011) 7-9月	10-12月	平成24年 (2012) 1-3月	4-6月	平成24年 (2012) 2月	3月	4月	5月	6月
鉱工業生産指数	102.5	103.6	104.8	105.6	107.0	p 104.3	104.8	108.5	105.7	r 104.6	p 102.7
前期比	-	-	2.2	0.8	1.3	▲ 2.5	▲ 2.6	3.5	▲ 2.6	▲ 1.0	▲ 1.8
前年同期比	19.7	1.1	1.7	2.5	6.2	1.9	3.6	10.6	4.9	3.2	▲ 2.0
鉱工業出荷指数	102.7	102.6	104.8	107.2	107.3	p 104.0	105.2	108.8	105.8	r 104.6	p 101.7
前期比	-	-	6.4	2.3	0.1	▲ 3.1	▲ 2.6	3.4	▲ 2.8	▲ 1.1	▲ 2.8
前年同期比	19.1	▲ 0.1	1.3	4.2	8.9	5.7	6.2	15.3	11.1	8.8	▲ 1.6
鉱工業在庫指数	110.9	129.0	132.6	129.0	137.4	p 136.6	133.6	137.4	137.0	r 136.1	p 136.6
前期比	-	-	7.6	▲ 2.7	6.5	▲ 0.6	1.6	2.8	▲ 0.3	▲ 0.7	0.4
前年同期比	5.6	16.3	22.5	16.3	25.9	10.9	21.5	25.9	19.6	10.5	10.9
I C生産量	39.9	▲ 4.6	▲ 5.0	▲ 18.1	▲ 9.1	▲ 6.2	▲ 1.5	▲ 7.8	▲ 8.5	▲ 7.0	▲ 3.1
I C生産金額	19.4	▲ 18.1	▲ 14.9	▲ 22.6	9.7	5.6	14.0	8.3	6.2	11.4	0.1
粗鋼生産量	30.0	4.5	▲ 1.3	▲ 2.8	▲ 4.5	4.7	▲ 3.8	▲ 2.8	1.0	9.2	4.2
セメント生産量	▲ 5.3	▲ 0.5	3.9	▲ 2.1	5.5	4.0	7.3	7.8	▲ 4.0	6.4	11.1

\* I C生産量及び生産金額、粗鋼生産量、セメント生産量は前年同期比

\* pは速報値、rは確定値

## 2 投資

	平成22年 (2010)	平成23年 (2011)	平成23年 (2011) 7-9月	10-12月	平成24年 (2012) 1-3月	4-6月	平成24年 (2012) 2月	3月	4月	5月	6月
新設住宅着工戸数	1.5	8.6	11.0	3.6	6.1	11.0	5.3	10.0	16.6	11.3	6.1
公共工事保証実績	▲ 5.2	▲ 12.2	▲ 13.7	▲ 9.7	▲ 2.4	5.1	4.3	▲ 6.1	▲ 14.1	24.1	19.6

(前年同期比)

## 3 貿易

	平成22年 (2010)	平成23年 (2011)	平成23年 (2011) 7-9月	10-12月	平成24年 (2012) 1-3月	4-6月	平成24年 (2012) 2月	3月	4月	5月	6月
輸出	28.1	▲ 2.9	3.8	▲ 6.3	3.7	1.8	5.8	2.6	11.5	6.6	▲ 9.7
輸入	20.2	16.4	21.9	8.0	8.0	▲ 0.9	6.5	6.1	▲ 2.3	7.8	▲ 7.9

(前年同期比)

資料出所：九州経済産業局「九州主要経済指標」（国土交通省、西日本建設業保証（株）、門司税関）



# 九州

4 個人消費 (前年同期比)											
	平成22年 (2010)	平成23年 (2011)	平成23年 (2011) 7-9月	10-12月	平成24年 (2012) 1-3月	4-6月	平成24年 (2012) 2月	3月	4月	5月	6月
家計調査 (勤労者世帯)											
実収入	9.0	▲ 4.4	▲ 1.9	0.5	1.0	4.2	▲ 0.1	3.2	2.6	4.1	5.3
消費支出	3.4	▲ 2.9	▲ 3.5	0.4	0.3	5.4	▲ 0.1	▲ 1.2	3.1	3.4	10.3
平均消費性向	75.7	76.6	80.0	65.5	90.0	78.6	76.2	97.6	92.5	101.6	57.3
百貨店販売額											
(全店)	▲ 5.2	1.8	2.7	2.2	3.1	▲ 1.7	2.6	2.1	▲ 1.9	▲ 1.7	▲ 1.5
(既存店)	▲ 3.7	▲ 3.1	▲ 2.9	▲ 2.5	▲ 0.9	▲ 0.2	▲ 3.8	2.9	▲ 0.8	▲ 0.1	0.2
スーパー販売額											
(全店)	▲ 1.1	0.7	▲ 0.1	0.0	▲ 0.7	▲ 0.7	0.2	▲ 0.8	▲ 0.7	0.6	▲ 2.1
(既存店)	▲ 2.8	▲ 1.3	▲ 2.4	▲ 1.2	▲ 1.9	▲ 2.5	▲ 1.3	▲ 2.2	▲ 2.2	▲ 1.5	▲ 3.7
コンビニ販売額											
(全店)	2.3	9.1	7.8	10.7	6.6	6.6	9.4	5.0	10.3	6.8	3.1
(既存店)	▲ 1.1	5.8	4.2	7.1	1.7	1.5	2.9	0.6	5.4	1.5	▲ 2.1
乗用車新規登録 ・届出台数 (軽乗用車を含む)	8.7	▲ 17.8	▲ 19.4	22.3	46.5	75.6	34.5	63.9	114.5	75.8	54.9
空港乗降客数 (九州9空港) ※1	平成22年度 ▲ 0.5	平成23年度 ▲ 2.3	▲ 3.2	1.7	8.9	...	3.2	23.3	29.0	15.8	...
テーマパーク 入場者数 ※2	平成22年度 4.8	平成23年度 4.8	1.2	▲ 0.7	14.0	8.2	▲ 9.5	29.4	26.1	0.2	0.9

※1 2010年度以降は速報値

※2 マリンワールド海の中道、ハウステンボス等、4つの九州内主要施設

資料出所：九州経済産業局「九州主要経済指標」(総務省統計局、日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車連合会)、「九州コンビニエンス・ストア販売動向」  
財団法人九州経済調査協会「九州経済調査月報」(各空港事務所、主要テーマパーク・レジャー施設)



地域経済動向の変遷

	23年5月		23年8月		23年11月		24年2月		24年5月		24年8月	
	↓	↑	↑	↓	→	→	→	→	↑	↑	→	→
北海道	東日本大震災の影響により、弱含んでいる	↑	東日本大震災の影響が残るものの、持ち直しの動きがみられる	→	持ち直しの動きがみられる	→	持ち直しの動きがみられる	→	↑	緩やかに持ち直している	→	緩やかに持ち直している
東北	東日本大震災の影響により、極めて大幅に悪化している	↓	東日本大震災の影響により、依然として厳しい状況にあるものの、持ち直している	→	→	→	→	→	↑	東日本大震災の影響により、依然として厳しい状況にあるものの、総じてみれば緩やかに回復しつつある	→	緩やかに回復しつつある
北関東	東日本大震災の影響により、大幅に悪化している	↓	東日本大震災の影響が残るものの、持ち直している	↓	足踏み状態となっている	→	足踏み状態となっている	→	↑	緩やかに持ち直している	↓	持ち直しのテンポが緩やかになっている
南関東	東日本大震災の影響により、大幅に悪化している	↓	東日本大震災の影響が残るものの、持ち直している	↓	弱含んでいる	↑	足踏み状態となっている	↑	↑	緩やかに持ち直している	↓	持ち直しのテンポが緩やかになっている
東海	東日本大震災の影響により、弱まっている	↓	東日本大震災の影響が残るものの、持ち直している	→	持ち直している	→	持ち直している	→	↑	緩やかに回復している	↓	回復に一服感がみられる
北陸	緩やかに持ち直している	→	緩やかに持ち直している	→	緩やかに持ち直している	→	緩やかに持ち直している	→	↑	緩やかに回復しつつある	→	緩やかに回復しつつある
近畿	東日本大震災の影響により、弱含んでいる	↓	緩やかに持ち直している	↑	弱含んでいる	↓	弱まっている	↓	↑	足踏み状態となっている	→	足踏み状態となっている
中国	東日本大震災の影響により、弱含んでいる	↓	緩やかに持ち直している	↑	足踏み状態となっている	↓	足踏み状態となっている	→	↑	緩やかに持ち直している	→	緩やかに持ち直している
四国	持ち直しの動きがみられる	→	弱含んでいる	↓	弱含んでいる	→	弱含んでいる	→	↑	持ち直している	→	持ち直している
九州	東日本大震災の影響により、弱含んでいる	↓	緩やかに持ち直している	↑	足踏み状態となっている	↓	足踏み状態となっている	↑	↑	緩やかに持ち直している	→	緩やかに持ち直している
沖縄	東日本大震災の影響により、弱まっている	↓	東日本大震災の影響が残るものの、持ち直しの動きがみられる	↑	持ち直しの動きがみられる	→	持ち直している	↑	→	持ち直している	↑	緩やかに回復しつつある

※ ↑ 上方修正 ↓ 変更なし → 下方修正

資料出所：内閣府「地域経済動向」

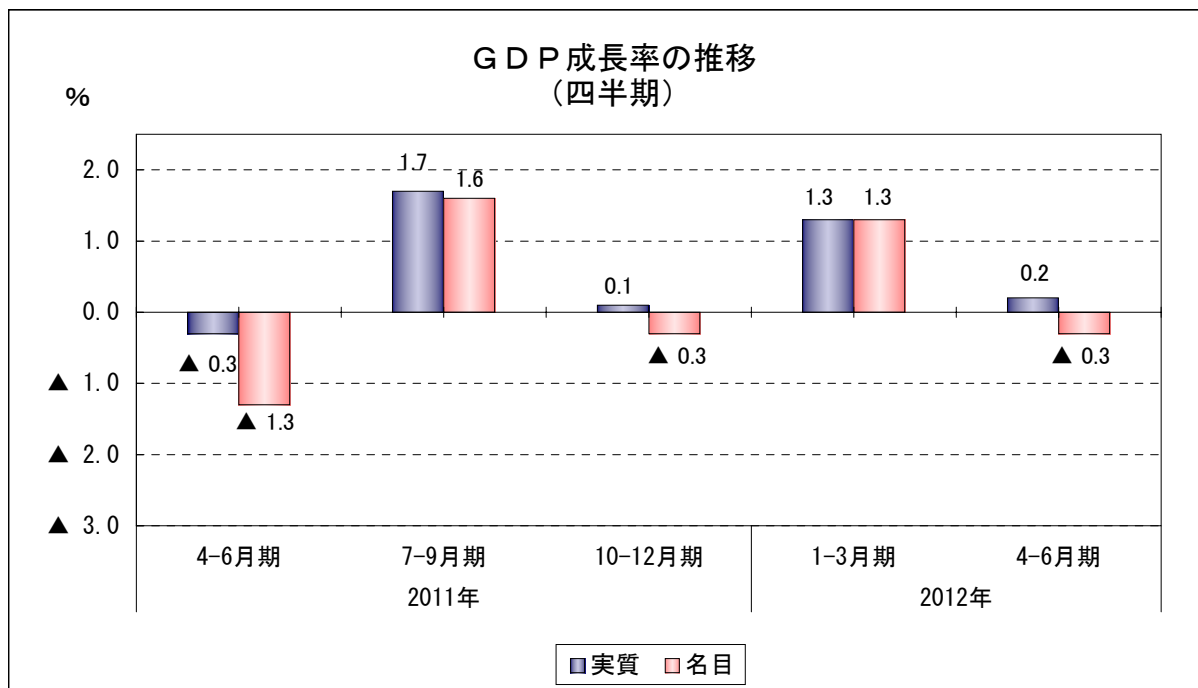
	平成24年	
	8月	9月
基 調 判 断	<p>景気は、このところ一部に弱い動きがみられるものの、復興需要等を背景として、緩やかに回復しつつある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生産は、このところ横ばいとなっている。</li> <li>・輸出は、弱含んでいる。</li> <li>・企業収益は、持ち直している。設備投資は、緩やかに持ち直している。</li> <li>・企業の業況判断は、大企業製造業を中心に小幅改善となっている。</li> <li>・雇用情勢は、依然として厳しさが残るものの、改善の動きがみられる。</li> <li>・個人消費は、緩やかな増加傾向にある。</li> <li>・物価の動向を総合してみると、下落テンポが緩和しているものの、緩やかなデフレ状況にある。</li> </ul> <p>先行きについては、当面、世界景気減速の影響を受けるものの、復興需要等を背景に、景気回復の動きが継続と期待される。ただし、欧州政府債務危機を巡る不確実性が依然として高いなかで、世界景気のさらなる下振れや金融資産市場の変動が、我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、電力供給の制約、デフレの影響等にも注意が必要である。</p>	<p>景気は、世界景気の減速等を背景として、回復の動きに足踏みがみられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生産、輸出は、弱含んでいる。</li> <li>・企業収益は、持ち直しているが、頭打ち感がみられる。設備投資は、一部に弱い動きもみられるものの、緩やかに持ち直している。</li> <li>・企業の業況判断は、大企業製造業を中心に小幅改善となっている。</li> <li>・雇用情勢は、依然として厳しさが残るものの、改善の動きがみられる。</li> <li>・個人消費は、おおむね横ばいとなっているが、足下で弱い動きがみられる。</li> <li>・物価の動向を総合してみると、下落テンポが緩和しているものの、緩やかなデフレ状況にある。</li> </ul> <p>先行きについては、当面は弱めの動きも見込まれるものの、復興需要が引き続き発現するなかで、海外経済の状況が改善するにつれ、再び景気回復へ向かうことが期待される。ただし、欧州政府債務危機を巡る不確実性が依然として高いなかで、世界景気のさらなる下振れや金融資産市場の変動が、我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、収益や所得の動向、デフレの影響等にも注意が必要である。</p>
個 人 消 費	緩やかな増加傾向にある。	おおむね横ばいとなっているが、足下で弱い動きがみられる。
設 備 投 資	緩やかに持ち直している。	一部に弱い動きもみられるものの、緩やかに持ち直している。
住 宅 建 設	このところ横ばいとなっている。	このところ横ばいとなっている。
公 共 投 資	堅調に推移している。	堅調に推移している。
輸 出 入	輸出は、弱含んでいる。 輸入は、横ばいとなっている。	輸出は、弱含んでいる。 輸入は、横ばいとなっている。
国 際 収 支	貿易・サービス収支の赤字は、横ばいとなっている。	貿易・サービス収支の赤字は、横ばいとなっている。
鉱 工 業 生産・出荷・在庫	生産は、このところ横ばいとなっている。	生産は、弱含んでいる。
企 業 の 向	企業収益は、持ち直している。 企業の業況判断は、大企業を中心に小幅改善となっている。	企業収益は、持ち直しているが、頭打ち感がみられる。 企業の業況判断は、大企業を中心に小幅改善となっている。
倒 産 件 数	おおむね横ばいとなっている。	このところ緩やかに減少している。
雇 用 情 勢	雇用情勢は、依然として厳しさが残るものの、改善の動きがみられる。 完全失業率は、6月は前月比0.1%ポイント低下し4.3%となった。	雇用情勢は、依然として厳しさが残るものの、改善の動きがみられる。 完全失業率は、7月は前月と同水準の4.3%となった。
政 策 態 度	<p>政府は、大震災からの復興と景気の下振れの回避に万全を期すとともに、我が国経済にとって当面の最大課題であるデフレ脱却に向け、日本銀行と一体となって、断固として取り組む。また、全力を挙げて円高とデフレの悪循環を防ぐ。</p> <p>デフレ脱却に向けては、適切なマクロ経済政策運営とともに、デフレを生みやすい経済構造を改革することが不可欠である。このため、政府として、平成25年度までを念頭に、「モノ」「人」「お金」を動かす観点から政策手段を動員する。また、7月31日に「日本再生戦略」を、8月17日に「平成25年度予算の概算要求組替基準について」を閣議決定した。</p> <p>日本銀行に対しては、政府との緊密な情報交換・連携の下、デフレ脱却が対して確実となるまで強力な金融緩和を継続するよう期待する。</p>	<p>政府は、大震災からの復興と景気の下振れの回避に万全を期すとともに、我が国経済にとって当面の最大課題であるデフレ脱却に向け、日本銀行と一体となって、断固として取り組む。また、全力を挙げて円高とデフレの悪循環を防ぐ。</p> <p>デフレ脱却に向けては、適切なマクロ経済政策運営とともに、デフレを生みやすい経済構造を改革することが不可欠である。このため、政府として、平成25年度までを念頭に、「モノ」「人」「お金」を動かす観点から政策手段を動員する。8月31日、「中期財政フレーム（平成25年度～平成27年度）」を閣議決定した。</p> <p>9月7日、特例公債法案が未成立のため、「9月以降の一般会計予算の執行について」を閣議決定した。</p> <p>日本銀行に対しては、政府との緊密な情報交換・連携の下、デフレ脱却が対して確実となるまで強力な金融緩和を継続するよう期待する。</p>

(備考)下線部は、先月から変更した部分。

○2012(平成24)年4~6月期四半期別GDP速報(2次速報値)

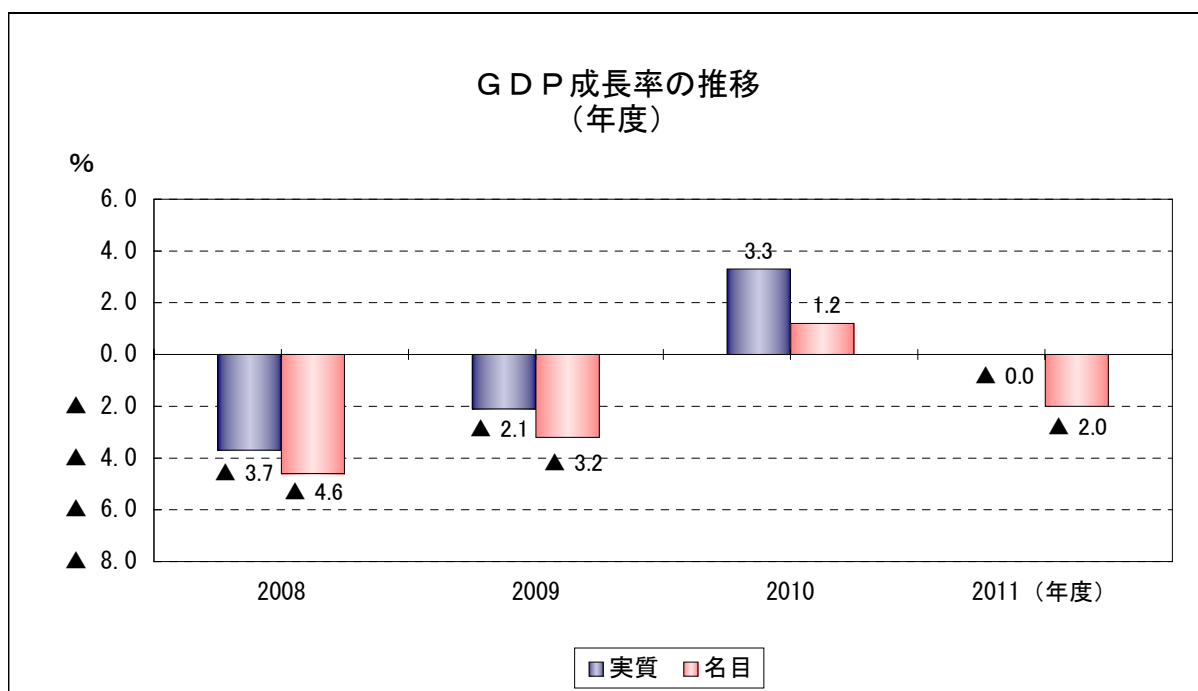
・GDP成長率(季節調整済前期比)

2012年4~6月期の実質GDP(国内総生産・2005暦年連鎖価格)の成長率は、0.2%(年率0.7%)となった。また、名目GDPの成長率は、▲0.3%(年率▲1.0%)となった。



・2011年度のGDP

2011年度の実質GDP成長率は▲0.0%、名目GDP成長率は▲2.0となった。



○平成24年度の政府経済見通し（主要経済指標）

	平成22年度 (実績)	平成23年度 (実績見込み)	平成24年度 (見通し)	対前年度比増減率					
				平成22年度		平成23年度		平成24年度	
				兆円 (名目)	兆円程度 (名目)	% (名目)	% (実質)	%程度 (名目)	%程度 (実質)
国内総生産	479.2	470.1	479.6	1.1	3.1	▲ 1.9	▲ 0.1	2.0	2.2
民間最終消費支出	284.2	282.7	285.4	▲ 0.0	1.6	▲ 0.5	0.3	1.0	1.1
民間住宅	13.0	13.5	14.5	2.8	2.3	4.1	2.9	7.3	6.3
民間企業設備	62.1	61.0	64.2	2.1	3.5	▲ 1.7	▲ 1.1	5.2	5.1
民間在庫品増加 ( )内は寄与度	▲ 1.5	▲ 2.4	▲ 1.8	(0.8)	(0.8)	(▲ 0.2)	(▲ 0.2)	(0.1)	(0.1)
政府支出	117.1	119.8	120.3	0.1	0.5	2.3	2.3	0.4	0.6
政府最終消費支出	95.8	97.9	98.3	1.6	2.3	2.2	2.5	0.4	0.8
公的固定資本形成	21.4	21.9	21.9	▲ 6.1	▲ 6.8	2.0	0.9	0.1	▲ 1.0
財貨・サービスの輸出	73.8	72.5	77.2	14.4	17.2	▲ 1.8	0.0	6.6	6.5
(控除)財貨・サービスの輸入	69.5	76.9	80.2	15.5	12.0	10.7	4.6	4.2	3.3
内需寄与度				1.1	2.4	▲ 0.1	0.6	1.7	1.8
民需寄与度				1.1	2.3	▲ 0.6	0.0	1.6	1.6
公需寄与度				0.0	0.1	0.6	0.6	0.1	0.2
外需寄与度				▲ 0.0	0.8	▲ 1.8	▲ 0.7	0.3	0.4
国民所得	349.3	342.3	349.4	2.0		▲ 2.0		2.1	
雇用者報酬	244.3	244.5	246.9	0.5		0.1		1.0	
財産所得	19.8	19.1	19.7	▲ 7.7		▲ 3.5		2.7	
企業所得	85.2	78.6	82.9	9.2		▲ 7.7		5.4	
労働・雇用	万人	万人程度	万人程度		%		%程度		%程度
労働力人口	6,587	6,538	6,551		▲ 0.3		▲ 0.7		0.2
就業者数	6,257	6,243	6,269		▲ 0.1		▲ 0.2		0.4
雇用者数	5,469	5,474	5,518		0.2		0.1		0.8
完全失業率	%	%程度	%程度						
	5.0	4.5	4.3						
生産	%	%程度	%程度						
鉱工業生産指数・増減率	8.9	▲ 1.9	6.1						
物価	%	%程度	%程度						
国内企業物価指数・変化率	0.7	1.9	0.7						
消費者物価指数・変化率	▲ 0.4	▲ 0.2	0.1						
GDPデフレーター・変化率	▲ 2.0	▲ 1.8	▲ 0.2						
国際収支	兆円	兆円程度	兆円程度		%		%程度		%程度
貿易・サービス収支	5.2	▲ 3.6	▲ 1.7						
貿易収支	6.5	▲ 1.6	0.1						
輸出	64.5	64.2	69.1		16.0		▲ 0.4		7.6
輸入	58.0	65.8	69.0		18.4		13.6		4.8
経常収支	16.1	9.9	12.2						
経常収支対名目GDP比	%	%程度	%程度						
	3.4	2.1	2.5						

(注1) 消費者物価指数は総合である。

(注2) 労働・雇用については岩手県、宮城県及び福島県を含む全国値。なお、平成22年度は、一定の仮定の下で内閣府が試算したもの。

(注3) 世界GDP(日本を除く)、円相場、原油輸入価格については、以下の前提を置いている。なお、これらは、作業のための想定であって、政府としての予測あるいは見通しを示すものではない。

	平成22年度 (実績)	平成23年度	平成24年度
世界GDP(日本を除く)の 実質成長率(%)	4.3	3.0	3.1
円相場(円/ドル)	85.7	78.5	77.5
原油輸入価格(ドル/バレル)	84.4	113.2	113.0

(備考)

1. 世界GDP(日本を除く)の実質成長率は、国際機関等の経済見通しを基に算出。
2. 円相場は、平成23年11月1日～11月30日の1か月間の平均値(77.5円/ドル)で同年12月以後一定と想定。
3. 原油輸入価格は、平成23年11月1日～11月30日の1か月間のスポット価格の平均値に運賃、保険料を付加した値(113.0ドル/バレル)で、同年12月以後一定と想定。

※ 本経済見通しに当たっては、「2. 平成24年度の経済財政運営の基本的態度」に記された経済財政運営を前提をしている。  
 ※ 我が国経済は民間活動がその主体をなすものであること、また、特に国際環境の変化には予見しがたい要素が多いことを鑑み、上記の諸係数はある程度幅を持って考えられるべきものである。

資料：内閣府「平成24年度の経済見通しと経済財政運営の基本的態度（平成24年1月24日閣議決定）」

○民間調査機関の経済成長率の見通し（平成24年4-6月期 2次速報後発表）

	GDP成長率予測			
	平成24年度 (2012年度)		平成25年度 (2013年度)	
	実質	名目	実質	名目
三菱総合研究所	2.0	1.7	1.6	1.4
みずほ総合研究所	1.7	1.2	1.3	1.3
農林中金総合研究所	1.9	0.9	1.8	1.2
野村証券金融経済研究所 ※	2.2	1.6	1.8	1.8
ニッセイ基礎研究所	1.7	1.1	2.0	1.9
大和総研	1.8	1.0	1.2	0.9
富国生命保険 ※	1.9	1.3	1.6	1.4
三菱UFJリサーチ&コンサルティング	1.9	1.3	1.8	1.4
日本総合研究所	1.7	0.9	1.4	1.2
第一生命経済研究所	1.5	1.2	1.5	1.0
みずほ証券リサーチ&コンサルティング	1.7	1.1	1.6	1.2
三菱UFJモルガン・スタンレー証券景気循環研究所	1.9	1.2	2.5	2.3
日本経済研究センター	1.7	0.9	1.3	0.8
13社平均	1.8	1.2	1.6	1.4

注) 前年度比%。  
※は、未更新。

○日銀の経済見通し（平成24年7月12日公表「当面の金融政策運営について」）

—対前年度比、%。なお、<>内は政策委員見通しの中央値。

	2012年度		2013年度	
		4月時点		4月時点
実質GDP 大勢見通し	+2.2~+2.4	+2.1~+2.4	+1.6~+1.8	+1.6~+1.8
	< +2.2 >	< +2.3 >	< +1.7 >	< +1.7 >
〃 全員見通し	+2.1~+2.4	+2.1~+2.4	+1.5~+1.8	+1.5~+1.8

- 注1) 「大勢見通し」は各政策委員が最も蓋然性の高いと考える見通しの数値について、最大値と最小値を1個ずつ除いて、幅で示したものであり、その幅は、予測誤差などを踏まえた見通しの上限・下限を意味しない。
- 2) 各政策委員は、政策金利について市場金利に織り込まれたとみられる市場参加者の予想を参考にしつつ、上記の見通しを作成している。

# 1 経済成長率

	(季調済前期比、%)						
	平成22年度 (2010年度)	平成23年度 (2011年度)	平成23年 4-6月	7-9月	10-12月	平成24年 (2012年) 1-3月	4-6月
実質GDP	3.3	▲0.0	▲0.3	1.7	0.1	1.3	0.2
名目GDP	1.2	▲2.0	▲1.3	1.6	▲0.3	1.3	▲0.3

(備考) 実質GDPは2005暦年連鎖価格。

資料出所：内閣府「四半期別GDP速報」

# 2 個人消費

個人消費は、おおむね横ばいとなっているが、足下で弱い動きがみられる。

(前年同期比、[]内は暦年前年比、()内は季調済前期比、%)

	[2010年] 2010年度	[2011年] 2011年度	平成23年 (2011年) 10-12月	平成24年 (2012年) 1-3月	4-6月	平成24年 (2012年) 5月	6月	7月
消費総合指数 (実質)	[2.5] 1.4	[0.0] 1.1	(0.8)	(1.3)	(0.1)	(0.8)	(▲1.0)	(▲0.5)
家計調査								
実質消費支出	[0.3] ▲1.1	[▲2.2] ▲1.3	(0.4)	(0.2)	(1.7)	(1.5)	(▲1.3)	(▲1.3)
家計消費指数(実質)	[0.4] [74.0]	[▲2.8] [73.4]	▲1.7	2.5	2.3	2.8	1.6	1.7
平均消費性向(季調値)			74.2	71.8	74.1	74.6	72.0	75.4
百貨店販売額(既存店、名目)	[▲3.0] ▲3.1	[▲2.3] ▲0.0	▲0.6	3.9	▲0.2	▲0.9	▲1.2	P ▲3.3
スーパー販売額 (既存店、名目)	[▲2.4] ▲1.4	[▲1.5] ▲1.3	▲1.7	▲0.1	▲1.9	▲0.7	▲3.3	P ▲5.0
コンビニエンスストア販売額 (既存店、名目)	[▲1.1] 1.5	[5.6] 4.6	8.1	2.0	1.6	1.7	▲2.7	P ▲3.4
新車販売台数(登録・届出) (乗用車・軽を含む)	[7.3] ▲7.0	[▲16.3] 3.3	(10.7)	(17.9)	(0.8)	(3.7)	(3.1)	(▲4.3)
旅行者取扱金額(名目)			24.5	50.3	66.0	68.6	46.8	42.4
(国内)	[▲1.2] ▲2.8	[▲8.4] ▲3.3	0.8	12.8	22.1	21.3	10.4	2.9
(海外)	[12.8] 13.0	[▲2.3] 0.2	4.3	11.9	28.8	33.9	21.9	9.7

(備考) 1. 経済産業省「商業販売統計」、総務省「家計調査」、日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会、鉄道旅客協会資料により作成。

2. 実質消費支出(除く住居等)は、二人以上世帯の消費支出から「住居」、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いた値。

3. 実質消費支出、実質消費支出(除く住居等)及び小売業販売額は、うるうる年調整をしている。

4. 家計消費指数は、家計調査の結果のうち、購入頻度が少ない高額消費部分について「家計消費状況調査」の結果と合成し、指数化したもの。

5. 小売業販売額、百貨店、スーパー、コンビニエンスストアは商業販売統計(経済産業省)により作成。

6. 旅行は大手旅行会社12社取扱金額。

既存店とは、調査月において、当月と前年同月でともに存在した店舗をいう。Pは速報値。

資料出所：内閣府「月例経済報告」

8月

P (▲8.7)

P 15.7



3 民間設備投資  
設備投資は、一部に弱い動きもみられるものの、緩やかに持ち直している。

(前年同期比、[ ]内は暦年前年比、( )内は季調済前期比、%)

法人企業統計季報	[2010年] 2010年度	[2011年] 2011年度	[2011年] 2011年度	2011年度 上期	下期	2012年			
						7-9月	10-12月	1-3月	4-6月
全産業	[▲2.3] 3.0	[▲2.4] ▲2.3	▲9.7	▲9.7	4.1	(▲1.7) ▲11.0	(11.9) 4.9	(▲2.0) 3.5	(▲0.5) 6.6
製造業	[▲8.4] 9.8	[6.4] 0.9	▲2.1	▲2.1	3.5	(3.9) ▲2.3	(4.3) 3.5	(3.6) 3.5	(2.1) 13.9
非製造業	[1.1] ▲0.4	[▲6.7] ▲4.1	▲13.7	▲13.7	4.4	(▲4.9) ▲15.8	(16.5) 5.7	(▲5.1) 3.4	(▲2.0) 2.4
大中堅企業	[▲10.3] ▲1.4	[1.7] 0.3	▲2.8	▲2.8	2.9	(1.2) ▲0.8	(4.9) 2.2	(2.1) 3.4	(▲0.9) 6.9
中小企業	[24.1] 16.0	[▲12.2] ▲8.9	▲24.5	▲24.5	7.7	(▲9.8) ▲32.1	(33.8) 11.8	(▲12.1) 3.6	(0.7) 5.6

(備考) 1. 年・年度及び半期の伸び率、大中堅企業の季調済前期比は内閣府試算値。  
2. ソフトウェア投資を除く。

(前年同期(月)比、[ ]内は暦年前年比、( )内は季調済前期(月)比、%)

資本財出荷指数 (除く輸送機械)	[2010年] 2010年度	[2011年] 2011年度	2012年				
			1-3月	4-6月	5月	7月	
機械受注	[7.0] 21.4	[7.8] 5.4	(1.2) 2.1	(0.7) 0.9	(5.6) 5.1	(▲3.5) ▲4.5	P ▲4.7
(船舶・電力除く民需)	[9.1] ▲4.6	[6.2] 3.5	(▲0.7) ▲0.2	(▲4.1) (0.0)	(▲14.8) (▲3.5)	(5.6) ▲9.9	(4.6) (▲5.5)
建築着工工事費予定額 (民間非居住用)	▲4.7	6.9	14.8	▲9.7	▲0.1	▲7.7	▲8.2

7-9月期見通し  
(▲1.2)

(備考) 1. Pは速報値。  
2. 建築着工工事費予定額(民間非居住用)は、建築着工統計調査報告(国土交通省)を基に内閣府で試算したものである。

主要機関の設備投資アンケート調査結果

機関名	全規模		日本銀行		日本政策投資銀行		日本経済新聞社		内閣府・財務省	
	2011年度	2012年度	2011年度	2012年度	2011年度	2012年度	2011年度	2012年度	2011年度	2012年度
調査対象企業 年度	大企業		中小企業		資本金10億円以上		上場企業、資本金(億円)以上の有力企業		資本金1000万円以上	
全産業 (除く電力)	0.0	4.0	▲1.3	6.2	▲2.7	▲6.6	▲2.1	12.2	6.7	▲1.9
製造業	4.3	7.2	▲0.7	12.4	▲2.8	▲6.7	▲2.3	12.5	6.9	▲2.6
非製造業	▲2.3	2.3	▲1.5	3.0	▲10.1	▲1.6	▲1.7	19.1	10.9	0.1
(除く電力)	▲2.4	1.2	▲1.5	1.8	▲10.2	▲1.8	▲2.6	8.6	2.0	▲3.1
電力	▲1.6	9.1	▲1.9	8.6	5.3	12.6	▲1.1	10.0	1.8	▲4.4
調査時点	2012年5月~6月		2012年7月		2011年6月		2012年4月		2012年8月	
発表時期	2012年7月		2012年8月		2011年8月		2012年6月		2012年9月	
回答社数	10,792		2,332		2,214		1,348		12,495	

(備考) 1. 日銀はソフトウェア投資を除く。日銀の電力は電気・ガス。回答社数は対象会社数。2010年度からリソース会計対応ベース。  
2. 日経新聞の調査は連結ベースで、海外で行う設備投資も含む。  
3. 内閣府・財務省はソフトウェア投資を除く。内閣府・財務省の電力は、電気・ガス・水道。

資料出所：内閣府「月例経済報告」

4 雇用情勢

雇用情勢は、依然として厳しさが残るものの、改善の動きがみられる。

	[2010年] 2010年度	[2011年] 2011年度	2011年 10-12月	2012年 1-3月	2012年 4-6月	2012年 5月	2012年 6月	2012年 7月
完全失業率 (%)	[5.1] 5.0	[4.6] 4.5	(4.5)	(4.5)	(4.4)	(4.4)	(4.3)	(4.3)
うち15～24歳	[9.4]	[8.2]	(8.5)	(9.1)	(8.3)	(8.3)	(7.4)	(8.2)
うち25～34歳	[6.2]	[5.8]	(5.5)	(5.7)	(5.7)	(5.8)	(5.3)	(5.2)
完全失業者数 総数 (万人)	[334]	[300]	(292)	(300)	(290)	(289)	(281)	(282)
うち非自発的な離職による者	[137]	[113]	(109)	(105)	(104)	(103)	(103)	(98)
雇用者数	[0.1]	[0.2]	-	▲0.5	-	(▲0.2)	(0.8)	(▲0.1)
常用労働者数 (労働者計)	[0.4]	[0.7]	(0.2)	(0.2)	(0.2)	(0.2)	(0.2)	(▲0.2)
新規求人数	[9.3]	[14.7]	(2.8)	(2.5)	(5.9)	(3.0)	(▲2.1)	(▲0.6)
有効求人数	[7.2]	[19.3]	(3.4)	(4.4)	(6.7)	(2.4)	(1.3)	(▲0.5)
有効求人倍率 (倍)	[0.52]	[0.65]	(0.69)	(0.75)	(0.81)	(0.81)	(0.82)	(0.83)
求人広告掲載件数	[10.4]	[21.7]	15.1	24.3	25.9	27.0	34.4	28.6
所定外労働時間 (残業時間等)	[10.1]	[1.0]	(1.4)	(1.0)	(0.0)	(1.9)	(▲2.6)	(▲2.2)
製造業	[33.7]	[1.8]	7.9	0.8	2.0	1.8	4.0	1.2
現金給与総額 (1人当たり・名目)	[0.5]	[▲0.2]	(▲0.9)	(1.4)	(▲0.9)	(▲0.3)	(▲1.8)	(0.4)
定期給与 (名目)	[0.3]	[▲0.4]	(0.0)	(0.2)	(▲0.1)	(0.1)	(▲0.3)	(0.1)
	0.2	▲0.3	▲0.2	0.3	0.2	0.4	▲0.1	0.0

(備考) 1. 常用労働者数、現金給与総額、定期給与及び所定外労働時間は事業所規模5人以上。  
 2. 求人広告掲載件数は(社)全国求人情報協会資料より作成。なお、前年比の試算にあたっては報告者数の変更を反映した。  
 3. 定期給与とは、きまって支給する給与のことであり、所定内給与と所定外給与の合計。  
 4. 斜体は、岩手県、宮城県及び福島県を除く全国の値。また、下線を施した箇所は補完推計値による。  
 資料出所：内閣府「月例経済報告」

15歳以上の労働力人口における就業者数 (単位：万人)

	2012年 5月	6月	7月
就業者数 (原数値)	6,297	6,304	6,277
前年同月差	<▲30>	<▲6>	<▲9>

(備考) 1. 東北三県(岩手県、宮城県及び福島県)を含む全国の値。

2. 24年3月以降の△内の対前年同月増減は、23年3月以降の実数を補完推計した値を用いて計算した参考値である。

資料出所：総務省「労働力調査」

5 金 融

株価（日経平均株価）は、8,600円台から、9,000円台のレンジで推移している。  
対米ドル円レートは、おおむね78円台で推移している。

(%、ポイント、円)

	2010年度	2011年度	2012年			2012年		
			10-12月	1-3月	4-6月	6月	7月	8月
ユーロレート (無担保翌日物)	0.091	0.077	0.079	0.083	0.078	0.076	0.084	0.086
ユーロ円TIBOR (3か月物)	0.359	0.331	0.329	0.331	0.332	0.333	0.331	0.327
国債流通利回り	1.150	1.049	1.000	0.979	0.879	0.835	0.771	0.800
東証株価指数 (TOPIX)	884	792	738	800	764	733	746	749
日経平均株価 (円)	9,951	9,183	8,581	9,295	9,026	8,638	8,761	8,950
円相場 (対米ドル)	85.71	79.05	77.40	79.36	80.15	79.32	79.02	78.66

(備考) 1. ユロレート、ユーロTIBOR、国債利回り、株価、円相場の年度・四半期・月次は、ともに平均値。

2. 国債流通利回りは、新発10年国債流通利回り。

3. 円相場 (対米ドル) は、インターバンク値物中心相場。

(前年同期 (月) 比、( )内は季調済前期比年率、月中平均残高ベース、%、円)

	2010年度	2011年度	2012年			2012年		
			10-12月	1-3月	4-6月	6月	7月	8月
マネーストック								
( M 2 )	2.7	2.9	( 3.2 )	( 2.3 )	( 1.1 )	( 3.9 )	( r3.3 )	( 3.3 )
( 広義流動性 )	0.6	0.2	0.1	0.3	0.2	2.3	2.2	2.4
マネタリーベース	6.4	14.9	( 12.1 )	( ▲5.8 )	( 10.6 )	r0.0	( 32.4 )	( ▲14.7 )
銀行貸出	▲ 2.0	▲ 0.1	0.2	0.8	0.5	5.9	8.6	6.5
普通社債発行額 (億円)	119,723	104,712	25,700	27,182	23,576	8,676	8,892	4,650

(備考) 1. 銀行貸出は銀行 (都市銀行等、地方銀行、第二地方銀行) 合計の月中平均残高の前年同期 (月) 比。

下段は貸出債権流動化・償却要因等を調整した後の計数。

2. 普通社債発行額は国内発行分であり、円建て外債及び資産担保型社債を含む。

3. マネー指標のrは、数値改訂を示す。

資料出所：内閣府「月例経済報告」

## 1 海外主要国の経済成長率の見通し

○ IMFの世界経済見通し（平成24年7月16日発表）

	2012年予測	2013年予測
日本	2.4	1.5
米国	2.0	2.3
ユーロ圏	▲ 0.3	0.7
中国	8.0	8.5
世界計	3.5	3.9

注) 単位：%、実質GDP成長率の前年比。

○ OECDの世界経済見通し（平成24年5月22日発表）

	2012年予測	2013年予測
日本	2.0	1.5
アメリカ	2.4	2.6
ユーロ圏	▲ 0.1	0.9
加盟国計	1.6	2.2

注) 単位：%、実質GDP成長率の前年比

○ アジア開発銀行のアジア大洋州主要国・地域別の経済成長見通し  
（平成24年4月11日発表）

	2012年予測	2013年予測
地域全体	6.9	7.3
中国	8.5	8.7
香港	3.0	4.5
韓国	3.4	4.0
台湾	3.4	4.6
シンガポール	2.8	4.5
インドネシア	6.4	6.7
マレーシア	4.0	5.0
フィリピン	4.8	5.0
タイ	5.5	5.5
ベトナム	5.7	6.2

注) 単位：%、実質GDPの前年比伸び率

## 2 海外主要国の実質GDPの比較

(単位：%)

国名	年平均成長率		前期比年率						前年同期比		
	2010年	2011年	2011年		2012年		2011年		2012年		
			7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	10-12月	1-3月	4-6月		
日本	3.3	▲0.0	(1.7)	(0.1)	(1.3)	(0.2)	▲0.7	2.9	3.2		
アメリカ	2.4	1.8	(1.3)	(4.1)	(2.0)	(1.7)	-	-	-		
中国	10.4	9.2	(9.5)	(7.8)	(6.6)	(7.4)	8.9	8.1	7.6		
インド	8.4	6.5	-	-	-	-	6.1	5.3	5.5		
香港	7.0	5.0	(0.3)	(1.6)	(2.6)	(▲0.2)	3.0	0.7	1.1		
韓国	6.3	3.6	(3.4)	(1.3)	(3.5)	(1.1)	3.3	2.8	2.3		
台湾	10.7	4.0	(▲1.9)	(▲2.1)	(1.5)	(3.5)	1.8	0.4	▲0.2		
シンガポール	14.8	4.9	(2.0)	(▲2.5)	(9.4)	(▲1.1)	3.6	1.4	1.9		
インドネシア	6.2	6.5	-	-	-	-	6.5	6.3	6.4		
タイ	7.8	0.1	(6.7)	(▲35.7)	(50.8)	(13.9)	▲8.9	0.4	4.2		
マレーシア	7.2	5.1	-	-	-	-	5.2	4.9	5.4		
フィリピン	7.6	3.9	-	-	-	-	4.0	6.3	5.9		
ドミニク	4.2	3.0	1.5	▲0.6	2.0	1.1	-	-	-		
フランス	1.6	1.7	1.1	0.0	0.1	▲0.2	-	-	-		
イギリス	1.8	0.8	2.4	▲1.4	▲1.3	▲1.8	-	-	-		
イタリア	1.8	0.5	▲0.9	▲2.9	▲3.3	▲3.3	-	-	-		
ロシア	4.3	4.3	-	-	-	-	4.8	4.9	4.0		

(備考)1. ( )内は季節調整値。

2. 日本の年平均成長率は、年度平均成長率。また、同国の前期比年率は、前期比。

3. 中国の統計には香港、マカオのデータを含まない。

4. インドの年平均成長率の値は、財政年度(4月～翌年3月)による。

資料出所：内閣府「月例経済報告」

## 3 国際金融・国際商品

為替レート	2010年		2011年	2011年			2012年		
	2010年	2011年	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	6月	7月	8月
ユーロ相場 (\$/Euro)	1.327	1.393	1.413	1.348	1.310	1.306	1.255	1.229	1.240
ポンド相場 (\$/£)	1.546	1.604	1.610	1.572	1.564	1.592	1.556	1.560	1.572
円相場									
(¥/\$)	87.7	79.7	77.7	77.4	77.8	81.2	79.4	79.0	78.7
(¥/Euro)	116.4	111.0	109.8	104.2	101.9	106.0	99.6	97.1	97.6

9/11  
1.286  
1.607  
77.8  
100.0

(備考) ニューヨーク市場のインターバンク取引相場。

資料出所：内閣府「月例経済報告」

4 海外主要国の鉱工業生産指数

(単位：%)

国名	前年比			前期比			前月比		
	2009年	2010年	2011年	2011年 10-12月	2012年 1-3月	2012年 4-6月	2012年 6月	2012年 7月	2012年 8月
	日本	▲8.8	9.3	▲1.0	(0.4)	(1.3)	(▲2.0)	(0.4)	(▲1.0)
アメリカ	▲11.4	5.4	4.1	(1.2)	(1.4)	(0.6)	(0.1)	(0.6)	
中国	11.0	15.7	13.9	13.9	11.6	9.5	9.5	9.2	8.9
インド	5.3	8.2	2.8	1.2	0.6	▲0.1	▲1.8	0.1	
香港	▲8.3	3.5	0.7	▲2.2	▲1.6		-	-	-
韓国	▲0.1	16.3	6.9	5.3	▲3.2	2.9	1.4	0.3	
台湾	▲8.1	26.9	5.0	▲4.0	▲4.7	▲1.4	▲2.2	▲0.0	
シンガポール	▲4.2	29.7	7.8	9.3	▲0.8	4.6	8.0	1.9	
インドネシア	1.3	4.4	4.1	2.8	1.4	2.6	2.4		
タイ	▲7.2	14.3	▲9.3	▲32.8	37.7	2.8	▲9.6	▲5.8	
マレーシア	▲7.6	7.3	1.4	2.3	3.2	4.9	3.7	1.5	
フィリピン	▲13.2	17.0	2.1	▲6.8	9.0	1.9	2.4		
ドバイ	▲15.4	10.1	8.0	▲1.7	▲0.4	0.0	▲0.4	1.3	
ブラジル	▲12.6	4.6	2.4	▲1.1	▲0.4	▲0.6	0.0	0.2	
イギリス	▲9.0	1.9	▲1.3	▲1.4	▲0.1	▲0.7	▲2.4	2.9	
イタリア	▲18.6	6.7	0.3	▲2.8	▲2.4	▲1.7	▲1.3	▲0.2	
ロシア	▲9.3	8.2	4.7	3.3	4.0	2.3	1.9	3.4	

(備考)1. ( )内は季節調整値。

2. 日本の前年比は、前年度比。

3. 日本を除くアジアとロシアの前期(月)比については、前年同期(月)比。

4. 香港、シンガポール、インドネシア、タイ、フィリピンは製造業。

5. インドの年の値は財政年度(4月～翌年3月)による。

資料出所：内閣府「月例経済報告」、経済産業省「生産・出荷・在庫指数確報」

5 海外主要国の失業率

(単位：%)

国名	2010年	2011年	2011年		2012年		2012年				
			7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	5月	6月	7月	8月	
日本	5.0	4.5	(4.4)	(4.5)	(4.5)	(4.4)	(4.4)	(4.3)	(4.3)	(4.3)	(4.3)
アメリカ (除軍人)	9.6	9.0	(9.1)	(8.7)	(8.3)	(8.2)	(8.2)	(8.2)	(8.2)	(8.3)	(8.1)
中国	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	-	-	-	-	-
香港	4.4	3.4	(3.2)	(3.3)	(3.4)	(3.2)	(3.2)	(3.2)	(3.2)	(3.2)	(3.2)
韓国	3.7	3.4	(3.2)	(3.1)	(3.1)	(3.3)	(3.2)	(3.2)	(3.2)	(3.1)	(3.1)
台湾	5.2	4.4	(4.3)	(4.3)	(4.2)	(4.2)	(4.2)	(4.2)	(4.2)	(4.3)	(4.3)
シンガポール	2.2	2.0	(2.0)	(2.0)	(2.1)	(2.0)	-	-	-	-	-
インドネシア	7.1	6.6	6.6	-	6.3	-	-	-	-	-	-
タイ	1.1	0.7	0.7	0.6	0.7	0.9	0.9	0.9	0.7	0.7	0.7
マレーシア	3.3	3.1	3.1	3.0	-	-	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0
フィリピン	7.4	7.4	7.1	6.4	7.2	6.9	-	-	-	-	-
ドイツ	7.1	5.9	(5.8)	(5.7)	(5.6)	(5.5)	(5.5)	(5.5)	(5.5)	(5.5)	(5.5)
フランス	9.8	9.7	(9.7)	(9.8)	(10.0)	(10.0)	(10.1)	(10.1)	(10.2)	(10.3)	(10.3)
イギリス	7.9	7.9	(8.3)	(8.4)	(8.2)	(8.0)	(8.1)	(8.0)	(8.0)	(8.1)	(8.1)
イタリア	8.4	8.4	(8.5)	(9.2)	(10.1)	(10.6)	(10.5)	(10.5)	(10.7)	(10.7)	(10.7)
ロシア	7.5	6.6	6.2	6.3	6.5	5.5	5.4	5.4	5.4	5.4	5.4

(備考) 1. ( ) 内は季節調整値。

2. 日本の年平均は、年度平均。

下線を施した箇所は補完推計値による。

3. インドネシアは、2月と8月に公表される。フィリピンは、1月、4月、7月、10月に公表される。

4. イギリスの失業率は、当月を含む3ヶ月平均値。

資料出所：内閣府「月例経済報告」

6 アジア主要国の外貨準備高

(単位：10億ドル、%)

国名	下段は前年比			下段は前期比						下段は前月比							
	2010年		2011年	2011年		2012年		2012年		2012年		2012年		2012年		2012年	
	2009年	2010年	2011年	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	2月	3月	4月	5月	6月	
日本	1049.4 1.8	1096.2 4.5	1295.8 18.2	1200.6 5.5	1295.8 7.9	1288.7 ▲0.6	1270.5 ▲1.4	1200.6 5.5	1295.8 7.9	1288.7 ▲0.6	1270.5 ▲1.4	1302.9 ▲0.3	1288.7 ▲1.1	1289.5 0.1	1277.7 ▲0.9	1270.5 ▲0.6	
韓国	270 34.3	292 8.1	306 4.8	303 ▲0.3	306 1.0	316 3.3	312 ▲1.3	303 ▲0.3	306 1.0	316 3.3	312 ▲1.3	316 1.6	316 0.0	317 0.3	311 ▲1.9	312 0.3	
台湾	348 19.2	382 9.8	386 1.0	389 ▲2.8	386 ▲0.8	394 2.1	391 ▲0.8	389 ▲2.8	386 ▲0.8	394 2.1	391 ▲0.8	394 1.0	394 0.0	395 0.3	389 ▲1.5	391 0.5	
シンガポール	188 8.0	226 20.2	238 5.3	234 ▲3.3	238 1.7	244 2.5	243 ▲0.4	234 ▲3.3	238 1.7	244 2.5	243 ▲0.4	247 0.8	244 ▲1.2	246 0.8	238 ▲3.3	243 2.1	
タイ	133.6 23.4	165.7 24.0	165.2 ▲0.3	170.0 ▲3.7	165.2 ▲2.8	168.8 2.2	164.6 ▲2.5	170.0 ▲3.7	165.2 ▲2.8	168.8 2.2	164.6 ▲2.5	169.8 1.3	168.8 ▲0.6	168.5 ▲0.2	161.8 ▲4.0	164.6 1.7	
マレーシア	86 0.0	96 11.6	120 25.0	118 ▲2.5	120 1.7	122 1.7	122 0.0	118 ▲2.5	120 1.7	122 1.7	122 0.0	121 0.8	122 0.8	123 0.8	123 0.0	122 ▲0.8	
インドネシア	60.4 22.8	89.8 48.7	103.4 15.1	107.5 ▲4.8	103.4 ▲3.8	103.1 ▲0.3	99.4 ▲3.6	107.5 ▲4.8	103.4 ▲3.8	103.1 ▲0.3	99.4 ▲3.6	104.8 0.1	103.1 ▲1.6	109.0 5.7	104.5 ▲4.1	99.4 ▲4.9	
フィリピン	44.2 22.8	62.4 41.2	75.3 20.7	75.2 9.0	75.3 0.1	76.1 1.1	76.1 0.0	75.2 9.0	75.3 0.1	76.1 1.1	76.1 0.0	77.0 ▲0.5	76.1 ▲1.2	76.5 0.5	76.1 ▲0.5	76.1 0.0	
インド	258.6 4.9	267.8 3.6	262.9 ▲1.8	275.7 ▲2.8	262.9 ▲4.6	260.1 ▲1.1		275.7 ▲2.8	262.9 ▲4.6	260.1 ▲1.1		260.5 0.7	260.1 ▲0.2	260.8 0.3	253.2 ▲2.9		
中国	2399.2 23.3	2847.3 18.7	3181.1 11.7	3201.7 0.1	3181.1 ▲0.6	3305.0 3.9	3240.0 ▲2.0	3201.7 0.1	3181.1 ▲0.6	3305.0 3.9	3240.0 ▲2.0	3309.7 ▲0.1	3305.0 ▲0.1	3298.9 ▲0.2	3206.1 ▲2.8	3240.0 1.1	

(備考) 1. 各値は期末値

資料出所：財務省、三菱UFJリサーチ&コンサルティング「アジア経済概況」



「県内経済の動向」データ一覧

		入手先	
生産	鉱工業指数（1～10）	県：調査統計課 全国：経済産業省	
	大口電力（11）	県：九州電力（株）「電灯・電力需要実績」 全国：電気事業連合会	
	所定外労働時間（12） （製造業）	県：調査統計課 全国：厚生労働省「毎月勤労統計調査」	
貿易	通関データ（1～10）	門司税関、長崎税関	
設備投資	地場企業の経営動向調査（1）	福岡商工会議所	
	法人企業景気予測調査（2）	財務省福岡財務支局	
	建築着工（3，4）	建設物価調査会「建設統計月報」	
	全国の設備投資（5）	日本工作機械工業会「最新受注統計」	
	九州地域設備投資動向（6）	日本政策投資銀行調査結果	
企業景況	法人企業景気予測調査（1）	財務省福岡財務支局	
	中小企業景況調査（2）	中小企業基盤整備機構	
	福岡県中小企業動向調査（小企業編）（3）	日本政策金融公庫福岡支店	
	九州の経営動向調査（4）	西日本シティ銀行	
	地場企業の経営動向調査（5）	福岡商工会議所	
企業収益	九州「企業短期経済観測調査」	日本銀行福岡支店	
企業倒産	倒産データ	東京商工リサーチ	
消費	二人以上世帯消費支出（1）	総務省「家計調査」	
	二人以上世帯サービス支出（2）		
	百貨店販売額（3，4）	九州経済産業局 九州百貨店協会	
	スーパー販売額（5）	九州経済産業局	
	コンビニ販売額（6）	九州経済産業局	
	新車登録台数（7，8）	普通車：自動車販売店協会 軽自動車：軽自動車協会	
	中古車販売台数（9）	自動車販売店協会	
	旅行業取扱額（10）	九州：九州運輸局 全国：国土交通省	
	消費者マインド（11）	内閣府経済社会総合研究所「消費動向調査」	
	雇用	有効求人倍率（1）	福岡労働局
		きまって支給する給与（2）	県：調査統計課
就業状態（3）		総務省統計局「労働力調査」	
雇用保険被保険者数（4）		福岡労働局	
住宅投資	住宅着工	建設物価調査会「建設統計月報」	
公共投資	公共工事請負額	西日本建設業保証株式会社	
物価	消費者物価指数（1）	県：調査統計課 全国：総務省	
	国内企業物価指数（2）	日本銀行	
	原油価格（3）	日本経済新聞、週刊エコノミスト	
	ガソリン価格、灯油価格（3）	石油情報センター	
	金融	預金・貸付金残高（1，2）	日本銀行福岡支店 JA福岡信連
	金利（3）	日本銀行福岡支店	
	株価の変動（4）		
	為替相場（5）	新聞記事	
	国債（6）		
	アジア通貨（5）	三菱UFJリサーチ&コンサルティング	
DI	景気動向指数	県：調査統計課 全国：内閣府総合社会経済研究所	
福岡県	雇用関連参考資料	総務省統計局「労働力調査」	
九州	生産～倒産（1～9）	九州経済産業局 九州経済調査協会 日本銀行福岡支店	
	地域経済動向の変遷	内閣府「地域経済動向」	
	日本	月例経済報告	内閣府
	GDP速報	内閣府総合社会経済研究所	
	民間調査機関の経済予測	各調査機関、新聞記事等	
	経済成長率～金融（1～5）	内閣府	
	就業者数（失業率）	総務省統計局「労働力調査」	
世界	海外主要国見通し（1）	新聞記事等	
	GDP～失業率（2～5）	内閣府「月例経済報告」、総務省「労働力調査」	
	アジア主要国の外貨準備高（6）	経済産業省「生産・出荷・在庫指数」 三菱UFJリサーチ&コンサルティング	
	米金利（7）	財務省「外貨準備等の状況」 新聞記事等	

注）本資料における前月比、前年同月比、前年比、及び前期比は、それぞれ前月、前年同月等に対する増減比を表す。「▲」はマイナスを表す。

県内経済の動向  
－平成24年9月－

福岡県企画・地域振興部調査統計課

電話：(092) 651-1111

(内線：2784, 2783)

直通：(092) 643-3190